



StationTV®

■取扱説明書



Windows®

7

対応

Windows® 7

64bit

対応



はじめに

「StationTV 取扱説明書」について	10
「StationTV」とは？	11
StationTV についてのご注意	12
StationTV についてのご注意	13
StationTV についてのご注意	14
その他	15

準備する

テレビを見る準備	17
通信の準備	18
リモコンの準備	19
「StationTV」を初めて起動する	20
「StationTV」の初回設定（初回起動時）	21
設定後に映像が表示されないとき	25

各画面の説明

ビューア（視聴画面）	27
フルスクリーンモード（通常画面）	27
コンパクトモード	27
ビューアに表示される情報	29
ステータス情報	29
ウィンドウメニュー	31
チャンネル	32
クイックメニュー	33
メッセージ	35
コントロールパネル	36
[トップメニュー] 画面	37
[番組詳細] 画面	38

メニュー画面の操作	39
メニュー項目の状態	39
メニュー項目の編集	40
画面のスクロール	41

テレビを見る（基本編）

チャンネルを切り換える	43
リモコンで切り換える	43
キーボードで切り換える	45
マウスで切り換える	45
音量を調節する	46
リモコンで調節する	46
キーボードで調節する	46
マウスで調節する	47
レコーダーを切り換える	48
リモコンで切り換える	48
キーボードで切り換える	48
レコーダーについて	49
レコーダーとは？	49
レコーダーの使用例	50

テレビを見る（応用編）

地上デジタル放送の番組に含まれる情報	52
音声や映像を切り換える	53
字幕や文字スーパーを表示する	54
ビューアの表示モードを切り換える	55
ビューアを縮小表示する（コンパクトモード）	56
いつも見ている番組を自動告知する（いつもの機能）	57

番組表

番組表を使う	59
--------	----

番組を検索する	60
番組表からジャンルを選択して番組を検索する	60
番組表からフリーワードを入力して番組を検索する	61
番組表の画面説明	62
[番組表]画面(全体)	62
[番組表]画面(詳細)	63
[ジャンル／フリーワード検索結果]画面	64
[ジャンル／フリーワード検索結果]画面(詳細)	64

データ放送

データ放送を見る	66
双方向サービスを利用するための準備	67
データ放送での操作一覧	68

タイムシフト

タイムシフトとは	71
タイムシフトを使う	72
視聴状態について	72
タイムシフトを使う	73
タイムシフトに必要な空き容量	74
タイムシフト状態時の操作方法	75
コントロールパネルの表示について	75
タイムシフト状態時の操作一覧	76

録画する

録画に関する注意事項	78
見ている番組を録画する	79
裏番組録画／ダブル録画	80
リリーフ録画	81
タイムシフト録画	82

録画番組ファイルの保存場所とファイル名	83
録画についての補足	84
録画に含まれる内容	84
録画に必要な空き容量	84
録画した番組のコピー制限について	85

予約する

予約に関する注意事項	87
日時を指定して録画を予約する（タイマー予約）	88
[タイマー予約]画面	88
タイマー予約を設定する	89
番組を指定して録画を予約する（番組表予約）	90
[番組表予約]画面	90
番組表予約を設定する	92
番組表予約の便利な機能	93
[予約]の画面	94
[予約]画面（全体）	94
[予約]画面（詳細）	95
予約を変更する	96
予約内容を変更する	96
予約を削除する	97
重なった録画予約を調整する	98

再生する

[録画番組]、[録画番組詳細]画面	100
[録画番組]画面（全体）	100
[録画番組]画面（詳細）	101
[録画番組詳細]画面	102
録画番組を再生する	104
録画番組を再生する	104
再生速度を変えて再生する	105

再生中の操作一覧	106
録画番組を検索する	107
ジャンルを選択して録画番組を検索する	107
フリーワードを入力して録画番組を検索する	108
[ジャンル／フリーワード検索結果] 画面 (録画番組)	109
録画番組を管理する	110
録画番組を削除する	110
録画番組を保護する	111
HD 画質の録画番組サイズを圧縮する (SD 画質変換)	112
SD 画質変換を行う	113

ディスク作成

ディスク作成について	115
ディスク作成の種類	115
コピー制限について	116
ディスク作成前の確認事項	117
ディスク作成を実行する	119
ディスク作成を実行する	119
[DVD 作成]、[BD 作成] 画面	121

「StationTV」の設定

設定の種類	124
[設定] 画面	124
テレビ設定	126
[地上デジタル] 画面	126
チャンネルスキャン (地上デジタル)	127
受信レベル (地上デジタル)	128
リモコンボタン割り当て (地上デジタル)	129
[デジタル映像設定] 画面	130
[デジタル音声設定] 画面	131
[その他] 画面	132

視聴設定	134
[字幕／文字スーパー設定] 画面	134
録画／タイムシフト設定	135
[地上デジタル] 画面	135
[共通設定] 画面	136
HDD 設定	138
再生設定	139
[再生設定] 画面	139
データ放送設定	140
[データ放送設定] 画面	140
通信設定	142
[電話回線設定] 画面	142
回線テスト	144
[インターネット接続設定 (ダイヤルアップ)] 画面	145
[インターネット接続設定 (LAN)] 画面	147
お知らせ	148
[お知らせ] 画面	148
[放送メール一覧] 画面	149
[放送メール詳細] 画面	150
[通信記録一覧] 画面	151
[メッセージ一覧] 画面	152
[メッセージ詳細] 画面	153
かんたん設定	154
[かんたん設定] 画面	154
機器情報	155
[機器情報] 画面	155
B-CAS カード情報	156
バージョン情報	157
設定初期化	158
[設定初期化] 画面	158

起動と終了

「StationTV」の状態について-----	160
「StationTV」を起動する-----	161
「StationTV」が終了しているとき-----	161
「StationTV」が待機モードのとき-----	161
「StationTV」を終了する-----	162
「StationTV」が起動中のとき-----	162
「StationTV」が待機モード中のとき-----	162
「StationTV」を待機モードにする-----	163

操作一覧

リモコン操作一覧-----	165
コントロールパネルの機能一覧-----	167
ショートカット-----	170
地上デジタル放送に含まれる情報-----	173

用語集

ひらがな、カタカナ-----	175
英数字-----	179

索引

かな-----	181
アルファベット-----	183

OpenSSL ライセンス

OpenSSL ライセンス-----	185
--------------------	-----

はじめに

「StationTV」を正しくお使いいただくために必要な情報です。
ご使用前に必ずお読みください。

「StationTV 取扱説明書」について

「StationTV 取扱説明書」（以下、本書）をお読みになる前に、必ず以下の事項をご確認ください。

- パソコンの環境によっては、本書に記載されていても表示されない、または操作できない項目があります。
- Windows の基本的な操作については記載していません。「StationTV」の操作は Windows の一般的な操作に準拠しています。
- 本書では説明画面にフルスクリーンモードの画面を使用しています。コンパクトモード時に制限される機能等については（≫ P.56）を参照してください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に使用している画像は、はめ込みの場合があります。
- 本書で使用しているアプリケーションの画面は製品開発中のものであり、実際とは異なる場合があります。
- 本書は、DVD およびブルーレイディスク（BD）対応パソコンとの共通取扱説明書です。ご使用のパソコンによっては BD を作成できない場合があります。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照してください。
- 本書でのディスプレイの接続に関する説明は、ディスプレイ独立型のパソコンを前提としています。ディスプレイ一体型のパソコンには適用されない場合があります。
- 本書の内容の一部およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- 本書で使用しているマークの意味は以下の通りです。

本書で使用している説明アイコン

	使用上の制限や操作で気をつけていただきたい点について説明します。
	参考となる情報や使用上のヒントについて説明します。
	関連項目について参照先を案内します。

「StationTV」 とは？

「StationTV」とは、地上デジタル放送をパソコンで楽しむことができる、テレビ視聴・録画統合アプリケーションです。

「見る」、「録る」、「予約する」、「再生する」といった基本的な機能はもちろんのこと、DVD や BD（ブルーレイディスク）に録画番組を保存できる「ディスク作成」機能を搭載。

地上デジタル放送ならではの高画質映像を放送画質のまま視聴・録画することができ、データ放送や双方向サービスも利用することができます。

また、番組表（EPG）からの予約や録画番組の管理など、地上デジタル放送を最大限に活用するための機能が多数搭載されています。



StationTV についてのご注意

StationTV について

- 本製品の運用を理由とする損失・逸失利益の請求につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- ソフトウェアの一部または全部を、著作権者の許可なく複製することや複製物を頒布するなどの行為は著作権の侵害にあたります。
- 本製品（ソフトウェアも含む）は、日本国内での使用を想定しています。本製品の日本国外でのご使用については、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御などへの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- アンテナの設置状態や天候などの影響により、放送波の受信状況が良好でない場合、録画が正常に行われないことがあります。
- 補正機能を含め、本製品はすべての映像信号の入力を保証するものではありません。
- 本製品を使用中、何らかの不都合で録画できなかった場合の録画内容の補償はいたしかねます。
- 「StationTV」で録画した番組は「StationTV」でのみ再生できます。他のソフトウェアで再生することはできません。
- お使いのパソコンに接続されているドライブによって、画面や機能が異なる場合があります。
- キャプチャーボードの修理や交換、または他のパソコンに載せ換えた場合、パソコンおよび外付けハードディスクなどに保存されていた録画データが再生できなくなります。マザーボードなど、パソコンが故障した場合には、キャプチャーボードとお使いのハードディスクを別のパソコンに載せ換えることで、復旧できる場合があります。
- 放送波を利用して「StationTV」をアップデートする予定はありません。

著作権について

- 本製品で記録した映像・音声は、個人の鑑賞以外での目的でご使用いただくことはできません。
- 著作権保護信号（コピーガードなど）が含まれた映像は録画できません。
- 本製品に収録されているデータは、著作権法に基づいて著作権にともなうすべての権利が保護されています。著作権利権以外の第三者が著作権利権者の許諾無しに販売、レンタル、譲渡、複製を行うことはできません。著作権法に違反する行為は、刑事罰の対象となりますのでご注意ください。
- 著作権保護の暗号鍵を更新するため、インターネットへの接続が必要になる場合があります。

地上デジタル放送、ケーブルテレビについて

- 地上デジタル放送は、放送エリア内でのみ受信可能です。放送エリアについては、社団法人地上デジタル放送推進協会のホームページでご確認ください。
※ 社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）URL: <http://www.dpa.or.jp/>
- ケーブルテレビ（CATV）を受信するにはケーブルテレビ会社との手続きが必要です。専用受信機が必要となるケーブルテレビには直接接続できません。また、すべてのケーブルテレビ受信をサポートするものではありません。
- CATV で視聴する場合、「StationTV」は周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式には対応しておりません。
※ 一部のパソコンでは周波数変換パススルー方式に対応していない場合があります。
※ ケーブルテレビのデジタル放送送信サービスについては、ご利用のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

起動中の動作について

- デジタル放送の視聴は、ハイビジョン品質の高精細な映像を再現するために、CPU やメモリを消費します。このため、番組によってはコマ落ちする場合があります。快適な視聴のために、他のソフトウェアはできるだけ終了してから「StationTV」を起動してください。
- 「StationTV」の起動中（待機モードを除く）はタイマーでのスリープ状態、休止状態には移行しません。
- 録画中のスリープ状態または休止状態への移行は手動でのみ実行できます。
- 視聴中に省電力設定やスクリーンセーバーの設定を行うと、これらの設定が優先され、視聴画面が表示されなくなる場合があります。
- 予約録画開始の直前（1 分以内）に休止状態へ移行させると、予約録画に失敗する場合があります。
- 「StationTV」は Windows のタスクトレイに常駐し、待機または動作しています。タスクトレイの「StationTV」を終了すると、予約録画などができなくなります。
- タスクトレイの「StationTV」のアイコンが  のときは、情報の受信中のためスリープ状態へは移行しません。情報の受信が終了すると、スリープ状態に移行します。
- 「StationTV」に Windows Media Center の画面が被さると、黒画面になる場合があります。復旧するには、画面右上の  アイコンをクリックして「StationTV」を待機モードにし、タスクトレイから「StationTV」を起動してください。または、StationTV の画面をダブルクリックすることでも復旧できます。

ユーザーアカウントについて

- 本製品を複数のユーザーで同時に使用することはできません。
- 「StationTV」は「管理者」および「標準ユーザー」で起動することができます。「Guest ユーザー」では起動できません。

StationTV についてのご注意

接続について

- ディスプレイが HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) 規格に対応していない DVI 端子で接続されている場合は起動できません。
- ディスプレイが HDCP に対応していない場合は、アナログ RGB 出力に設定することで映像を出力できます。この場合、接続にはアナログ RGB ケーブルをご利用ください。》P.25
 - ※ アナログ RGB 出力では、映像は 52 万画素以下に制限されます。
 - ※ アナログ RGB 出力がないパソコンでは、この機能は使用できません。
- HDCP 対応のディスプレイと接続する場合は、本体とディスプレイを直接接続してください。本体とディスプレイの間に AV アンプや切換機が接続されている場合は、「StationTV」を起動できません。
- デュアルモニタでご使用の場合、メイン画面のみに映像を出力できます。
- B-CAS カードをすばやく出し入れすると、B-CAS カードが認識されず、「StationTV」が動作しなくなる場合があります。

映像、音声について

- パソコンのデフラグ実行中に録画すると、録画した映像にコマ落ちが発生する場合があります。
- 高解像度での映像表示では、お使いのパソコンに搭載されている映像デバイスの性能によってコマ落ちが発生する場合があります。この場合、ディスプレイ解像度を下げてください。
- サポートする解像度設定は「1024 × 768」以上です。
- デジタル音声出力は対応していません。

録画、タイムシフトについて

- 録画した映像の編集や他のファイル形式への変換はできません。
- 録画中にコンピューターの再起動、シャットダウン、ログオフを行うと、録画が停止します。
- 電波状況が悪い状態で録画すると、録画された番組が正常に再生されない場合があります。
- 通常の録画、タイムシフト録画ともに連続録画可能時間は最大 24 時間です。24 時間経過すると自動的に終了します。
- タイムシフト状態時に、録画済みの番組は再生できません。
- タイムシフト中や再生中のスキップ間隔はご利用環境や使用状況により、設定から大きくずれる場合があります。

その他の機能について

- 緊急警報放送による自動起動には対応していません。
- マルチビュー放送視聴時に、映像と音声を同時に切り換えることはできません。
- チャンネルを昇降順に切り換えると、臨時放送をとばして、次のチャンネルを表示する場合があります。

個人情報の取り扱いについて

- 「StationTV」は、お客様が設定メニューで各種機能の設定時に入力する IP アドレス、その他の情報、ご利用に際しお客様が放送事業者から受領するお知らせなどを記録します。
また、データ放送による通信サービスを利用される際に、データ放送の画面上でお客様が放送事業者の要求に基づき入力する個人情報や、データ放送のポイントなど、当該通信サービスに関連する情報が「StationTV」に記録され、放送事業者に通知されることがあります。
これら「StationTV」に記録される個人情報を含む各種情報は、お客様により削除が可能です。
≫ P.158

商標について

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- 「いつもの番組」は株式会社ピクセラおよび富士通株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では ® および ™ などの商標マークは省略しています。

準備する

「StationTV」を使用する前に、アンテナケーブルのパソコンへの接続などを準備しましょう。

テレビを見る準備

取り付けに関する詳細については、パソコンの取扱説明書または「StationTV スタートアップガイド」※を参照してください。

※ パソコンによっては付属していない場合があります。

1. アンテナケーブルを接続する

「地上デジタル放送用」のアンテナ端子にアンテナケーブルを接続する

※ アンテナケーブルの接続は、お使いのパソコンによって異なります。

2. B-CAS カードを挿入する

付属の B-CAS カードを挿入する

※ パソコンによって B-CAS カードの色や挿入方向が異なります。



B-CAS カードについて

地上デジタル放送は不正コピーを防ぐために、放送信号が暗号化されています。B-CAS カードはその暗号を解除するために必要な IC カードで、地上デジタル放送受信機に 1 枚添付されています。B-CAS カードが正しく挿入されていない場合は、地上デジタル放送や、BS、CS デジタル放送を視聴することはできません。紛失や破損などされないよう大切に保管してください。

詳しくは、B-CAS カードの使用許諾契約書または下記のホームページをご覧ください。

ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ <http://www.b-cas.co.jp/>

HDCP 非対応のディスプレイをご使用の場合

ディスプレイが HDCP 非対応の場合、以下の手順で映像出力をアナログ RGB 出力に設定することで「StationTV」をご使用いただけます。

1. 「StationTV」が起動していないことを確認し、以下の順番でメニューを選択

[] → [すべてのプログラム] → [PIXELA] → [StationTV] → [アナログ RGB モード設定]

2. 表示されるダイアログで [有効にする] をクリック

3. 「StationTV」を起動する

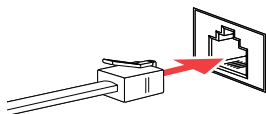
※ 接続にはアナログ RGB ケーブルをご利用ください。

※ アナログ RGB 出力では、映像は 52 万画素以下に制限されます。

「StationTV」では、データ放送などの双方向サービス利用時にインターネットを使用することがあります。パソコンのインターネット接続環境にしたがって、電話線または LAN ケーブルを接続してください。

※ 接続していない場合、双方向サービスの一部を利用できない場合があります。

電話線を接続する



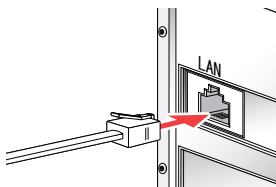
パソコンのモジュージャックに電話線を接続する

※ モデムを搭載していないパソコンではこの手順は不要です。



接続についての詳細は、ご使用のモデムやパソコンの取扱説明書を参照してください。

LAN ケーブルを接続する



パソコンの LAN ポートに LAN ケーブルを接続する



LAN ケーブルの接続方法については、パソコン本体に接続されている LAN ボードやマザーボードの取扱説明書を参照してください。

リモコンの準備

 リモコンの各部名称や機能については、リモコン操作一覧（ ≫ P.165 ）を参照してください。

リモコン受光部を接続する

パソコンの USB ポートにリモコン受光部を接続する

※ 受光部がパソコンに内蔵されている製品ではこの手順は不要です。

リモコンに電池をセットする



1. リモコン裏面のカバーを外す

2. 電池（単 4 乾電池 2 本）をセットする

※ 電池は別売です。

「StationTV」を初めて起動する

1. パソコンの電源を入れる

リモコンの [] ボタン、またはパソコン本体の [ON/Standby] ボタンを押す

⇒ パソコンが起動します。



パソコン本体の起動／終了について詳しくは、パソコンの取扱説明書を参照してください。

2. 「Windows Media Center」から「StationTV」を起動する



1. リモコンの [] ボタンを押す

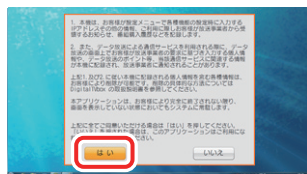
⇒ 「Windows Media Center」が起動します。

2. リモコンの方向キー [] で「Windows Media Center」のメニューを以下の順番で選択する
[StationTV] ▶ [TV 視聴]

3. リモコンの [] ボタンを押す

⇒ 「ソフトウェアの使用許諾」、「個人情報の取り扱い」に関するメッセージが表示されます。（初回起動時のみ）

3. メッセージを確認し、リモコンの [] ボタンを押す



⇒ 「ユーザー アカウント制御」のダイアログが表示されます。「許可」をクリックすると、数秒後「StationTV」の起動画面が数十秒間表示（パソコンの環境によって変わります）された後、「初回設定」が開始されます。
≫ P.21

「StationTV」の初回設定（初回起動時）

ここでは、テレビ視聴やその他の機能に必要な設定を簡単に行うことができます。
「初回設定」が終了すると、「StationTV」をご利用いただけます。

※ 2 回目以降の起動時には「初回設定」は起動しません。

1. 開始

「初回設定」を開始します。



[実行] を選択し、[OK] ボタンを押す

➡ [郵便番号設定] 画面が表示されます。

2. 郵便番号設定

ご利用になる地域の郵便番号を入力します。



1. [郵便番号] を選択し、[OK] ボタンを押す

➡ 入力欄が表示されます。

2. ご利用の地域の郵便番号を[0 ~ 9] ボタンで入力する

※ ハイフンの入力はありません。

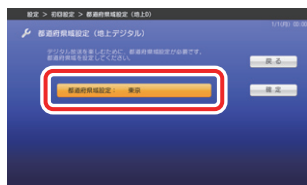
※ 事業所の個別郵便番号は使用できません。

3. [OK] ボタンを押す

➡ [都道府県設定(地上デジタル)] 画面が表示されます。

3. 都道府県設定（地上デジタル）

ご利用になる都道府県を設定します。



1. [都道府県設定] を選択し、[OK] ボタンを押す

➡ プルダウンメニューが表示されます。

2. 方向キー [] で都道府県を選択する

3. [OK] ボタンを押す

➡ [地上デジタル放送] 画面が表示されます。

4. 地上デジタル放送

地上デジタル放送サービスの有無を設定します。



1. [はい] を選択し、[OK] ボタンを押す

➡ [はい] の場合、[チャンネルスキャン (地上デジタル)] 画面が表示されます。≫ 手順5へ

➡ [いいえ] の場合、[モデム選択] 画面が表示されます。
≫ 手順6へ

5. チャンネルスキャン（地上デジタル）

チャンネルスキャンを開始します。



1. [開始]を選択して[OK]ボタンを押す

➡ チャンネルスキャンが開始されます。
終了すると、メッセージが表示されます。

- ※ スキャンには約 1 ～ 2 分かかります。
- ※ スキャン中にパソコンや「StationTV」を終了しないでください。

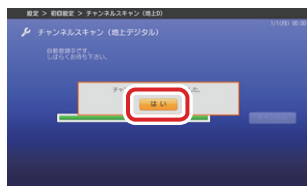


2. 該当する方を選択して、[OK]ボタンを押す

- ケーブルテレビ回線をご利用の場合 : [はい]
- ケーブルテレビ回線をご利用でない場合 : [いいえ]
- ご使用の回線種類がわからない場合 : [はい]

➡ [はい]の場合、ケーブルテレビ周波数帯域のスキャンが開始されます。終了後、確認メッセージが表示されます。

➡ [いいえ]の場合、確認メッセージが表示されます。



3. メッセージを確認後、[はい]を選択して[OK]ボタンを押す

➡ [モデム選択]画面が表示されます。≫ 手順6へ

- ※ モデムが搭載されていないパソコンでは、モデム選択（手順6）、電話回線種別（手順7）、発信番号設定（手順8）を行わずに[終了]画面が表示されて、初回設定が終了します。≫ 手順9へ

! ケーブルテレビ（CATV）でご利用される場合

ケーブルテレビ局の放送送信方式がトランスモジュレーション方式の場合は受信できません。放送送信方式については、ご利用のケーブルテレビ局にご確認ください。

💡 チャンネルスキャンに失敗したとき

一度スキップして後でやり直すこともできます。スキップするには[スキップ]を選択して[OK]ボタンを押してください。

👉 「初回設定」の終了後のチャンネルスキャン方法 ≫ P.127

6. モデム選択

双方向サービスに利用する電話回線を設定します。
ご使用のパソコンに内蔵されているモデムを設定してください。

- ※ モデムが搭載されていないパソコンではこの設定はありません。
- ※ 双方向サービスを利用しない場合は、[モデム]設定を[設定なし]にしておきます。



1. [モデム]を選択して[OK]ボタンを押す
→ プルダウンメニューが表示されます。

2. 方向キー[

3. [確定]を選択して[OK]ボタンを押す
→ [電話回線種別]画面が表示されます。≫ 手順7



7. 電話回線種別

引き続き、双方向サービスなどに利用する電話回線を設定します。
ご使用の電話回線の契約状況を確認して、電話回線種別を設定してください。

- ※ モデムが搭載されていないパソコンではこの設定はありません。



1. [電話回線種別]を選択して[OK]ボタンを押す
→ プルダウンメニューが表示されます。

2. 方向キー[

3. [確定]を選択して[OK]ボタンを押す
→ [発信番号設定]画面が表示されます。≫ 手順9へ



電話回線種別がわからないとき

[電話回線種別]で[自動]を選択すると、「StationTV」が自動的に電話回線種別を識別して設定します。ただし、お使いの電話回線によっては、うまく動作しない場合があります。その場合は、以下のとおり設定してください。

- プッシュホン回線の場合
[電話回線種別]を[トーン]に設定
- ダイヤル回線の場合
[電話回線種別]を[10pps]または[20pps]に設定

8. 発信番号設定

引き続き、双方向サービスに利用する電話回線を設定します。

発信番号（外線設定）設定は、外線電話をかけるときに [0] などの先頭番号が必要になる電話の場合に設定します。外線発信番号が必要ない電話では、設定する必要はありません。

※ モデムが搭載されていないパソコンではこの設定はありません。



1. [発信番号設定] を選択して [OK] ボタンを押す

➡ プルダウンメニューが表示されます。

2. 方向キー [] で設定を選択して [OK] ボタンを押す



3. [確定] を選択して [OK] ボタンを押す

➡ [終了] 画面が表示されます。

9. 終了

初回設定を終了します。



[確定] を選択して [OK] ボタンを押す

➡ 「初回設定」が終了し、映像（ビューア画面）が表示されます。



設定内容の変更や、初回設定では設定していない項目について
➤ P.123

設定後に映像が表示されないとき

 初回設定、または、かんたん設定の後でも映像が表示されない場合は、以下の点を確認してください。

■ お使いの地域で地上デジタル放送は開始されていますか？

放送エリアについては以下のホームページで確認してください。

社団法人デジタル放送推進協会： <http://www.dpa.or.jp/>

■ アンテナケーブルはパソコンに正しく接続されていますか？

接続についてはパソコンの取扱説明書、または「StationTV スタートアップガイド」※を参照してください。

※ パソコンによっては付属していない場合があります。

■ B-CAS カードはパソコンに正しく挿入されていますか？

挿入方向はパソコンによって異なります。詳しくは「StationTV スタートアップガイド」※参照してください。

※ パソコンによっては付属していない場合があります。

■ 受信レベルに問題はありますか？

受信レベル（P128）を確認してください。高層ビルなどの遮蔽物や悪天候によって受信レベルが低下する場合があります。受信レベルが 60 以下の場合は、アンテナの向きの調整や工事が必要になることがあります。お近くの電気店などにご相談ください。

■ アッテネーター機能の設定を変更してみてください

受信レベルは、高すぎても映像が正常に表示されない場合があります。アッテネーター機能（P133）とは、受信電波が強すぎるときに、受信感度を落としてノイズを軽減するための機能です。アッテネーター機能の設定を変更すると改善されることがあります。

※ この機能は、パソコンによってご使用できない場合があります。

 パソコン純正以外のディスプレイをご使用する場合（HDCP 非対応のディスプレイでご使用になるとき）

ディスプレイが HDCP 非対応の場合、以下の手順で映像出力をアナログ RGB 出力に設定することで「StationTV」を使用できます。

※ アナログ RGB 出力がないパソコンでは、この機能は使用できません。

※ 接続にはアナログ RGB ケーブルをご利用ください。

※ アナログ RGB 出力では、映像は 52 万画素以下に制限されます。

■ 設定はマウスで操作します。

1. 「StationTV」が起動していないことを確認し、以下の順番でメニューを選択

 → [すべてのプログラム] → [PIXELA] → [StationTV] → [アナログ RGB モード設定]

2. 表示されるダイアログで [有効にする] をクリック

3. 「StationTV」を起動する

※ アナログ RGB 出力から、通常状態（HDCP 対応のディスプレイ用）に戻す場合は、上記の手順を再び操作し、手順2で表示されるダイアログ [アナログ RGB モード設定] で [無効にする] をクリックしてください。

各画面の説明

ここでは、「StationTV」で主に使用する画面について説明します。

ビューア（視聴画面）

「ビューア」とは、テレビ番組の視聴や、録画番組の再生を行うための画面です。
フルスクリーンモード（通常画面）の他に、ビューアを任意の大きさに変更できるコンパクトモードがあります。

 画面の表示切り換え » P.56

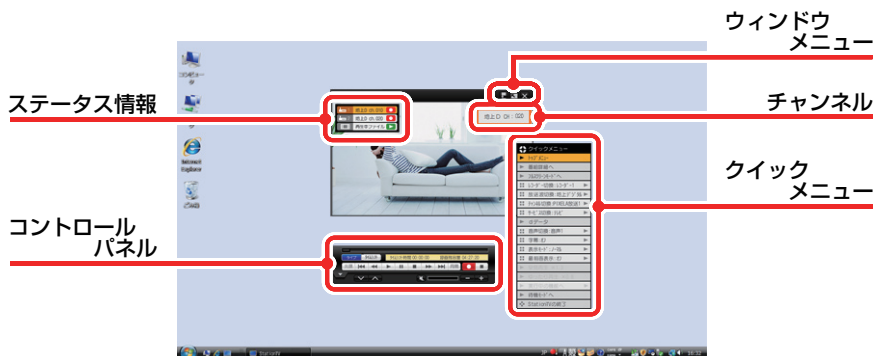
フルスクリーンモード（通常画面）

※ 下図は説明用の画面です。実際には同時に表示されない項目があります。



コンパクトモード

※ 下図は説明用の画面です。実際には同時に表示されない項目があります。



項目	
ステータス情報	現在のレコーダーの状態、受信している番組名やその番組の詳細が表示されます。≫ P.29
ウィンドウメニュー	表示サイズの変更や「StationTV」の終了ができるメニューアイコンです。ビューアの上部にマウスを移動したときに表示されます。≫ P.31
チャンネル	選局時に表示されるチャンネル番号です。≫ P.32
クイックメニュー	「StationTV」の一部の操作をビューア上で行います。≫ P.33 ※ 受信している放送波や「StationTV」の状態によって内容が異なります。
メッセージ	「StationTV」からのメッセージです。≫ P.35
コントロールパネル	タイムシフト、録画、再生の操作をビューア上で行います。≫ P.36 ※ 「StationTV」の状態によって内容が異なります。

ステータス情報

現在のレコーダー（ ≧ P.49 ）の 状態や録画番組の再生情報を表示します。

ステータス情報を表示する



ビューアが表示されている状態で、キーボードの [B] キーを押す

➡ 「ステータス情報」が表示されます。

ステータス情報画面について

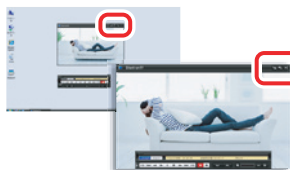


項目	
レコーダー 1 情報	レコーダー 1 の状態を表示します。レコーダー 1 の番組が [ビューア] 画面に表示されているときはオレンジ色になります。
レコーダー 2 情報	レコーダー 2 の状態を表示します。レコーダー 2 の番組が [ビューア] 画面に表示されているときはオレンジ色になります。
録画番組再生 情報 ※ 再生時のみ表示	録画番組の再生時に状態を表示します。

ビューアに表示される情報

表示項目	
レコーダー番号	レコーダーの番号です。
保存先アイコン	録画番組の保存先です。  保存先の設定 » P.138
状態アイコン	現在の状態を表すアイコンです。録画中または再生中にアイコンが表示されます。
番組名	現在受信している番組のタイトルです。
チャンネル名	現在受信してるチャンネル名です。
放送局ロゴ	現在受信してる放送局のロゴです。
チャンネル番号	現在受信してる放送局のチャンネル番号です。
放送波	現在受信している放送波です。

ウィンドウメニュー



ビューア上部に表示される、表示サイズの変更や「StationTV」の終了を行うメニューアイコンです。

※ マウス操作のみに対応しています。

ウィンドウメニューを表示する



【フルスクリーンモード時】

ビューアの最上部にマウスポインタを移動

※ 表示を消すには最上部からマウスを動かしてください。

【コンパクトモード時】

ビューア上部に常に表示されています

アイコンについて

ウィンドウメニューのアイコン一覧

	ビューアをコンパクトモードに切り換えます。≫ P.56
	「StationTV」を待機モードにします。≫ P.163
	「StationTV」を終了します。≫ P.162 ※ 終了すると、予約録画などの機能が実行されなくなります。
	ビューアをフルスクリーンモードに切り換えます。
	ビューアをタスクトレイに収納し、デスクトップ画面を表示します。 ※ 「StationTV」は起動状態のままで、ビューアが消えます。タスクトレイ内の「StationTV」をクリックすると、再びビューアが表示されます。

チャンネル

選局時にビューア右上に表示されます。

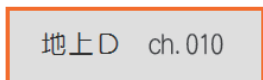
図 1



【図 1】

チャンネル番号選局またはワンタッチ番号選局のときに、入力された数字が表示されます。

図 2



チャンネル番号（3桁）で選局する（≫ P.43）を参照してください。

【図 2】

放送局のチャンネル番号です。チャンネルが切り換わったときに表示されます。

ビューアに表示される情報

項目	
音声切換 ※ 切り換える音声がない場合は使用できません。	音声を切り換えます。選択できる音声は番組によって異なります。 ≫ P.53
字幕 ※ 切り換える字幕がない場合は使用できません。	字幕表示を切り換えます。選択できる言語は番組によって異なります。 ≫ P.54 ◆ 選択項目：[選択可能な言語] / [オフ]
表示モード	ビューアの表示モードを切り換えます。 ≫ P.55 ◆ 選択項目：[ノーマル] / [ワイド] / [ズーム]
先頭（前の録画番組） ※ 録画番組再生時のみ表示	● 単一の録画番組の再生時：録画番組の先頭に戻って再生します。 ● 連続再生時（複数の録画番組を選択して再生）：一つ前の録画番組の先頭に戻って再生します。一つ前に録画番組がない場合はその録画番組の先頭に戻って再生します。
終端（次の録画番組） ※ 録画番組再生時のみ表示	● 単一の録画番組の再生時：その録画番組の終端まで進んで停止します。 ● 連続再生時（複数の録画番組を選択して再生）：一つ後の録画番組の先頭に進んで再生します。一つ後に録画番組がない場合はその録画番組の終端に進んで停止します。
最前面表示 ※ コンパクトモード時のみ表示	コンパクトモード時のビューアを最前面表示に設定できます。 ◆ 選択項目：[オン] / [オフ]
早見再生	録画番組の再生速度を 1.3 倍に早くして再生します。 ≫ P.105
ゆったり再生	録画番組の再生速度を 0.8 倍に遅くして再生します。 ≫ P.105
コントロールパネル固定表示 ※ フルスクリーンモード時のみ表示	[オン] に設定するとコントロールパネルを常時表示させることができます。 ◆ 選択項目：[オン] / [オフ]
待機モードへ	「StationTV」を待機モード (≫ P.160) にします。
StationTV の終了	「StationTV」を終了します。

メッセージ



「StationTV」からのメッセージです。下表の状態のときに表示され、約5秒間で自動的に消えます。

※ コンパクトモード時には表示されません。

メッセージ	
データ収集中	データ放送の受信中に表示されます。受信が完了すると、データ放送が視聴できます。このメッセージは表示／非表示を切り換えることができます。  メッセージの表示・非表示の切換 》 P.140
回線接続中	双方向サービスで接続しているときに表示されます。
非リンク状態	データ放送など通信コンテンツを表示中に、映像や音声を表示できない状態のときに表示されます。
ダウンロードあり	ダウンロードデータがある場合に表示されます。 このメッセージが表示された後、待機モードへ移行するとダウンロードが実行されます。
未読メールあり	放送メールを受信したときに表示されます。  放送メール 》 P.149
未読メッセージあり	メッセージを受信したときに表示されます。  メッセージ 》 P.152

コントロールパネル



マウスで「StationTV」を操作するためのパネルです。

※ 画面サイズによってコントロールパネルの形状が異なります。



コントロールパネルの機能 » P.167

コントロールパネルを表示する



ビューア上をマウスでクリックするか、ビューアの最下部にマウスポインタを移動すると表示されます。

※ 表示後、マウスをビューアの下部から外してからしばらくすると自動的に消えます。

[トップメニュー] 画面

「StationTV」のほとんどの機能はこのメニュー画面から行います。

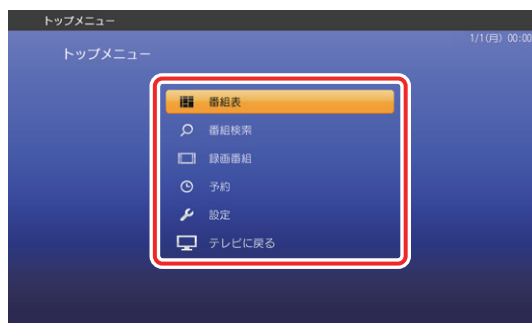
トップメニューを表示する



[] ボタンを押す

⇒ [トップメニュー] 画面が表示されます。

画面について



項目	
番組表	番組表を表示します。≫ P.58
番組検索	番組表または録画番組から番組を検索することができます。 検索方法には「ジャンル検索」(≫ P.60)と「フリーワード検索」(≫ P.61)があります。  録画番組検索 ≫ P.107
録画番組	録画番組の一覧を表示します。≫ P.100 録画番組の「再生」(≫ P.104)、「削除」(≫ P.110)、「保護」(≫ P.111)、「SD 画質変換」(≫ P.112)、「ディスク作成」(≫ P.114)を行うことができます。
予約	録画予約の一覧を表示します。また、録画予約の設定も行えます。≫ P.86
設定	「StationTV」の各種設定を行います。≫ P.123
テレビに戻る	「トップメニュー」画面を閉じて、ビューアに戻ります。

[番組詳細]画面

現在、視聴中または再生中の番組の詳細情報が表示されます。

番組詳細を表示する

- [] ボタンを押す
- [番組詳細] 画面が表示されます。

画面に表示されていない項目について

項目欄を選択して [] ボタンを押し、方向キー [] の上下でスクロールすることができます。

画面について



[番組詳細] の項目

タイトル	番組のタイトルです。
番組記述	出演者情報や番組内容など、番組の詳細情報です。
CH	番組を放送している放送局のチャンネル番号です。
放送局	番組を放送している放送局名です。
放送波	番組を放送している放送波です。
開始日時	番組の開始日時です。
終了日時	番組の終了日時です。
大ジャンル／小ジャンル	番組のジャンルです。
録画制限	番組が録画できるかどうかを表示します。≫ P.116
音声	選択できる音声です。
映像	選択できる映像です。
字幕	選択できる字幕です。
有料／無料	番組が有料かどうかを表示します。

操作メニューの項目

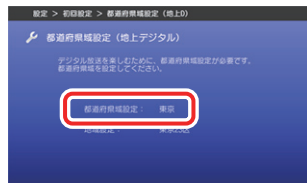
戻る	[番組表] 画面に戻ります。
----	------------------

メニュー画面の操作

メニュー項目の状態

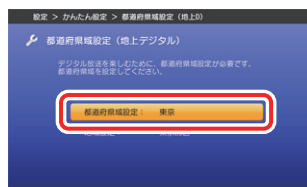
「トップメニュー」画面をはじめ「StationTV」のメニュー画面では、メニュー項目を選択／編集して設定を行います。メニュー項目には次の状態があります。

非選択状態（通常の状態）



何も選択されていない状態です。

選択状態

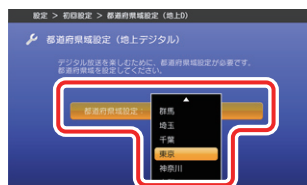


項目が選択されている状態です。選択された項目はオレンジ色になります。

方向キー [] で選択する項目を移動することができます。

※ キーボードの [← / ↑ / → / ↓] キーでも移動できます。

編集状態



項目を編集できる状態です。

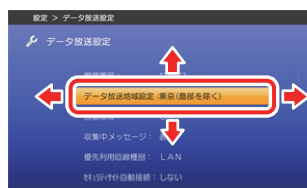
項目が選択されている状態（オレンジ色）で [] ボタンを押すと、この状態になります。

※ キーボードの [Enter] キーを押しても編集状態になります。

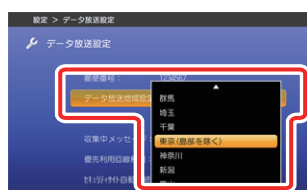
 編集状態での操作方法 >> P.40

メニュー項目の編集

メニュー項目を編集する



1. 方向キー [] で編集したい項目に移動する



2. [] ボタンを押す
→ 編集状態になります。

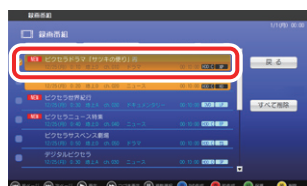


3. 方向キー [], [ ~ ] ボタン、またはキーボードで編集する

※ 項目の選択肢はプルダウンメニューから選択するものや、直接キーボードで入力するものなどがあります。

メニュー項目を複数選択する

[録画番組] 画面のように項目がリスト表示されている画面では、複数の項目を同時に選択することができます。



1. 方向キー [] で項目を選択して [] ボタンを押す

→ 選択された項目が選択状態のまま固定されます。

※ マウス操作ではチェックボックスをクリックします。

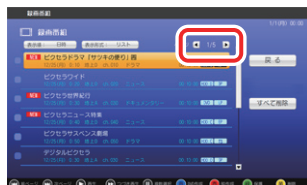
2. 必要なだけ手順 1 を繰り返す

→ この状態で「削除」、「再生」などの操作メニューを選択すると、選択した項目すべてに適用されます。

画面のスクロール

ページ切り換えアイコンでページを切り換える

一画面に表示しきれない項目をページを切り換えて表示します。



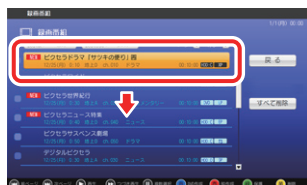
切り換えたい方向のページ切り換えアイコン [◀ / ▶] を選択し、[OK] ボタンを押す

➡ 押すたびにページが切り換わります。

※ 最後のページになるとボタンが無効になります。

項目をスクロール表示する

以下のどちらかの方法で、一画面に表示しきれない項目をスクロール表示します。



選択状態の項目を方向キー [◯] で順番に選択する

➡ リスト項目がスクロールします。



スクロールバーをマウスでドラッグ、またはスクロールバーの上下にある矢印アイコンをクリック

➡ リスト項目が番組単位でスクロールします。

※ この方法でのスクロールはマウス操作のみに対応しています。

テレビを見る（基本編）

ここではチャンネルの切り換えなど、「StationTV」でテレビを見るための基本的な操作を説明します。

チャンネルを切り換える

リモコンで切り換える

リモコンボタン番号で選局する



1. [① ~ ⑫] ボタンを押す

➡ チャンネルが切り換わります。

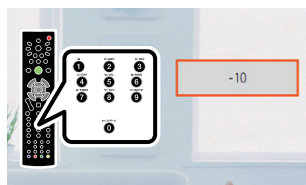


リモコンボタンとは

放送局に割り当てられている [1] から [12] までの番号です。

リモコンボタンの割り当ての変更については ≫ P.129 を参照してください。

チャンネル番号（3桁）で選局する



1. [●] ボタンを押す

➡ [チャンネル] 画面が表示されます。

2. 3桁のチャンネル番号を [① ~ ⑨] ボタンで入力する

3. [OK] ボタンを押す

➡ チャンネルが切り換わります。



チャンネル番号（3桁）とは

放送局またはチャンネルに割り当てられている3桁の番号です。「番組表」（≫ P.58～）やビューアに表示される「ステータス情報」（≫ P.29）、「チャンネル」（≫ P.32）などで確認することができます。

チャンネルを切り換える

昇降順に選局する



[上 / 下] ボタンを押す

➡ 昇降順でチャンネルが切り換わります。

※ 同じ番組をスキップして選局する場合は、事前に番組情報を取得する必要があります。

番組情報を取得するには、「StationTV」を待機モード（ ≫ P.163 ）にしてください。時間は約 10 分程度かかります。



臨時放送について

チャンネルを昇降順に切り換えると、臨時放送をとばして、次のチャンネルを表示する場合があります。その場合は、チャンネル番号（3桁）で選局してください。

チャンネルを切り換える

キーボードで切り換える

数字キーで選局する



1. ビューア（≫ P.27）が表示されている状態で、[1]～[9] をキーボードで入力する
2. キーボードの [Enter] キーを押す
➡ チャンネルが切り換わります。

チャンネル番号（3桁）で選局する



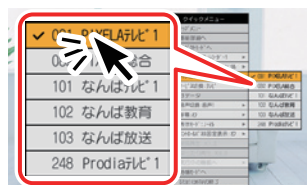
1. キーボードの [¥] キーを押す
➡ [チャンネル] 画面が表示されます。
2. チャンネル番号をキーボードのテンキーで入力する
3. キーボードの [Enter] キーを押す
➡ チャンネルが切り換わります。

[+] / [-] キーで選局する



- ビューアが表示されている状態で、キーボードの [+] キー、または [-] キーを押す
➡ 昇降順でチャンネルが切り換わります。

マウスで切り換える



1. ビューア（≫ P.27）上を右クリック
➡ クイックメニュー（≫ P.33）が表示されます。
2. [チャンネル切替] をクリック
➡ プルダウンメニューが表示されます。
3. 切り換えるチャンネルをクリック
➡ チャンネルが切り換わります。

音量を調節する

リモコンで調節する

音量を調節する



- [+ / -] ボタンを押す
→ 音量が変更されます。

消音する



- [] ボタンを押す
→ 音声が消音されます。もう一度ボタンを押すと解除されます。

キーボードで調節する

音量を調節する



- ビューア (>> P.27) が表示されている状態で、キーボードの [,] / [.] キーを押す
→ 音量が変更されます。

消音する



- ビューアが表示されている状態で、キーボードの [M] キーを押す
→ 音声が消音されます。もう一度押すと解除されます。

音量を調整する

マウスで調節する

音量を調節する



1. マウスカーソルをビューア（ ≫ P.27）の下部に移動する
➡ コントロールパネル（ ≫ P.36）が表示されます。
2. [-] / [+] ボタンをクリック
➡ 音量が変更されます。

消音する

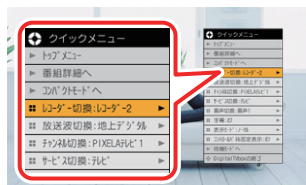


1. マウスカーソルをビューアの下部に移動する
➡ コントロールパネルが表示されます。
2. [🔊] ボタンをクリック
➡ 音声が消音されます。もう一度クリックすると解除されます。

レコーダーを切り換える

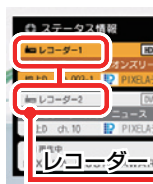
本製品にはテレビの視聴、録画、再生などを行う「レコーダー」(≫ P.49)があります。組み合わせて使うことによって、テレビを見ながら他のチャンネルを録画する裏番組録画などが可能になります。

リモコンで切り換える



1. クイックメニューの[レコーダー切替]を選択し、[OK] ボタンを押す
➡ プルダウンメニューが表示されます。
2. 切り換えるレコーダーを選択し、[OK] ボタンを押す
➡ レコーダーが切り換わります。

キーボードで切り換える



ビューアが表示されている状態で、キーボードの[C]キーを押す

➡ レコーダーが切り換わります。

レコーダーについて

レコーダーとは？

「StationTV」には視聴と録画を行う「レコーダー」が2つあります。これらを同時に使用することで、視聴中の番組と同じ時間帯に放送している番組を録画する「裏番組録画」や同時に2つの番組を録画する「ダブル録画」が可能になります。

 レコーダーの使用例 > P.50

 裏番組録画／ダブル録画 > P.80

StationTV



レコーダーの状態について

レコーダーには「レコーダー1」と「レコーダー2」があります。使用中のレコーダーで受信している番組がビューアに表示されています。たとえば、「レコーダー1」を使用している場合、「レコーダー2」は画面上には表示されず待機状態となります。レコーダーの切り換え（> P.48）で使用するレコーダーを切り換えることができます。

 使用中のレコーダーや受信している番組は、「ステータス情報」（> P.29）で確認できます。

レコーダーの状態



レコーダーの使用例

裏番組録画（番組を見ながら、裏で別の番組を録画する）

どちらかのレコーダーで番組を視聴しながら、使用していないレコーダーで別の番組を録画します。

» P.80



ダブル録画（見ている番組を録画しながら別の番組も録画する）

どちらかのレコーダーで番組を録画しながら、もう一方のレコーダーで別の番組も録画します。

» P.80



テレビを見る（応用編）

「StationTV」にはテレビをもっと楽しむための、さまざまな機能があります。ここでは音声／映像／表示などの切り換え方などの便利な機能を説明します。

地上デジタル放送の番組に含まれる情報

地上デジタル放送には、メインの映像・音声の他に、字幕、データ放送、複数の映像・音声などを含む番組があります。

データ放送（≫ P.65）

地上デジタル放送では、地域の天気予報やニュースなどをデータ放送として提供しています。データ放送では、クイズに参加したり、ショッピング番組で商品を購入するなどの双方向サービスを利用することもできます。

字幕／文字スーパー（≫ P.54）

字幕や文字スーパーに対応した番組の場合、画面に番組の内容を字幕や文字スーパーで表示させることができます。

マルチ映像（≫ P.53）

ひとつの番組で複数の映像が用意されている場合、映像を切り換えて視聴することができます。

マルチ音声（≫ P.53）

従来の地上アナログ放送でも複数の音声を含んだ番組が放送されますが、地上デジタル放送の番組は最大 8 種類の音声チャンネルを含むことができます。たとえば、野球中継で球団別の解説を選択できたりなど、複数の音声で番組を視聴できます。

番組に含まれる情報は下表の通り使用できます。

操作	字幕／ 文字スーパー	データ放送	マルチ映像	マルチ音声
ライブ視聴	○	○	○	○
HDD への録画	○	○	○	○
録画番組再生	○	○	○	○
DVD 作成	×	×	×	×
BD 作成	○	○	○	○
SD 画質変換	×	×	×	○

 HDD への録画（録画する ≫ P.77）

 録画番組再生（再生する ≫ P.99）

 DVD 作成・BD 作成（ディスク作成 ≫ P.114）

 SD 画質変換（HD 画質の録画番組サイズを圧縮する（SD 画質変換）≫ P.112）

音声や映像を切り換える



一つの番組で複数の映像や音声を用意されている場合、視聴者が自由に切り換えることができます。例えば、映像のアングルを切り換えて視聴したり、音声を日本語から英語に切り換えたりすることができます。

音声を切り換える

[] ボタン、またはキーボードの [A] キーを押す

→ 音声切り換わりします。

 音声はクイックメニューからも切り換えることができます。≫ P.33

音声の切り換え

デュアルモノラル音声（音声多重放送など）と複数音声があり、これらの番組の視聴中や再生中に下記のとおり切り換えることができます。

「音声 1（主音声）」→「音声 1（副音声）」→「音声 1（主音声 + 副音声）」→「音声 2（主音声）」…
「音声 8（主音声 + 副音声）」→「音声 1（主音声）」…

※ 地上デジタル放送の音声は最大 8 種類です。番組によって数は異なります。

映像を切り換える

[] ボタン、またはキーボードの [V] キーを押す

→ 映像切り換わりします。

映像の切り換え

地上デジタル放送には、スポーツ番組のアングル別映像など、複数の映像を含んで放送する番組があり、これらの番組の視聴中や再生中に下記のとおり映像を切り換えることができます。

「映像 1」→「映像 2」→「映像 3」…「映像 3」→「映像 2」…

※ 地上デジタル放送の映像は最大 3 種類です。番組によって数は異なります。

字幕や文字スーパーを表示する



地上デジタル放送では、対応している番組で番組の内容や情報を「字幕」や「文字スーパー」で表示させることができます。

※ 番組によっては表示する言語を選択することもできます。

字幕／文字スーパーを表示する

[] ボタン、またはキーボードの [K] キーを押す

→ 字幕／文字スーパーが表示されます。もう一度押すと非表示になります。



クイックメニューからも操作できます。≫ P.33

[字幕／文字スーパー設定] 画面で言語を選択できます。≫ P.134

ビューアの表示モードを切り換える

ビューアを「ノーマル」、「ワイド」、「ズーム」の3種類の表示モードに変更できます。

表示モードを切り換える

[] ボタン、またはキーボードの [G] キーを押す

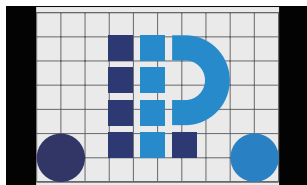
→ 押すたびに「ノーマル」／「ワイド」／「ズーム」の順で表示モードが切り換わります。



クイックメニューからも切り換えることができます。≫ P.33

ビューアを縮小表示（コンパクトモード）することもできます。≫ P.56

ノーマル

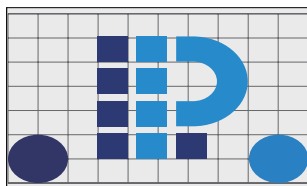


通常の表示モードです。

視聴している番組の設定の通りに画面表示します。

※ 番組によって画像の比率は異なります。

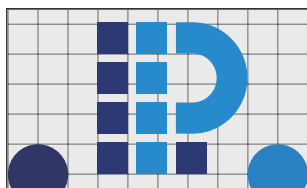
ワイド



番組本来の画面比率を変更して、ディスプレイいっぱいに画面を広げる表示モードです。

全体的に横長の画面になります。

ズーム



番組本来の画面比率を変更しないで、ディスプレイいっぱいに拡大表示する表示モードです。

画面の比率を変更せずに拡大表示するので、比率が4:3の番組は画面の上下が、16:9の番組は画面の左右がはみ出した状態で表示されます。



表示モードについてのご注意

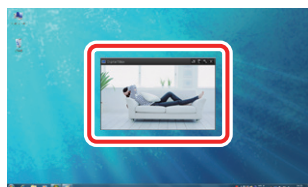
- ディスプレイと放送の画面比率が同じ場合、表示モードを切り換えても画面表示は変化しません。
- 「ズーム」は4:3で表示されている番組に適用されますが、放送局の送信方法によって、効果が異なる場合があります。

ビューアを縮小表示する（コンパクトモード）

ビューアを縮小表示し、パソコンを操作しながらテレビを視聴できるようにします。
切り換えたビューアはマウスで自由に動かすことができます。

※ コンパクトモードに切り換えるとコントロールパネルの形状が変わりますが、基本的にフルスクリーンモードと同じ操作方法で使用できます。また、表示モード（≫ P.55）によって表示される情報が異なる場合があります。

コンパクトモードに切り換える



1. リモコンの [クイックメニュー ●] ボタンを押す
➡ クイックメニューが表示されます
2. [コンパクトモードへ] を選択して、[OK] ボタンを押す
➡ ビューアがコンパクトモードに切り換わります。
※ ビューアをマウスでダブルクリックするとフルスクリーンモードに戻ります。



コンパクトモードのビューアサイズ

コンパクトモードのとき、ウィンドウの隅をマウスでドラッグすることで自由に画面サイズを変更することができます。

いつも見ている番組を自動告知する（いつもの機能）

ユーザーの視聴履歴からいつも見ている番組を割り出し、放送開始をメッセージで知らせることができます。

メッセージ 1

いつもの番組

地上D 100ch ビクセラ放送 01:00 ~ 01:30
痛快！ビクセラランド

まもなく、いつもの番組の放送が始まります。視聴しますか？

テレビ視聴時に、「いつもの機能」に登録された番組の開始 1 分前になると、左のメッセージが表示されます。

メッセージ 1 の選択項目

はい	お知らせした番組のチャンネルに切り換わります。
いいえ	メッセージを閉じます。

メッセージ 2

いつもの番組

地上D 100ch ビクセラ放送
01:00 ~ 01:30
痛快！ビクセラランド

「StationTV」の起動時に、「いつもの機能」に登録された番組がすでに始まっていた場合、チャンネルをその番組に合わせた状態で起動されます。その場合は、左のメッセージが表示されます。



いつもの機能の登録条件

同じ番組で以下のいずれかの条件を 3 回繰り返すと「いつもの機能」に自動的に登録されます。

- 4 分以上の視聴
- 番組放送時間の 50%以上の視聴



「いつもの機能」の履歴は消去したり、設定を変更することができます。 >> P.132

番組表

「StationTV」では、放送番組の一覧や番組の詳細情報を確認できる「番組表」(EPG)を利用できます。ここでは、「番組表」の使い方を説明します。

番組表を使う

番組表とは、電子番組表 (EPG = Electronic Program Guide) のことで、地上デジタル放送の番組データを元に作成されます。

番組表から番組を選んで録画予約を行うと、「時間追従」や「イベントリレー」などの地上デジタル放送特有の機能を利用できます。

番組表を表示する



[] ボタンを押す

➡ 現在視聴中の放送波の番組表が表示されます。

※ もう一度押すとビューアに戻ります。

※ 番組表に表示される番組情報を取得するには、「StationTV」を待機モード (> P.163) にしてください。
時間は約 10 分程度かかります。

 番組表の画面説明 > P.62

番組表から番組を選択する



1. 見たい番組や録画予約をしたい番組を選択し、[] ボタンを押す

➡ 「番組詳細」画面が表示されます。



2. [視聴]、[録画] または [番組表予約] を選択し、[] ボタンを押す

➡ 各動作が実行、または画面が表示されます。

※ [視聴]、[録画] は現在放送中の番組でのみ選択できます。

 録画 > P.77、録画予約の設定 > P.90

番組を簡単に検索、予約する

番組表を利用することで、大量の番組データの中から出演者やジャンル、番組の内容などの詳細情報をもとに、簡単に番組を検索することができます。さらに、分かりやすい画面操作で録画予約も簡単に設定することができます。

 ジャンルを選択して番組検索 > P.60 フリーワードを入力して番組検索 > P.61、
録画予約の設定 > P.90

番組表からジャンルを選択して番組を検索する

1. [ジャンル検索] 画面を表示

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[番組検索] ▶ [番組表検索] ▶ [ジャンル検索]

→ [ジャンル検索 検索範囲設定] 画面が表示されます。

2. 検索をかける範囲を設定

1. [放送波] に検索をかける放送波を設定する
[すべて] / [地上デジタル]

2. [サービス] に検索をかけるサービスを設定する
[すべて] / [テレビ] / [データ]

3. [検索開始日付]、[検索終了日付] に検索をかける範囲を設定する

4. [次へ] を選択し、[] ボタンを押し
→ [ジャンル検索 大ジャンル] 画面が表示されます。

3. 検索するジャンルを設定

1. 検索をかける大ジャンルを設定する
→ [ジャンル検索 小ジャンル] 画面が表示されます。

2. 検索をかける小ジャンルを設定する
→ [ジャンル検索結果] 画面 (≫ P.64) が表示されます。

番組表からフリーワードを入力して番組を検索する

1. [フリーワード検索] 画面を表示

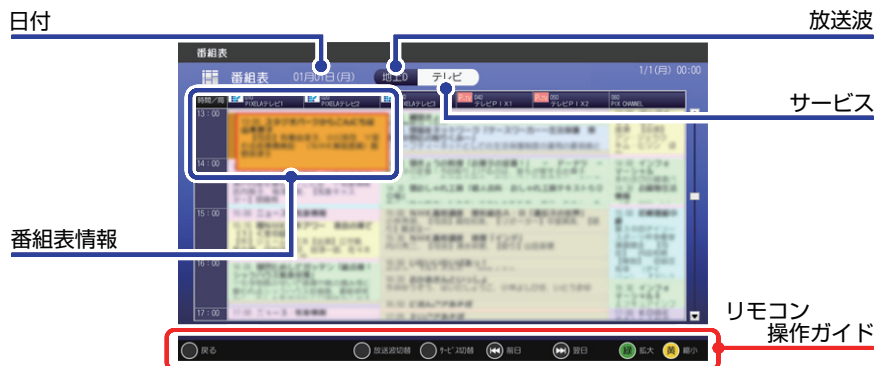
- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
[番組検索] ▶ [番組表検索] ▶ [フリーワード検索]
→ [フリーワード検索 検索範囲設定] 画面が表示されます。

2. 検索をかける範囲を設定

1. [放送波] に検索をかける放送波を設定する
[すべて] / [地上デジタル]
2. [サービス] に検索をかけるサービスを設定する
[すべて] / [テレビ] / [データ]
3. [検索開始日付]、[検索終了日付] に検索をかける範囲を設定する
4. [フリーワード] に検索をかけるワードをキーボード入力し、[Enter] キーを押す
5. [検索開始] を選択し、[] ボタンを押す
→ [フリーワード検索結果] 画面 (≫ P.64) が表示されます。

番組表の画面説明

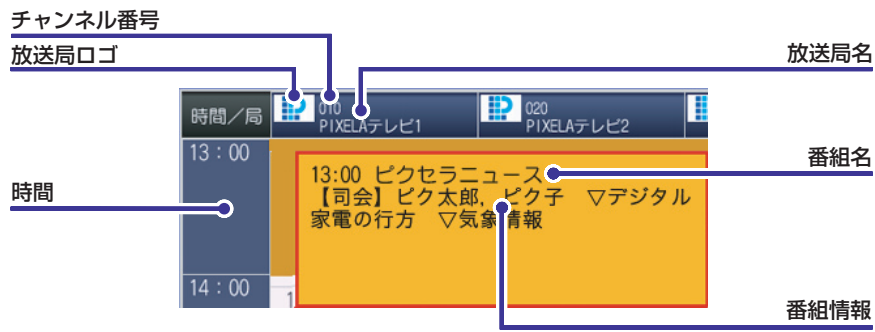
〔番組表〕画面（全体）



項目（全体）	
日付	表示中の番組表の日付です。 [戻る] ボタン / [スキャン] ボタンを押すと、日付を変更することができます。 (最大 8 日分)
放送波	表示中の番組表の放送波です。
サービス	番組表のサービス種別です。 ◆ 選択項目：[テレビ] / [データ] ※ [データ]とは「独立型データ放送」(≫ P.66) を指します。 ※ 利用できるサービスは放送波、放送局によって異なります。
番組表情報	番組の開始時間、タイトル、番組内容が表示されます。 👉 番組表の詳細情報 ≫ P.63

操作ガイド	
戻る	[戻る] ボタンを押すと、[トップメニュー] 画面に戻ります。
放送波切替	※ 本製品では使用できません。
サービス切替	マウスでクリックすると、番組表のサービス (テレビ/データ) が切り換わります。
前日	[スキャン] ボタンを押すと、前日の番組表に切り換わります。
翌日	[スキャン] ボタンを押すと、翌日の番組表に切り換わります。
緑 (拡大)	[緑] ボタンを押すと、番組表が拡大表示されます。 押すたびに表示が3段階で拡大されます。
黄 (縮小)	または [黄] ボタンを押すと、拡大表示した番組表を元に戻すことができます。 押すたびに表示が3段階で縮小されます。 ※ 初期設定では最小で表示されています。

[番組表] 画面 (詳細)



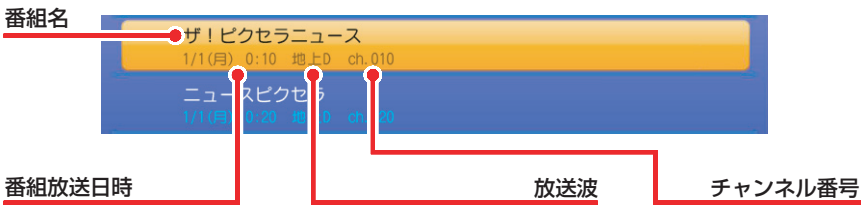
項目 (詳細)	
放送局ロゴ	放送局のロゴマークです。
チャンネル番号	放送局のチャンネル番号です。
放送局名	放送局名です。
時間	番組表の時間帯表示です。
番組名	番組のタイトルです。
番組情報	番組の詳細情報です。 番組を選択した状態で [OK] ボタンを押すと、[番組詳細] 画面 (>> P.38) で詳細情報を見ることができます。

[ジャンル／フリーワード検索結果] 画面



項目（全体）	
検索結果	検索された番組の詳細です。
操作メニュー	
表示順	検索結果のリストを選択した項目で並び替えます。 ◆ 選択項目:[日時]／[タイトル]／[放送波(チャンネル)]／[放送波(日時)]
戻る	一つ前の画面に戻ります。

[ジャンル／フリーワード検索結果] 画面（詳細）



項目（詳細）	
番組名	番組のタイトルです。
番組放送日時	番組の放送日時です。
放送波	番組を放送する放送波です。
チャンネル番号	番組を放送する放送局のチャンネル番号です。

データ放送

データ放送は地域の天気予報やニュースなどのほか、クイズに参加するなどの双方向サービスを利用することもできます。ここでは、データ放送の使い方を説明します。

データ放送を見る

データ放送は、番組の情報やお住まいの地域の天気など、さまざまな情報をホームページのように画面上で選んで表示することのできるサービスです。番組によっては、クイズへの回答など、視聴者側から放送局に通信できる双方向通信も可能です。

データ放送には以下の2種類があります。

独立型データ放送



テレビ放送とは独立した、データのための放送チャンネルです。地域毎の情報やガイドが提供されます。

※ 独立型データ放送は [] ボタンで開始します。

連動型データ放送



テレビ放送と同じチャンネルで、番組の進行に連動した情報、ニュースや天気予報などを提供する放送サービスです。番組によっては、クイズへの参加や商品の購入などができます。



データ放送を利用する前に

- ご利用地域にあわせた情報を見るために、[データ放送設定] (≫ P.140) でご利用地域などの設定を行う必要があります。

データ放送を開始する

[] ボタン、またはキーボードの [D] キーを押す

➔ 「データ収集中」というメッセージ (≫ P.35) が画面左下に表示され、しばらくすると、視聴中の番組のデータ放送が表示されます。

※ 番組によっては、はじめからデータ放送が表示される場合があります。



データ放送は、クイックメニュー (≫ P.33)、またはコントロールパネル (≫ P.69) からでも操作できます。

データ放送を終了する

データ放送の視聴中に、[] ボタン、またはキーボードの [D] キーを押す

➔ データ放送が終了し、視聴中の番組の映像が表示されます。



データ放送についてのご注意

データ放送は、放送波からデータを収集し終わるまではデータ画面を表示できません。その間、「データ収集中」というメッセージ (≫ P.36) が画面左下に表示されます。収集が完了すると自動的に消えます。また、データ放送中に正常に動作しなくなった場合は、再度チャンネルを選局し直してください。

双方向サービスを利用するための準備

双方向サービスとは、クイズに参加したり、プレゼントに応募するなど、視聴者からデータを送信できる機能です。双方向サービスでは電話回線やインターネットを使用してデータの送信を行います。

双方向サービスを利用するために、次の通信設定を行ってください。

電話回線の設定をする

双方向サービスなどに使用する電話回線を [電話回線設定] 画面 (≫ P.142) で設定します。

- ※ 初回設定の [電話回線種別] と [発信番号設定] を完了されている場合は、設定する必要はありません。
- ※ モデムが搭載されていないパソコンでは、設定する必要はありません。

双方向サービスの接続設定をする

通信が必要なコンテンツを利用するときの接続方法と、自動的に接続するかどうかを [データ放送設定] 画面 (≫ P.140) で設定します。

インターネットの設定 (ダイヤルアップ) をする

ダイヤルアップでインターネットに接続される場合は、[インターネット接続設定 (ダイヤルアップ)] 画面 (≫ P.145) で設定します。

- ※ モデムが搭載されていないパソコンでは、設定する必要はありません。

インターネットがダイヤルアップ接続の場合

[インターネット接続設定 (ダイヤルアップ)] 画面の設定項目 [ダイヤルアップ自動接続] を「する」に設定したままインターネット自動接続を行う番組を長時間視聴すると、インターネット接続による電話料金が高額になる可能性があるので注意してください。

インターネットの設定 (LAN) をする

LAN を使用してインターネットに接続する場合は、[インターネット接続設定 (LAN)] 画面 (≫ P.147) で設定します。

データ放送での操作一覧

データ放送を視聴中に実行できる操作は次のとおりです。

リモコンボタン	
	画面上のフォーカスを移動します。
	フォーカスの項目を選択します。
戻る 	1 つ前の項目、またはページに戻ります。
青 	「青」メニューを選択します。
赤 	「赤」メニューを選択します。
緑 	「緑」メニューを選択します。
黄 	「黄」メニューを選択します。
0 ~ 9 	数字を入力します。

キーボード	
[←] / [↑] / [→] / [↓]	画面上のフォーカスを移動します。
[Enter]	フォーカスの項目を選択します。
[Back Space]	1 つ前の項目、またはページに戻ります。
[F5]	「青」メニューを選択します。
[F6]	「赤」メニューを選択します。
[F7]	「緑」メニューを選択します。
[F8]	「黄」メニューを選択します。

データ放送での操作一覧



コントロールパネルの操作ボタン

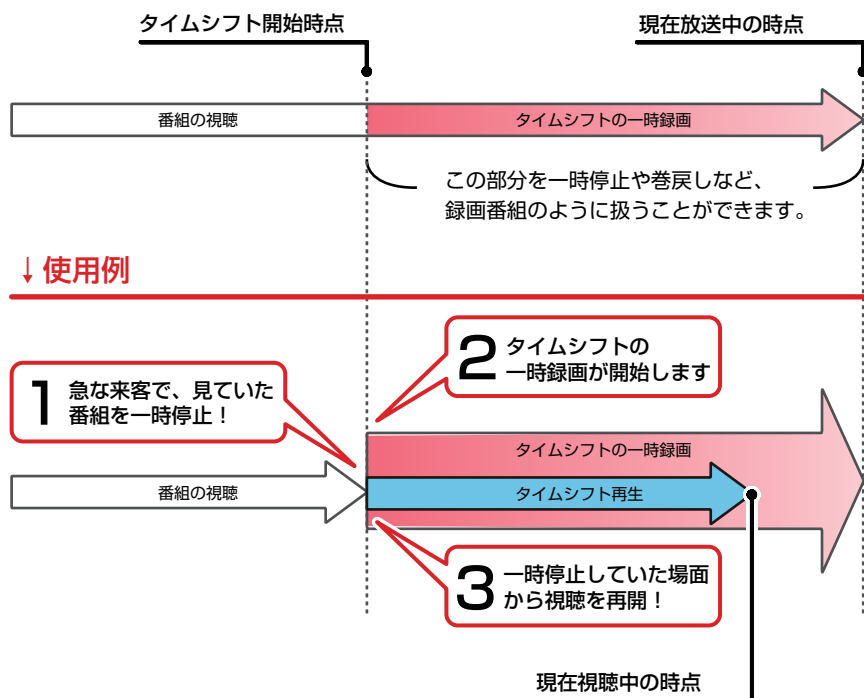
数字ボタン	数字を入力します。
	データ放送に切り換えます。
	画面上のフォーカスを移動します。
	フォーカスの項目を選択します。
	1 つ前の項目、またはページに戻ります。
	「青」メニューを選択します。
	「赤」メニューを選択します。
	「緑」メニューを選択します。
	「黄」メニューを選択します。

タイムシフト

「タイムシフト」は、番組を一時的に録画しておくことで、見ている番組をさかのぼって再生できる機能です。ここでは、「タイムシフト」の使い方を説明します。

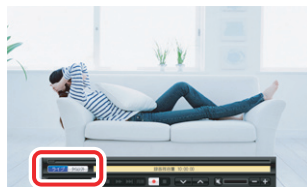
タイムシフトとは

「タイムシフト」は、番組を一時的に録画しておくことで、見ている番組（現在放送中の番組）を一時停止したり、巻き戻したりできる機能です。
ワンタッチで開始できますので、急な来客で一時的に視聴を中断したいときなどに番組を一時停止して、後から視聴を再開することができます。



タイムシフトを使う

視聴状態について



「StationTV」には「ライブ」と「タイムシフト」の2つの視聴状態があります。

「ライブ」は現在放送中の番組を視聴できる通常の状態、「タイムシフト」は視聴中の番組をタイムシフト用に一時的に録画している状態（以下、「タイムシフト状態」）です。

※「ライブ」／「タイムシフト」はコントロールパネルで確認できます。

視聴状態を切り換える

[①] ボタンを押す

➡ メッセージが表示され、一時録画が開始されます。

※ 一時録画を解除するには [ライブ] をクリックします。



いつでも「タイムシフト」の状態で起動することができます。≫ P.136



表示されるメッセージを非表示にすることができます。≫ P.136

! タイムシフト状態時のご注意

- タイムシフト中にチャンネル、放送波を切り換えると、それまで保存していた一時録画データが破棄され、さかのぼって視聴することができなくなります。
- タイムシフト状態のとき、双方向サービスを利用した機能、録画番組再生、レコーダ切替はできません。
- 録画中はタイムシフト視聴（録画）できません。
- タイムシフト中に予約録画が始まる場合、録画開始1分前にダイアログメッセージが表示され、タイムシフトを停止します。

! 強制的に解除されるとき

以下の場合、タイムシフトは強制的に解除されます。

- タイムシフト用の一時録画ファイルの保存先空き容量が 5GB 未満になった場合
- 年齢制限や有料放送など、視聴制限がある番組が開始された場合



タイムシフトで録画した番組を保存する

タイムシフト用に録画した一時録画データを通常の録画番組ファイルとして保存し、録画を続けることもできます。≫ P.82

タイムシフトを使う

タイムシフトを使う

タイムシフトを開始する



[] ボタンを押す

→ 番組が一時停止され、タイムシフト状態に切り換わります。

タイムシフトした番組を視聴する



1. タイムシフト状態時に、[] ボタンを押す

→ 番組が再開されます。



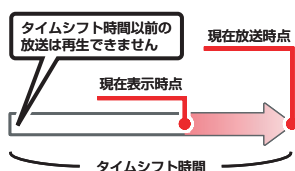
タイムシフト状態が開始されはじめた時は、一時録画データが充分たまっていないため、少しの時間しかさかのぼることはできません。
急に巻戻したい場面が出てきたときなどに番組を巻戻すには、事前にタイムシフト状態にしておく必要があります。



いつでも「タイムシフト」の状態で起動することができます。 > P.136

！ 番組をさかのぼれない

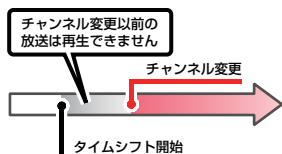
以下の場合、番組をさかのぼることができません。



【タイムシフト時間の設定より以前】

タイムシフト用の一時録画は、タイムシフト状態に切り換わった時点から「タイムシフト時間」（初期設定では 90 分）で設定している時間分を保持します。タイムシフト状態に切り換わる前や、設定されている時間より以前にさかのぼることはできません。

※ タイムシフト時間の設定の変更 > P.136



【チャンネル・放送波・レコーダーを切り換える以前】

タイムシフト状態のとき、チャンネルや放送波またはレコーダーを切り換えると、それまで一時録画データを破棄し、新しく切り換えたチャンネルの一時録画を開始しますので、切り換え以前の時点にはさかのぼることはできません。

タイムシフトに必要な空き容量

タイムシフトは一時的に録画ファイルを保存するため、保存先に通常の録画と同じ空き容量が必要です。

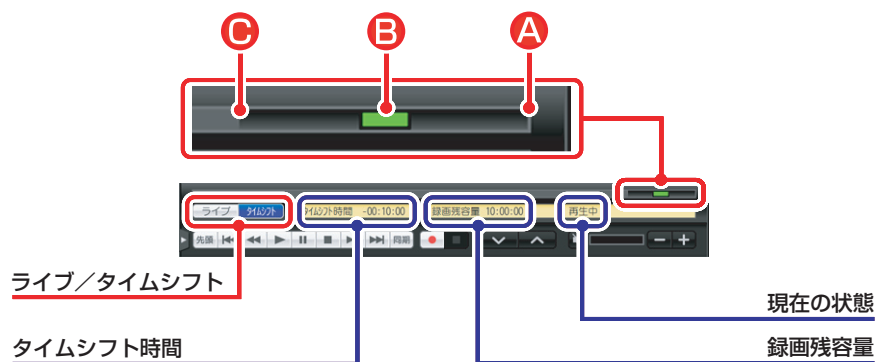
タイムシフト時間	必要な空き容量（最大）
5 分	約 900MB
15 分	約 2.7GB
30 分	約 5.4GB
60 分	約 10.8GB
90 分	約 16.2GB

※ デジタルハイビジョン画質（HD 画質）の番組でタイムシフトしたときの目安です。
番組の内容によってはこの表以上の空き容量が必要となる場合があります。

タイムシフト状態時の操作方法

コントロールパネルの表示について

タイムシフト状態時のコントロールパネルは次のとおり表示されます。



項目	
タイムシフト時間	現在ビューアで視聴している時点 (B 時点) が、現在放送中の時点 (A 時点) と、どれくらい時間差があるかを表示します。
録画残容量	録画できる残り時間を表示します。 ※ タイムシフトは一時的に録画ファイルを保存するため、保存先に通常の録画と同じ空き容量が必要です。
現在の状態	タイムシフト状態時での操作状態 (「再生中」や「一時停止中」など) を表示します。

操作メニュー	
ライブ/タイムシフト 切替ボタン	クリックすると視聴状態 (ライブ状態/タイムシフト状態) が切り換わります。
A 時点	現在、実際に放送されている時点を表します。
シークバー (B 時点)	現在、ビューアで視聴している時点を表します。 マウスでドラッグして A 時点から C 時点の間を自由に移動させることができます。
C 時点	タイムシフトを開始した時点を表します。

タイムシフト状態時の操作一覧

タイムシフト状態での操作	
巻戻し 	タイムシフト状態の番組を巻戻します。巻戻しの速度は押すたびに、次のとおり切り換わります。 ◆【巻戻し速度】：2 倍⇒4 倍⇒20 倍⇒100 倍⇒2 倍…
早送り 	タイムシフト状態の番組を早送ります。早送りの速度は押すたびに、次のとおり切り換わります。 ◆【早送り速度】：0.8 倍⇒1.3 倍⇒2 倍⇒4 倍⇒20 倍⇒100 倍⇒0.8 倍…
前スキップ 	タイムシフト状態の番組を一定の時間、前へスキップします。初期設定では 30 秒です。  スキップする時間を変更する » P.139
次スキップ 	タイムシフト状態の番組を一定の時間、次へスキップします。初期設定では 30 秒です。  スキップする時間を変更する » P.139
再生 	巻戻し中／早送り中／一時停止中に押すと、再生を再開します。
一時停止 	タイムシフト状態時に押すと、再生を一時停止します。
録画 	一時録画データを、通常の録画番組ファイルに変換して録画を続けます。(タイムシフト録画) » P.82
停止 	タイムシフト状態を終了して、ライブ状態に切り換わります。
先頭 	コントロールパネルでの操作となります。 タイムシフト開始時点の映像にスキップして先頭から再生します。 ※ リモコンでの操作には対応していません。
同期 	コントロールパネルでの操作となります。 現在放送中の時点と同期して再生します。 ※ リモコンでの操作には対応していません。
	データ放送を表示します。

録画する

「StationTV」での録画は、通常の録画以外にも「ダブル録画」や「リリーフ録画」など可以使用できます。ここでは番組の録画方法について説明します。

録画に関する注意事項

以下の事項を確認してください。

録画についての基礎知識

- 録画の開始・終了は操作をしてから実行されるまで数秒かかります。
- 1 回の録画で、2 つ以上の番組をまたぐと、録画番組ファイルは番組ごとに作成されます。
- 手動での録画中に、同一のレコーダーで予約した録画の開始時間になった場合、予約録画が優先されます。
- 録画開始から 24 時間を経過すると、録画は自動的に終了します。
- 録画番組の保存先に設定したハードディスクの空き容量が 5GB 未満になると、録画は自動的に停止します。

録画時の制限

- デジタル放送では、著作権保護のため、ほとんどの番組にコピー制限があります。番組によっては録画できない場合がありますので注意してください。
- スクリーンセーバーなどの常駐プログラムを含む他のソフトウェアを起動すると、録画に失敗する場合があります。録画中はパソコンの CPU やハードディスクに負荷がかかる操作をしないでください。
- 「StationTV」で録画した番組は、[録画番組] 画面に表示されます。この画面のページ数が 100 ページを超えると、以降に録画した番組は再生専用になり、ディスク作成や SD 画質変換ができなくなります。録画番組は視聴後に削除したり、ディスク作成するなどして、100 ページを超えないようにすることをおすすめします。
- 一回の録画でも、番組をまたぐと録画番組ファイルは番組ごとに分割されて保存されます。

見ている番組を録画する

「StationTV」はデジタル特有の高画質・高音質な番組を劣化させることなく、録画することができます。

録画を開始する



1. 録画したい番組のチャンネルに切り換える

2. [] ボタンを押す

→ 視聴中の番組の録画が開始されます。

※ 録画開始直後、内部処理のため映像と音声が一瞬乱れる場合があります。

録画番組の保存場所

録画番組の保存場所は任意のハードディスクに変更することができます。≫ P.138

コピー制限について

地上デジタル放送では著作権保護のため、ほとんどの番組にコピー制限（≫ P.85、≫ P.116）があり、番組によっては録画できない場合があります。

 録画ができるかどうかの確認は「番組詳細」画面（≫ P.38）で確認できます。

録画を停止する

録画中に [] ボタンを押す

→ 録画が停止されます。

「StationTV」では2つのレコーダー（ ≫ P.49）を使うことで、視聴中の番組と同じ時間帯で放送している他の番組を録画する「裏番組録画」や同時に2つの番組を録画する「ダブル録画」が可能です。



録画の操作方法 ≫ P.79、レコーダー切り換え ≫ P.48

裏番組を録画する

1. 任意のレコーダーで録画を実行する

➡ 録画が開始されます。

※ 予約録画の実行中にも可能です。

2. レコーダーを切り換える

➡ 録画が実行されたまま、もう一つのレコーダーで視聴できます。

ダブル録画をする

1. 任意のレコーダーで録画を実行する

➡ 録画が開始されます。

※ 予約録画の実行中にも可能です。

2. レコーダーを切り換える

➡ 録画が実行されたまま、もう一つのレコーダーで視聴できます。

3. 切り換えたレコーダーで録画を実行する

➡ 録画が開始され、同時に2つの番組を録画します。

録画中に、録画番組の保存場所に設定したハードディスクの空き容量がなくなると、自動的に空き容量に余裕のあるハードディスクまたは[優先度2]に設定したハードディスクに切り換えて録画を続行します。



録画番組の保存場所の設定 » P.138



リリーフ録画でのご注意

- リリーフ録画が実行されると、一つの番組であっても、録画ファイルは実行前・実行後の2つのファイルに分割されます。
- リリーフ録画が実行されるとき、番組の一部が保存されない場合があります。
- ハードディスクが一つだけの場合、または他のハードディスクに十分な空き容量がない場合、録画は停止されます。

タイムシフト状態でそれまで一時録画していた番組データを通常の録画番組ファイルに変換します。

 タイムシフトについて » P.70 ~

タイムシフト録画を開始する

タイムシフト状態時に [] ボタンを押す

➡ タイムシフト録画が開始されます。

タイムシフト録画を停止する

[ 停止] ボタンを押す

➡ タイムシフト録画が停止され、タイムシフト視聴に戻ります。

タイムシフト録画での注意事項

- タイムシフト録画を実行するには、事前にタイムシフト状態に切り換わっている必要があります。 » P.72
- タイムシフト録画開始（それまでタイムシフト状態で一時録画していた時間も含む）から 24 時間経過すると、録画は強制的に終了されます。
- タイムシフト録画で番組をまたぐ場合、録画ファイルは番組ごとに分割されません。

録画番組ファイルの保存場所とファイル名

録画番組ファイルは [共通設定] 画面 (≫ P.136) で指定した保存場所 (ハードディスク) に保存されます。保存場所から録画番組ファイルを直接、移動・削除したり、ファイル名を変更すると「StationTV」で再生できなくなりますので注意してください。

録画ファイルの保存場所とファイル名		
録画番組ファイルの保存場所	「設定」画面で録画番組ファイルの保存場所に設定したドライブの直下にある [DTVApp] フォルダ	
録画番組ファイルの名前	年_月_日_時_分_秒_ミリ秒_レコーダーID (例: 2008_01_01_10_00_30_15_01)	レコーダー ID の表示 00: レコーダー 1 01: レコーダー 2

※ 録画番組ファイルは、映像や音声などが保存される「録画番組」ファイル (拡張子なし) と、データ放送の内容や番組情報などが保存される「録画情報」ファイル (拡張子 [.rid]) の 2 つで 1 セットとして構成されています。また、保存される録画番組ファイルは、番組ごとに保存されます。たとえば、1 回の録画操作で 2 番組にまたがって録画したとき、録画番組ファイルは 2 セット保存されます。

 録画番組の保存場所の設定 ≫ P.138

録画番組ファイルを移動するときの注意

バックアップの目的で、録画番組ファイルを外付けドライブなど、他の記憶装置に移動する場合は、必ず「録画番組」ファイルと「録画情報」ファイルの両方を移動させてください。どちらか一方だけ削除または移動した場合やファイル名を変更した場合、「StationTV」で再生できなくなります。

保存場所を移動した録画番組ファイルについて

保存場所を移動した録画番組ファイルは [録画番組] 画面に表示されません。
録画番組の保存場所 (上記フォルダ) に戻すことで、[録画番組] 画面に表示され再生できるようになります。

録画に含まれる内容

録画内容はメインの映像・音声だけではなく、データ放送やマルチ映像チャンネル・音声チャンネルなども記録されます。再生時には、視聴時と同じようにデータ放送を見たり、映像チャンネルや音声チャンネルを切り換えることができます。

録画される情報	内容
映像	複数の映像チャンネルがある場合、すべての映像チャンネルが録画されます。
音声	複数の音声チャンネルがある場合、すべての音声チャンネルが録画されます。
データ放送	データ放送が含まれている番組の場合に記録されます。 ※ 再生時に双方向サービスはご利用いただけません。
番組情報	放送局から任意で送信される番組情報が記録されます。 ※ 番組によっては番組情報がない場合があります。

録画に必要な空き容量

番組を録画するためには、パソコンのハードディスクに十分な空き容量が必要になります。録画中に十分な空き容量が確保できなくなった場合、録画は中断されるので注意してください。

番組種別	必要な空き容量
地上デジタル放送 HD	約 7.5GB
地上デジタル放送 SD	約 4.8GB

※ 上記は 1 時間の番組を録画したときの目安です。



番組種別とは

デジタル放送の番組種別です。

- HD:「High Definition」の略で、デジタルハイビジョンなどの高画質放送の番組を表します。
- SD:「Standard Definition」の略で、標準解像度で放送されている番組を表します。録画番組の保存場所(上記フォルダ)に戻すことで、[録画番組]画面に表示され再生できるようになります。

! 録画を開始する条件

録画時間・画質にかかわらず、保存先のハードディスクの空き容量が 5GB 以上必要です。

録画した番組のコピー制限について

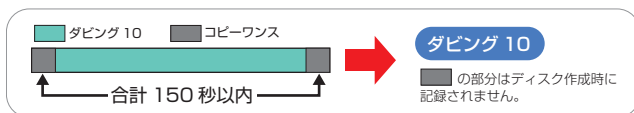
地上デジタル放送には著作権保護のため番組にコピー制限がかかっています。コピー制限が異なる複数の番組を一度に録画・予約録画した場合、適用されるコピー制限に以下の注意事項があります。

※ 予約録画では、予約番組または予約時間の直前・直後の部分が最大で合計 150 秒含まれる場合があります。

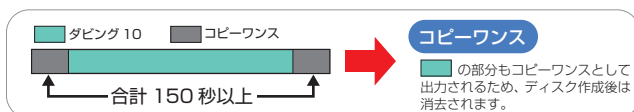
- 録画時間が 150 秒（録画番組全体の合計）を超えた番組のうち、コピー制限が最も厳しいものが適用されます。

コピーフリー ダビング 10 コピーワンス コピーネバー 厳しい

- 「ダビング 10」の番組に「コピーワンス」の番組の一部分（150 秒以内）が含まれた場合、録画ファイルには「ダビング 10」が適用され、「コピーワンス」の部分はディスク作成時に記録されません。



- 「ダビング 10」の番組に「コピーワンス」の番組の一部分（150 秒以上）が含まれた場合、この録画ファイル全体は「コピーワンス」が適用されます。そのため、ディスク作成後には録画ファイルが消去されます。



👍 「ディスク作成」、「コピー制限」について詳しくは『ディスク作成について』を確認してください。≫ P.115

予約する

録画予約には、時間と放送局を指定して予約する「タイマー予約」と番組表から番組を検索して予約する「番組表録画」があります。

ここでは、これらの予約の設定方法について説明します。

予約に関する注意事項

以下の事項を確認してください。

予約についての基礎知識

- 24 時間を超える録画予約は設定できません。
- 1 回のタイマー予約が 2 つ以上の番組をまたぐと、録画番組ファイルは番組ごとに作成されます。
- デジタル放送では、著作権保護のため、ほとんどの番組にコピー制限（≫ P.116、≫ P.85）があります。番組によっては予約録画できない場合がありますので注意してください。
 録画ができるかどうかの確認は「番組詳細」画面（≫ P.38）で確認できます。
- 予約設定完了後、録画開始時間までに空き容量が不足した場合はリリーフ録画（≫ P.81）が適用されます。

予約設定後、パソコンを使わないときは？

予約録画を設定しても、「StationTV」を完全に終了したり、パソコンの電源を切ると、録画は実行されません。予約がある状態でパソコンを使用しない場合は、以下の方法で待機させてください。

1. 「StationTV」を「待機モード」（≫ P.160）にする。

2. パソコンをスリープ状態にする。

 録画予約の終了後、「StationTV」を自動的に待機モードにすることができます。[予約録画終了後処理] ≫ P.136

※ パソコンで、スクリーンセーバーやスリープ状態から復帰時にパスワードを設定している場合は、設定を解除してください。Windows にログインできないため、録画を実行できない場合があります。

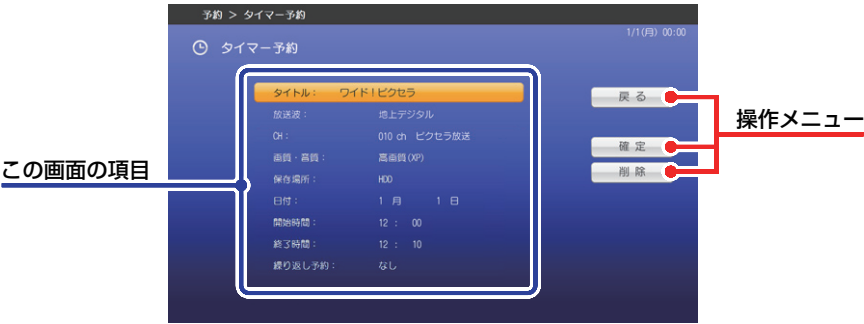
※ 録画中に、スリープまたは休止状態へ移行させるときは手動で行ってください。

※ 予約録画の開始時間（1 分以内）に休止状態へ移行させると、録画に失敗する場合があります。

日時を指定して録画を予約する（タイマー予約）

[タイマー予約] 画面

[タイマー予約] 画面は次のとおり表示されます。



項目	
タイトル	この録画予約で録画する録画番組ファイルに名前を付けることができます。
放送波	※ 本製品では使用できません。
CH	タイマー予約するチャンネルを設定します。
日付	タイマー予約する日付を設定します。
開始時間	タイマー予約を開始する時間を設定します。
終了時間	タイマー予約を終了する時間を設定します。
繰り返し予約	このタイマー予約を毎日、毎週など、繰り返し実行することができます。  2 回目以降の録画 初回に設定した録画予約の開始時刻 1 時間前から、終了時刻 1 時間後までの間に、先頭 3 文字が同じ番組タイトルを録画します。 ※ 番組の放送時間が変更されていても、上記の時間内であれば、追従して録画します。 ※ 上記の時間内に同じ番組タイトルがない場合は、最初に設定した録画予約と同じ時刻で録画を開始/終了します。 ※ 繰り返し予約を削除するまで、上記の条件で録画予約を続行します ◆ 選択項目： [なし] / [毎 (日)] / [毎 (月)] / [毎 (火)] / [毎 (水)] / [毎 (木)] / [毎 (金)] / [毎 (土)] / [毎 (月～金)] / [毎 (月～土)] / [毎日]

操作メニュー	
戻る	[予約] 画面に戻ります。
確定	タイマー予約を確定して、[予約] 画面に登録します。
削除	タイマー予約を削除します。

番組を指定して録画を予約する（番組表予約）

番組表（ ≫ P.58 〜 ）から番組を指定して録画予約することができます。

[番組表予約] 画面

[番組表予約] の画面は次のとおり表示されます。



項目	
タイトル	番組のタイトルです。
放送局	番組を放送している放送局名です。
CH	番組を放送している放送局のチャンネル番号です。
開始日時	番組の開始日時です。
終了日時	番組の終了日時です。

画面項目	
繰り返し予約	この番組の録画予約を毎日、また毎週など、繰り返し実行することができます。  2 回目以降の録画 初回に設定した録画予約の開始時刻 1 時間前から、終了時刻 1 時間後までの間に、先頭 3 文字が同じ番組タイトルを録画します。 ※ 番組の放送時間が変更されていても、上記の時間内であれば、追従して録画します。 ※ 上記の時間内に同じ番組タイトルがない場合は、最初に設定した録画予約と同じ時刻で録画を開始／終了します。 ※ 繰り返し予約を削除するまで、上記の条件で録画予約を続行します。 ◆ 選択項目：[なし] / [毎週] / [毎 (月～金)] / [毎 (月～土)] / [毎日]
開始時間修正	録画の開始時間を調整する場合に設定します。 番組開始と同時に録画を始める場合は [± 0 分] を選択します。 番組開始より早く録画を始める場合は [- 1 分] を選択します。 番組開始後、録画を始める場合は [+ 1 分] ～ [+ 6 分] を選択します。

番組を指定して録画を予約する（番組表予約）

画面項目	
終了時間修正	録画の終了時間を調整する場合に設定します。 番組終了と同時に録画を終了する場合は〔± 0 分〕を選択します。 番組終了後、しばらく録画を続ける場合は〔+ 1 分〕を選択します。 番組終了よりも前に録画を終了する場合は〔- 1 分〕～〔- 6 分〕を選択します。

操作メニュー	
戻る	〔番組詳細〕画面に戻ります。
確定	この番組表予約を確定して、〔予約〕画面に登録します。
削除	この番組表予約を削除します。

番組を指定して録画を予約する（番組表予約）

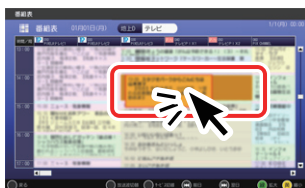
番組表予約を設定する

1. [番組表] 画面を表示する

[] ボタンを押す

⇒ [番組表] 画面が表示されます。

2. 録画する番組を選択する



番組表から録画する番組を選択し、[] ボタンを押す

⇒ [番組詳細] 画面が表示されます。

3. 番組表予約を設定する



1. [番組表予約] を選択し、[] ボタンを押す

⇒ [番組録画予約] 画面が表示されます。



設定必須項目以外は [[番組表予約] 画面] (> P.90) を参照してください。

2. [確定] を選択し、[] ボタンを押す

⇒ 番組表予約が確定し、[番組表] 画面に戻ります。



録画予約が同じ時間に重なった場合

録画予約が同じ時間帯に重なった場合、「重複予約の選択」画面が表示されます。この画面で重なった予約を削除する等、予約状況の調整ができます。 > P.98



放送時間の変更で次の予約録画と重なった場合

放送時間の変更や番組の延長によって、同一のレコーダの次の予約録画の開始時間と重なった場合には、自動的にレコーダーを切り換えて録画を開始します。

空きのレコーダーがない場合、実行中の予約録画を中断し、後の予約を優先します。

番組を指定して録画を予約する（番組表予約）

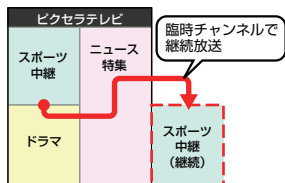
番組表予約の便利な機能

地上デジタル放送の番組を番組表予約する場合、「時間変更追従」や「イベントリレー」を設定することができます。

※ これらの機能は「タイマー予約」では使用できません。

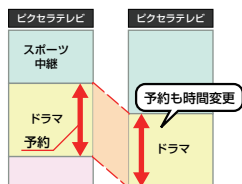
 イベントリレーと時間変更追従の設定方法 » P.135

イベントリレー



地上デジタル放送では、スポーツ中継の放送時間延長のときなど、それ以降の番組スケジュールが変更されないように、放送局が予備のチャンネル（臨時サービスチャンネル、または別のチャンネル）に切り換えて、放送を継続するサービスがあります。番組表からの予約時に設定しておくと、別のチャンネルに切り換わっても録画は継続されます。

時間変更追従



地上デジタル放送では、あらかじめ「設定」メニューで「時間変更追従」を設定しておくと、何らかの理由で番組の放送開始が遅れた場合でも、変更に合わせて予約を実行します。

※ 時間変更追従は予約設定時の開始時間から3時間まで有効です。

！ 時間変更追従のご注意

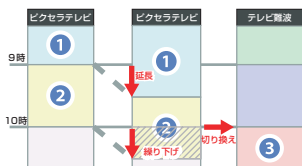
以下の場合、時間変更追従は実行されません。

- 放送局が放送時刻情報を送信しない番組の場合
- 予約した番組が予定より早く開始した場合

※ 早まった時間帯は録画されません。

時間変更追従と予約録画が重なった場合

終了時間追従と、次の予約録画開始が重なった場合、予約録画の開始が優先されます。



①、②、③の順で録画予約したとき、①の放送時間延長により②の放送時間が繰り下がっても、③の放送開始時間になると、そちらが優先され録画されます。このとき、②の重なった部分（斜線部分）は録画されません。また、左図のとき、①が1時間以上延長した場合、①の録画も中断し、③へ移行し録画します。

なお、ダブルレコーダー環境であれば、後から始まる予約も（1つまで）録画できます。

[予約] の画面

[予約] 画面（全体）

「タイマー予約」、「番組表予約」で設定された録画予約は[予約] 画面に一覧表示されます。
[予約] 画面は次のとおり表示されます。



項目	
録画予約	実行待ちの録画予約が一覧表示されます。≫ P.95

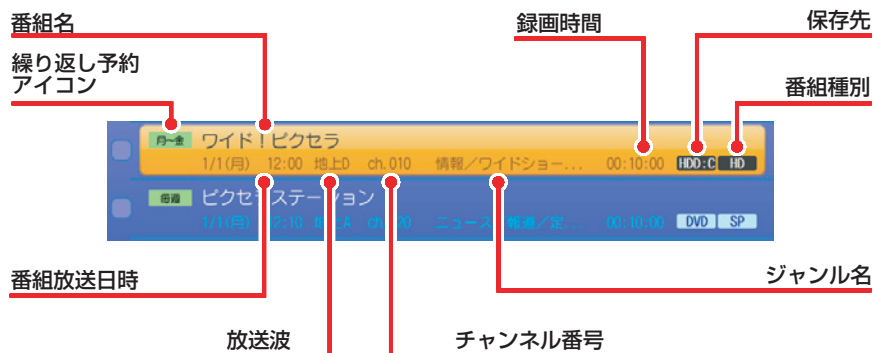
操作メニュー	
表示順	一覧の表示順を変更できます。 ◆ 項目 [日時] / [タイトル] / [放送波 (チャンネル)] / [放送波 (日時)] / [サービスタイプ] / [ジャンル]
戻る	[トップメニュー] 画面に戻ります。
タイマー予約	新しく「タイマー予約」(≫ P.88) を設定します。 ※「タイマー予約」は時間帯を指定する録画予約です。
番組表予約	新しく「番組表予約」(≫ P.90) を設定します。 ※「番組表予約」は番組表から番組を指定する録画予約です。

操作ガイド	
前ページ	複数のページにわたる録画番組数がある場合、前のページを表示します。
次ページ	複数のページにわたる録画番組数がある場合、次のページを表示します。
複数選択	現在選択されている録画予約を選択状態のまま固定します。続けて選択することができます。
黄	現在選択されている録画予約を削除します。

[予約] の画面

[予約] 画面 (詳細)

[予約] 画面に表示される、各録画予約の表示項目は次のとおり表示されます。



項目	
繰り返し予約アイコン	繰り返し予約が設定されている録画予約に表示されるアイコンです。 ◆ 項目 [毎 (日)] / [毎 (月)] / [毎 (火)] / [毎 (水)] / [毎 (木)] / [毎 (金)] / [毎 (土)] / [毎 (月~金)] / [毎 (月~土)] / [毎日]
番組名	録画予約されている番組名です。
番組放送日時	録画予約を開始する日時です。
放送波	録画予約されている番組が放送される放送波です。
チャンネル番号	録画予約されている番組を放送している放送局のチャンネル番号です。
ジャンル名	録画予約されている番組のジャンルです。
録画時間	録画予約されている番組の放送時間です。
保存先	録画した番組の保存先です。
番組種別	デジタル放送の番組種別です。 「番組表予約」で設定された予約にのみ表示されます。 HD 「High Definition」の略で、デジタルハイビジョンなどの高画質放送の番組を表します。 SD 「Standard Definition」の略で、標準解像度で放送されている番組を表します。

予約を変更する

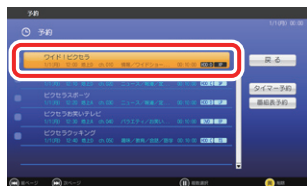
予約内容を変更する

1. [予約] 画面を表示する

[] ボタンを押し、[予約] を選択

➡ [予約] 画面が表示されます。

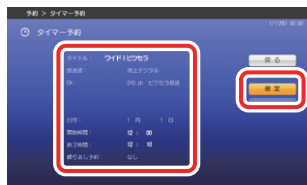
2. 変更する予約を選択する



変更する予約を選択し、[] ボタンを押す

➡ [タイマー予約] 画面または [番組表予約] 画面が表示されます。

3. 予約を変更する



1. 予約の設定を変更する



タイマー予約の内容変更 ➡ P.88

番組表予約の内容変更 ➡ P.90

2. [確定] を選択し、[] ボタンを押す

➡ 予約の設定が変更され、[予約] 画面が表示されます。

予約を削除する

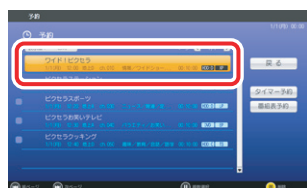
登録された予約を削除する手順は次のとおりです。

1. [予約] 画面を表示する

[] ボタンを押し、[予約] を選択

➡ [予約] 画面が表示されます。

2. 削除する予約を選択する



削除する予約を選択し、[] ボタンを押し

➡ [タイマー予約] 画面または [番組表予約] 画面が表示されます。

3. 予約を削除する

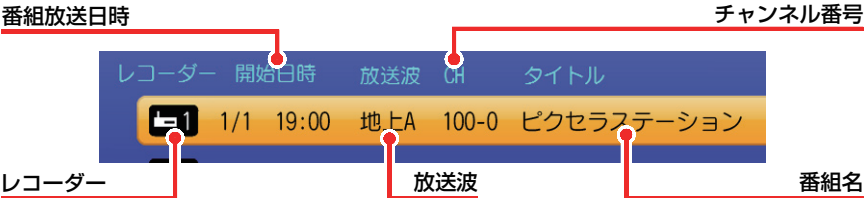
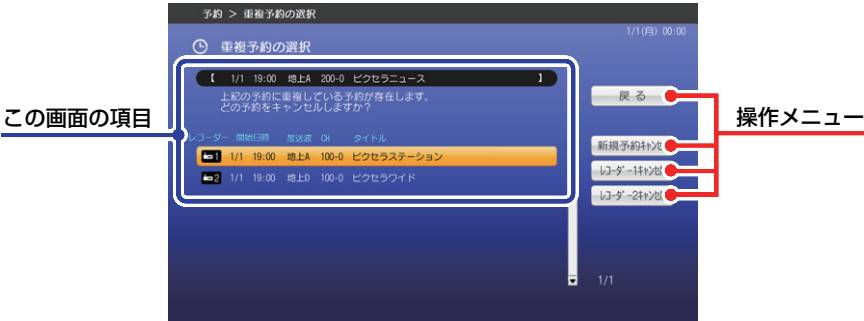


[削除] を選択し、[] ボタンを押し

➡ 予約が削除され、[予約] 画面が表示されます。

重なった録画予約を調整する

設定した録画予約が、他の録画予約の時間帯と重なってしまった場合、「重複予約の選択」画面が表示され、予約を再設定することができます。



項目	
録画予約	放送時間が重なっている録画予約がリスト表示されます。

操作メニュー	
戻る	[番組表予約] 画面、または [タイマー予約] 画面に戻ります。
新規予約キャンセル	新しく設定した録画予約をキャンセルします。
レコーダー 1 キャンセル	先に設定されていたレコーダー 1 での録画予約をキャンセルします。
レコーダー 2 キャンセル	先に設定されていたレコーダー 2 での録画予約をキャンセルします。

詳細項目	
レコーダー	録画予約が設定されているレコーダーです。
開始日時	録画予約の録画開始日時です。
放送波	録画予約されている番組が放送される放送波です。
CH	録画予約されている番組のチャンネル番号です。
タイトル	録画予約されている番組のタイトルです。

再生する

ここでは、「StationTV」で録画した番組の再生方法、再生に使う画面、録画番組の管理について説明します。

[録画番組]、[録画番組詳細]画面

[録画番組]画面（全体）

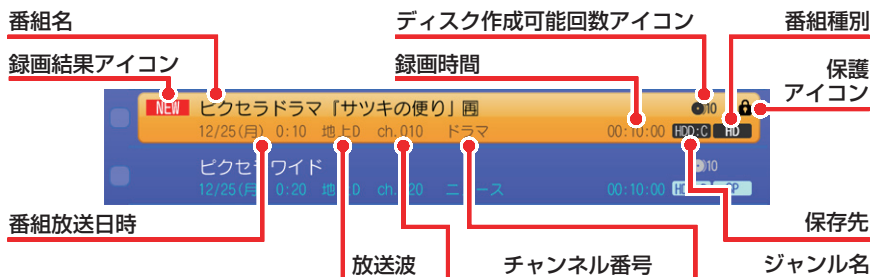
[録画番組]画面は次のとおり表示されます。



項目	
録画番組	「StationTV」で録画した番組が一覧表示されます。≫ P.101
操作メニュー	
表示順	一覧の表示順を変更できます。 ◆ 選択項目:[日時]／[タイトル]／[放送波(チャンネル)]／[放送波(日時)]／[サービスタイプ]／[ジャンル]
表示形式	一覧の表示形式を変更できます。 ◆ 選択項目:[リスト]／[サムネイル] ※ [サムネイル]を選択した場合、録画番組はジャンルアイコンが表示されます。
戻る	[トップメニュー]画面に戻ります。
すべて削除	録画番組をすべて削除します。
操作ガイド	
前ページ	複数のページにわたる録画番組数がある場合、前のページを表示します。
次ページ	複数のページにわたる録画番組数がある場合、次のページを表示します。
再生	現在選択されている録画番組を再生します。
つづき再生	現在選択されている録画番組を前回視聴した続きから再生します。初めて見る録画番組の場合は、最初から再生されます。
複数選択	現在選択されている録画番組を選択状態のまま固定し、続けて選択することができます。
青	現在選択されている録画番組をDVDに保存します。
赤	現在選択されている録画番組をBDに保存します。
緑	現在選択されている録画番組を誤って削除しないように保護します。 ※ 保護された録画番組を選択し、もう一度押すと保護が解除されます。
黄	現在選択されている録画番組を削除します。

[録画番組]画面（詳細）

[録画番組]画面に表示される録画番組の表示項目は次のとおり表示されます。



詳細項目	
録画結果アイコン	録画番組の録画結果をアイコン表示します。 ◆ 項目：[NEW] / [失敗] / [中断] の3種類があります。
番組名	録画番組の番組名です。
番組放送日時	録画番組の放送日時です。
放送波	録画番組の放送波です。
チャンネル番号	録画番組が放送された放送局のチャンネル番号です。
ジャンル名	録画番組のジャンルです。
録画時間	録画番組の録画時間です。
保存先	録画番組の録画された保存先です。
ディスク作成可能回数アイコン	ディスク作成（≫ P.114～）が可能な録画番組に表示されるアイコンです。 ◆ アイコンの種類 [●10]：「ダビング10」の制限がかけられている録画番組に表示されます。ディスク作成可能な残り回数が表示され、ディスク作成ごとに回数が減ります。 [●1]：「コピーワンス」の制限がかけられている録画番組に表示されます。ディスク作成が1回可能です。 [●∞]：「コピーフリー」の録画番組に表示されます。ディスク作成が回수에制限なく可能です。
保護アイコン	録画番組に保護をかけると表示されるアイコンです。 🔒 録画番組の保護 ≫ P.111
番組種別	「番組表予約」で予約録画された番組にのみ表示されます。 HD 「High Definition」の略で、デジタルハイビジョンなどの高画質放送の番組を表します。 SD 「Standard Definition」の略で、標準解像度で放送されている番組を表します。

[録画番組詳細]画面

録画した番組の詳細情報を表示します。この画面から録画番組の再生や削除、ディスク作成などを行うことができます。



操作メニュー

戻る	[録画番組]画面に戻ります。
再生	録画番組を再生します。
つづき再生	録画番組を前回視聴した続きから再生します。初めて見る録画番組の場合は最初から再生されます。
SD 画質変換	HD 画質の録画番組を SD 画質に変換することによって、録画番組データのファイルサイズを小さくすることができます。≫ P.112
DVD 作成	録画番組を DVD に保存します。 👍 ディスク作成 ≫ P.114 ～
BD 作成	録画番組を BD（ブルーレイディスク）に保存します。 👍 ディスク作成 ≫ P.114 ～ ※ ご使用のパソコンによっては BD（ブルーレイディスク）を作成できない場合があります。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照してください。
保護	録画番組を誤って削除しないように保護します。 保護をかけるとボタンが [保護解除] に切り換わります。
削除	録画番組を削除します。

項目

タイトル	録画番組のタイトルです。クリックで編集することができます。
番組記述	録画番組の内容です。
CH	録画番組が放送された放送局のチャンネル番号です。

[録画番組]、[録画番組詳細] 画面

項目	
放送局	録画番組が放送された放送局名です。
放送波	録画番組が放送された放送波です。
開始日時	録画番組が録画された日時です。
録画時間	録画番組の録画時間です。
大／小ジャンル	録画番組のジャンルです。
コピー制限	録画番組にかけられているコピー制限です。
ディスク作成 可能回数	録画番組のディスク作成が可能な回数です。
音声	録画番組の音声の出力タイプです。 音声の出力タイプにはステレオ／モノラル／デュアル／5.1CH があります。
映像	録画番組の映像の詳細情報です。 地上デジタル放送の録画番組では解像度、アスペクト比、番組の種類の順で表示 されます。
保存場所	録画番組の保存場所です。
録画失敗理由	予約録画に失敗または予約録画が中断された場合、その理由が表示されます。

録画番組を再生する

録画番組を再生する

1. [録画番組] 画面を表示する

[] ボタンを押す

→ [録画番組] 画面が表示されます。

2. 再生する録画番組を選択する



再生する番組を選択し、[] ボタンを押す

→ [録画番組詳細] 画面が表示されます。

3. 再生を開始する



[再生] を選択し、[] ボタンを押す

→ ビューアが表示され、録画番組の再生が開始されます。

終了するときは、[] ボタンを押します。



録画番組の再生操作

【つづき再生について】

前回視聴した続きから録画番組を再生するには、[つづき再生] をクリックします。

【複数の録画番組の再生について】

複数の録画番組を連続して再生するには、[] ボタンで番組を選択して再生を開始します。選択された録画番組は選択順に再生されます。

※ マウス操作の場合は、再生したい録画番組の左にあるチェックボックスにチェックを入れて再生を開始します。

【再生後にテレビ視聴に戻るとき】

かならず[] ボタンで終了してください。再生中は[トップメニュー] 画面の[テレビに戻る] は無効になります。また、録画番組を最後まで再生したときは、番組の最後の画面のまま終了します。

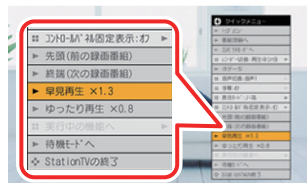


再生についての注意

- 「StationTV」で録画した地上デジタル放送の録画番組ファイルは、録画したパソコンでのみ再生できます。録画番組ファイルはすべて暗号化されているため、録画したパソコン（ハードディスク）とキャプチャボードの組み合わせ以外では再生できません。

再生速度を変えて再生する

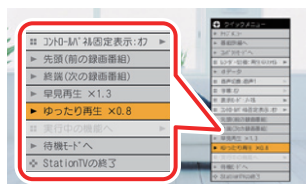
再生速度を 1.3 倍に早くして再生する（早見再生）



クイックメニューの [早見再生× 1.3] をクリック

⇒ 再生スピードが通常の 1.3 倍になります。

再生速度を 0.8 倍に遅くして再生する（ゆったり再生）



クイックメニューの [ゆったり再生× 0.8] をクリック

⇒ 再生スピードが通常の 0.8 倍になります。

再生中の操作一覧

録画番組の再生中はコントロールパネル（≫ P.36）のボタンをクリック、またはキーボードのショートカットキー（≫ P.170）押すことで次の操作を行うことができます。

再生中の操作一覧	
巻戻し 	再生中の映像を巻戻します。巻戻しの速度は押すたびに次のとおり切り換わります。 巻戻し速度 2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒ 2 倍…
早送り 	再生中の映像を早送ります。早送りの速度は押すたびに次のとおり切り換わります。 早送り速度 0.8 倍⇒ 1.3 倍⇒ 2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒ 0.8 倍…
前スキップ 	再生中の映像を一定の時間、前へスキップします。初期設定では 30 秒です。  スキップする時間を変更 ≫ P.139
次スキップ 	再生中の映像を一定の時間、次へスキップします。初期設定では 30 秒です。  スキップする時間を変更 ≫ P.139
再生 	巻戻し中／早送り中／一時停止中に押すと、再生を再開します。
一時停止 	再生中に押すと、再生を一時停止します。
停止 	再生を停止して、[録画番組] 画面を表示します。
コントロールパネル  または 	単一の録画番組の再生時には [先頭] と表示され、クリックすると、その録画番組の先頭に 戻って再生します。 連続ファイル再生時（複数の録画番組を選択して再生）には [前へ] と表示され、クリック すると、一つ前の録画番組の先頭に戻って再生します。一つ前に録画番組がない場合はそ の録画番組の先頭に戻って再生します。 ※ リモコンでの操作には対応していません。
コントロールパネル  または 	単一の録画番組の再生時には [終端] と表示され、クリックすると、その録画番組の終端に 進んで停止します。 連続ファイル再生時（複数の録画番組を選択して再生）には [次へ] と表示され、クリック すると、一つ後の録画番組の先頭に進んで再生します。一つ後に録画番組がない場合はその 録画番組の終端に進んで停止します。 ※ リモコンでの操作には対応していません。
	データ放送が含まれている録画番組の場合、データ放送が表示されます。

録画番組を検索する

録画番組から、番組のジャンルや出演者などのフリーワードで、見たい番組を検索することができます。

ジャンルを選択して録画番組を検索する

1. [ジャンル検索] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[番組検索] ▶ [録画番組検索] ▶ [ジャンル検索]

→ [ジャンル検索] 画面が表示されます。

2. ジャンル検索する範囲を設定する

1. [放送波] に検索する放送波を設定する

2. [サービス] に検索するサービスを設定する

3. [次へ] を選択し、[] ボタンを押す

→ [ジャンル検索 大ジャンル] 画面が表示されます。

3. 検索するジャンルを設定する

1. 検索する大ジャンルを選択し、[] ボタンを押す

→ [小ジャンル] 画面が表示されます。

※ [すべて] を選択した場合、小ジャンルを選択せずに [ジャンル検索結果] 画面が表示されます。

2. 検索する小ジャンルを選択し、[] ボタンを押す

→ [ジャンル検索結果] 画面 (≫ P.109) が表示されます。

フリーワードを入力して録画番組を検索する

1. [フリーワード検索] 画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
[番組検索] ▶ [録画番組検索] ▶ [フリーワード検索]
→ [フリーワード検索] 画面が表示されます。

2. 検索をする範囲を設定する

1. [放送波] に検索する放送波を設定する
2. [サービス] に検索するサービスを設定する
3. [フリーワード] に検索するワードをキーボード入力し、[Enter] キーを押す
4. [検索開始] を選択し、[] ボタンを押す
→ [フリーワード検索結果] 画面 (>> P.109) が表示されます。

[ジャンル／フリーワード検索結果] 画面 (録画番組)

[ジャンル検索結果] 画面と [フリーワード検索結果] 画面の内容は同じです。



操作メニュー

表示順	一覧の表示順を変更できます。 ◆ 選択項目 [日時] / [タイトル] / [放送波 (チャンネル)] / [放送波 (日時)] / [サービスタイプ] / [ジャンル]
表示形式	一覧の表示形式を変更できます。 ◆ 選択項目 : [リスト] / [サムネイル]
戻る	ひとつ前の画面に戻ります。
すべて削除	録画番組をすべて削除します。

操作ガイド

前ページ	録画番組が複数のページにまたがる場合、前のページを表示します。
次ページ	録画番組が複数のページにまたがる場合、次のページを表示します。
再生	現在選択されている録画番組を再生します。
つづき再生	現在選択されている録画番組を前回視聴した続きから再生します。初めて見る録画番組の場合は、最初から再生されます。
複数選択	現在選択されている録画番組を選択状態のまま固定します。続けて選択することができます。
青	現在選択されている録画番組を DVD に保存します。
赤	現在選択されている録画番組を BD に保存します。
緑	現在選択されている録画番組が誤って削除されないように保護します。 ※ 保護された録画番組を選択し、もう一度押すと保護が解除されます。
黄	現在選択されている録画番組を削除します。

録画番組を管理する

録画した番組の削除／保護や、HD 画質で録画した録画番組を SD 画質に変換することによって録画番組のファイルサイズを小さくすることができます。

録画番組を削除する

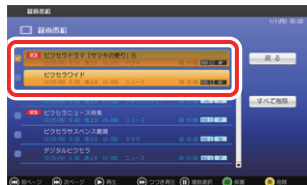
録画した番組を「StationTV」（パソコン）から削除します。一度、削除した録画番組は後から復元させることはできません。

録画番組を 1 番組ずつ削除する

1. [] ボタンを押す
→ [録画番組] 画面が表示されます。
2. 削除する録画番組を選択し、[] ボタンを押す
→ 確認のメッセージが表示されます。
3. [はい] を選択し、[] ボタンを押す
→ 録画番組が削除されます。

複数の録画番組を一度に削除する

1. [] ボタンを押す
→ [録画番組] 画面が表示されます。
2. 削除したい録画番組の左にあるチェックボックスを選択し、[] ボタンを押す
→ 録画番組が選択状態になります。
3. 同じ手順で、削除したい番組のチェックボックスを選択し、[] ボタンを押す
→ 選択した録画番組すべてが選択状態になります。
4. [] ボタンを押す
→ 確認のメッセージが表示されます。
5. [はい] を選択し、[] ボタンを押す
→ 録画番組が削除されます。



すべての録画番組を一度に削除する

1. [録画番組] ボタンを押す

→ [録画番組] 画面が表示されます。



2. [すべて削除] を選択し、[OK] ボタンを押す

→ [すべて削除] 画面が表示されます。

3. [はい] を選択し、[OK] ボタンを押す

→ 保護されている番組以外のすべての録画番組が削除されます。



録画番組の保護このページ

録画番組を保護する

残しておきたい録画番組を誤って削除しないように保護することができます。

※ 保護されたファイルは全削除を行っても削除されません。

1. [録画番組] ボタンを押す

→ [録画番組] 画面が表示されます。



2. 保護する録画番組を選択し、[保護] ボタンを押す

→ 録画番組が保護されます。



保護を解除するには

録画番組の保護を解除するには、保護した録画番組の[録画番組詳細]画面を表示し、[解除] ボタンを押してください。

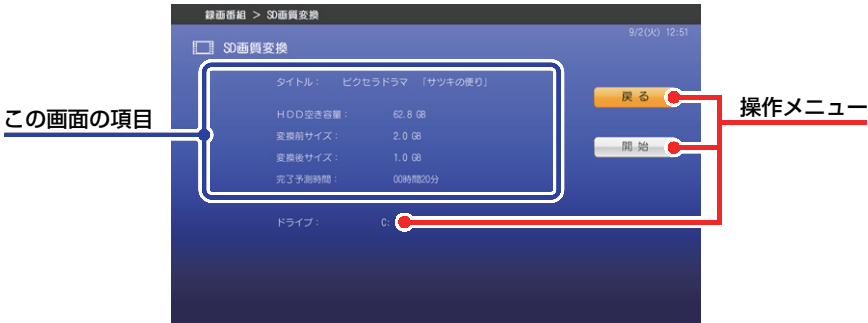
HD 画質の録画番組サイズを圧縮する（SD 画質変換）

デジタル放送の HD 画質番組はとてもデータ量が多いため、録画するにはハードディスクに大きな空き容量が必要になります。録画済みの HD 画質の録画番組を SD 画質に変換することによって録画番組のファイルサイズを小さくし、ハードディスクの容量を節約することができます。

- HD 画質

「High Definition」の略で、デジタルハイビジョンなどの高画質放送の番組
- SD 画質

「Standard Definition」の略で、標準解像度で放送されている番組



操作メニュー	
戻る	ひとつ前の画面に戻ります。
開始	SD 画質変換を実行します。
ドライブ	変換後の録画番組ファイルの保存先を設定できます。

項目	
タイトル	録画番組のタイトルです。クリックで編集することができます。
HDD 空き容量	[ドライブ] に設定した保存先ハードディスクの空き容量です。
変換前サイズ	選択した HD 画質録画番組のファイルサイズです。
変換後サイズ	SD 画質に変換後のファイルサイズです。
完了予測時間	変換にかかる予測時間です。 ※ 目安として参考にしてください。お使いのパソコン性能や CPU 使用率などによって、完了予測時間より前後する場合があります。

SD 画質変換を行う

1. サイズを圧縮する録画番組を選択する

1. [] ボタンを押す

→ [録画番組] 画面が表示されます。

2. 圧縮する番組を選択し、[] ボタンを押す

→ [録画番組詳細] 画面が表示されます。

※ ディスク作成実行中に中断（キャンセルまたは失敗）された録画番組は SD 画質変換を実行できません。

3. [SD 画質変換] を選択し、[] ボタンを押す

→ [SD 画質変換] 画面が表示されます。

2. SD 画質変換を開始します

1. [開始] を選択し、[] ボタンを押す

→ メッセージが表示されます。

2. [はい] を選択し、[] ボタンを押す

→ SD 画質変換が開始されます。変換が終了すると、確認メッセージが表示されます。

※ 他のアプリケーションを同時に使用しないでください。CPU に負荷がかかるため、SD 画質変換にかかる時間が延びたり、ストリームにコマ落ちが発生する場合があります。

3. [はい] を選択し、[] ボタンを押す

→ [録画番組] 画面に戻ります。

SD 画質変換についてのご注意

SD 画質変換を実行すると、録画番組から以下の情報が失われます。

- データ放送
- 字幕
- 複数の音声や映像が含まれている番組の場合、「音声 1」と「映像 1」以外の音声・映像情報

ディスク作成

「StationTV」では、録画した番組をディスクに保存することができます。
ここでは、録画番組をディスクに保存する方法について説明します。

ディスク作成について

録画した番組（一部を除く）を DVD やブルーレイディスク（以下、BD）に保存できます。

ディスク作成の種類

ディスクを作成する方法には、「ムーブ」と「コピー」の2種類があります。

ムーブ（移動）

ムーブとは「StationTV」に保存していた録画番組をディスクに移動することです。録画番組は、ディスクの作成が終了すると、ハードディスク上から削除されます。



コピー（複製）

コピーとは「StationTV」に保存していた録画番組をディスクに複製することです。録画番組は、ディスクの作成終了後も、ハードディスク上に残ります。



ディスク作成について

コピー制限について

地上デジタル放送では、著作権保護のため、ほとんどの番組にコピー制限があります。地上デジタル放送のコピー制限は番組によって異なり、「コピーフリー」、「ダビング 10」、「コピーワンス」、「コピーネバー」の 4 種類があります。

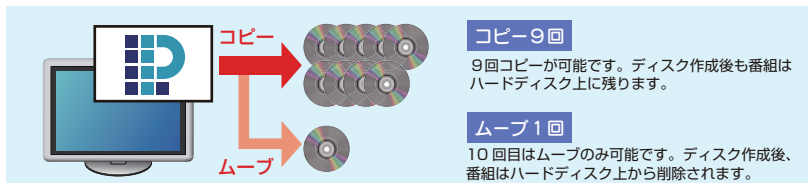
 録画ができるかどうかの確認は「番組詳細」画面（ ≧ P.38）で、ディスク作成可能回数の確認は「録画番組詳細」画面（ ≧ P.102）で確認できます。

コピーフリー

回数に制限なくコピーできます。

ダビング 10

10 回（コピー 9 回＋ムーブ 1 回）ディスク作成が可能な制限です。



コピーワンス

1 回だけムーブが可能な制限です。



コピーネバー

コピーできません。

※ 録画／ディスク作成できません。

ディスクの作成方法とコピー制限		
ディスクの作成方法 コピー制限	ムーブ	コピー
コピーフリー	×	○ (無制限)
ダビング 10	○ (1 回)	○ (9 回)
コピーワンス	○ (1 回)	×

ディスク作成前の確認事項

以下の事項を確認してください。

ディスク作成に必要なもの

- ディスク作成には以下のドライブとディスクが必要です。

- ディスクドライブ (CPRM 対応)

- 次のいずれかのディスク

DVD-R / DVD-R DL / DVD-RW / DVD-RAM (CPRM 対応)

BD-R / BD-RE (片面1層タイプ、または片面2層タイプ)

※ CPRM(Content Protection for Recordable Media) とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。

ディスク作成についての基礎知識

- ディスク作成では、選択した録画番組の全体が保存されます。番組の一部だけを選んで保存することはできません。
- ディスク作成中は、番組の視聴および録画 (予約録画を含む) はできません。ディスク作成の開始前に、録画予約の開始時間を確認してください。
- ディスク作成中に、キャンセルや失敗によって中断された録画番組は、ディスク作成可能回数が1回減り、SD画質変換ができなくなります。
- DVDでディスク作成すると、映像はSD画質に変換されます。映像を放送品質のまま保存するにはBDをお使いください。
- ディスク作成中に強制シャットダウンや停電による電源断など、不慮の事故によりパソコン本体が停止したり、ディスクの傷や汚れによって書き込みが中断された場合、「StationTV」からディスク作成の対象番組の一部またはすべてが削除され、再生できなくなる場合があります。

ディスク作成時の制限

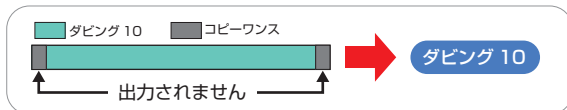
- ディスク作成によってハードディスク上から削除された録画番組ファイルは、バックアップしておいたファイルを元にあった場所に戻しても (リストアしても)、再生できません。
- DVD-Rを使用する場合、ディスクのファイナライズ処理に時間がかかることがあります。
- DVD-Rを使用する場合、DVD-Rに書き込むためのイメージを作成するために、ハードディスク (システムドライブ) に10GB (片面2層タイプは15GB) の空き容量が必要になります。
- ディスク作成中は、他のアプリケーションを同時に使用するなど、パソコンのCPUやハードディスクに負荷がかかる操作をしないでください。ディスク作成に時間がかかったり、映像にコマ落ちが発生する場合があります。

ディスク作成前の確認事項

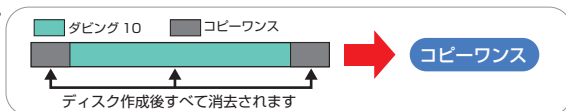
コピー制限について

- 「ダビング 10」、「コピーワンス」のコピー制限が加えられている録画番組から作成したディスクの複製はできません。
- 複数のコピー制限が一つの録画ファイルに含まれている場合一つの録画ファイルに含まれているコピー制限で一番厳しいものにしたがって、ディスク作成が実行されます。

【ダビング 10 の番組を録画した録画ファイル内に、コピーワンス部分が含まれた場合（150 秒以内）】録画ファイル全体は「ダビング 10」が適用され、「コピーワンス」の部分はディスク作成時に出力されません。



【ダビング 10 の番組を録画した録画ファイル内に、コピーワンス部分が含まれた場合（150 秒以上）】録画ファイル全体は「コピーワンス」が適用されます。そのためディスク作成後には録画ファイル全体が消去されます。



AACS キーについて

ブルーレイディスクには、著作権保護のため、AACS（Advanced Access Content System）というコンテンツ保護技術が採用されています。この技術によって暗号化されたデータを読み取るために、AACS キーが必要になります。

StationTV には AACS キーが搭載されていますが、AACS キーの有効期限が切れた場合、ディスク作成時に自動的に更新します（インターネット接続が必要です）。また、一定期間を経過すると、更新が有料となり、購入サイトへの案内メッセージが表示されます。詳しくは、下記ホームページにお問い合わせください。

株式会社ピクセラ サポートページ：<http://www.pixela.co.jp/support/>

ディスク作成を実行する

ディスク作成を実行する

1. [録画番組] 画面を表示する

[] ボタンを押す

→ [録画番組] 画面が表示されます。

2. 録画番組を選択する



1. 録画番組を選択し、[OK] ボタンを押す

※ 複数の番組をディスク作成する場合は、[] ボタンで選択します。

※ DVD の場合は 30 番組、BD の場合は 60 番組まで選択できます。

→ [録画番組詳細] 画面が表示されます。

3. 作成するディスクの種類を選択する



1. ドライブに DVD または BD を挿入する

※ ご使用のパソコンによっては BD を作成できない場合があります。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照してください。

2. [] ボタン (DVD 作成)、または [] ボタン (BD 作成) を押す

→ [DVD 作成] 画面、または [BD 作成] 画面が表示されます。

 1 番組だけをディスク作成する場合、[録画番組詳細] 画面 (P.102) からでも作成できます。

4. ディスク作成を開始する



1. 必要な設定 (≫ P.121) を行う

2. [DVD 作成開始] または [BD 作成開始] を選択し、[OK] ボタンを押す

→ メッセージが表示されます。

3. [はい] を選択し、[OK] ボタンを押す

→ ディスク作成が開始されます。終了するとメッセージが表示されます。

※ 表示される残り時間は目安として参考にしてください。

※ DVD-R を使用している場合は、ディスクに書き込みが始まると、キャンセルできません。

ディスク作成を実行する

💡 ディスク内のデータを削除してからディスク作成する場合

ディスクの空き容量が足りない場合、既存データを削除できます。ディスク作成を開始する前に [フォーマット] を [する] に設定してください。

※ 複数枚にわたるディスク作成を実行する場合、2枚目以降のディスク作成開始時にフォーマットを適用するかどうかを選択できます。

💡 ディスクへ追記する場合

使用済みのディスクへの追記は、[フォーマット] を [しない] に設定して実行してください。

5. ディスク作成を完了する



[OK] を選択し、[] ボタンを押す

➡ [トップメニュー] 画面に戻ります。

※ ディスク作成後はドライブからディスクを取り出してください。そのままパソコン上で再生しようとしても、再生ソフトウェアによっては、ディスクが認識されない場合があります。

💡 作成したディスクの再生

以下の規格に対応したプレイヤー機器で再生してください。

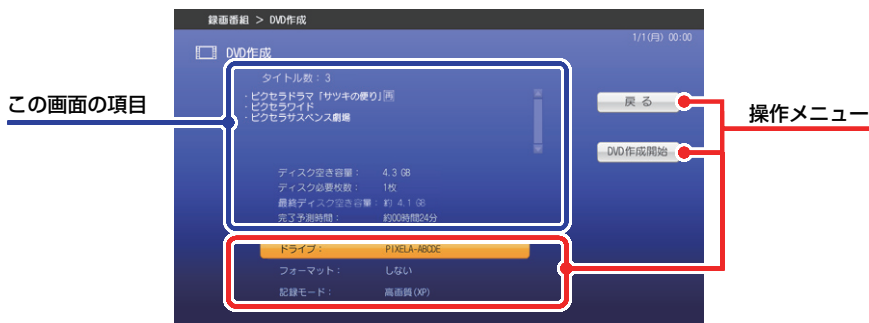
- BD : AAC (> P.131)
- DVD : CPRM (> P.117)

ディスク作成を実行する

[DVD 作成]、[BD 作成] 画面

[DVD 作成]、[BD 作成] の画面は以下のように表示されます。

※ この画面はディスクに DVD を選択したものです。BD を選択した画面には [記録モード] がありません。



項目	
タイトル数	選択した録画番組のタイトル数と名称です。
ディスク空き容量	現在挿入されているディスクの空き容量です。
ディスク必要枚数	選択した録画番組をディスク作成するために必要なディスク枚数です。
最終ディスク空き容量	最後のディスクにできる予想空き容量です。
完了予測時間	ディスク作成完了までの予測時間です。 ※ 目安として参考にしてください。お使いのパソコン性能や CPU 使用率、使用するディスクの種類などによって、完了予測時間より前後する場合があります。

操作メニュー	
ドライブ	ディスクを作成可能なドライブを選択します。
フォーマット ※ DVD-R、BD-R の場合は選択できません	書き換え可能なディスクの場合、データを削除するかどうかを選択します。 [する] を選択してディスク作成を開始すると、ディスクの既存データをすべて削除して、書き込みを実行します。 ※ 複数枚にわたるディスク作成を実行する場合、2枚目以降のディスク作成開始時にフォーマットを適用するかどうかを選択できます。

ディスク作成を実行する

操作メニュー

記録モード ※ DVD 作成時のみ	DVD にデータを書き込む品質を設定します。 <table><tr><td>高画質 (XP)</td><td>DVD 収録可能時間 約 1 時間 / VBR 平均 8.5Mbps</td></tr><tr><td>標準 (SP)</td><td>DVD 収録可能時間 約 2 時間 / VBR 平均 4.3Mbps</td></tr><tr><td>長時間 (LP)</td><td>DVD 収録可能時間 約 4 時間 / VBR 平均 2.2Mbps</td></tr><tr><td>ぴったりサイズ</td><td>現在挿入されている空 DVD (何も記録されていないブランクディスク)、または挿入されている DVD の空き容量にぴったりのサイズになるように品質 (VBR) を調整して書き込みます。</td></tr></table> ※ 録画品質の調整 (VBR) は 2.2Mbps ~ 8.5Mbps までの間で自動調整されます。 ※ DVD の空き容量によっては適応できない場合があります。 ※ 録画時間が 4 時間を超える番組に適用できません。 ※ 録画時間が 1 時間以内の番組では、ディスクに空きができる場合があります。 ※ 可変ビットレートで記録するため、録画番組によってはディスクに空きができる場合があります。  VBR とは Variable Bit Rate(可変ビットレート) の略で、音楽や映像などをデータに変換する際のエンコード方式のひとつです。数値は単位時間あたりのデータ量のことを指し、高いほど高品質になります。  記録モードの設定について ■ 記録モードは DVD を使用する場合のみ設定します。BD 作成時には設定できません。 ■ 記録モードの違いは、動きの激しい映像ほど画質の差が出ます。動きの少ない映像では、画質の差が表れにくい場合があります。	高画質 (XP)	DVD 収録可能時間 約 1 時間 / VBR 平均 8.5Mbps	標準 (SP)	DVD 収録可能時間 約 2 時間 / VBR 平均 4.3Mbps	長時間 (LP)	DVD 収録可能時間 約 4 時間 / VBR 平均 2.2Mbps	ぴったりサイズ	現在挿入されている空 DVD (何も記録されていないブランクディスク)、または挿入されている DVD の空き容量にぴったりのサイズになるように品質 (VBR) を調整して書き込みます。
高画質 (XP)	DVD 収録可能時間 約 1 時間 / VBR 平均 8.5Mbps								
標準 (SP)	DVD 収録可能時間 約 2 時間 / VBR 平均 4.3Mbps								
長時間 (LP)	DVD 収録可能時間 約 4 時間 / VBR 平均 2.2Mbps								
ぴったりサイズ	現在挿入されている空 DVD (何も記録されていないブランクディスク)、または挿入されている DVD の空き容量にぴったりのサイズになるように品質 (VBR) を調整して書き込みます。								
戻る	一つ前の画面に戻ります。								
DVD 作成開始 または BD 作成開始	ディスクの作成を開始します。								

「StationTV」の設定

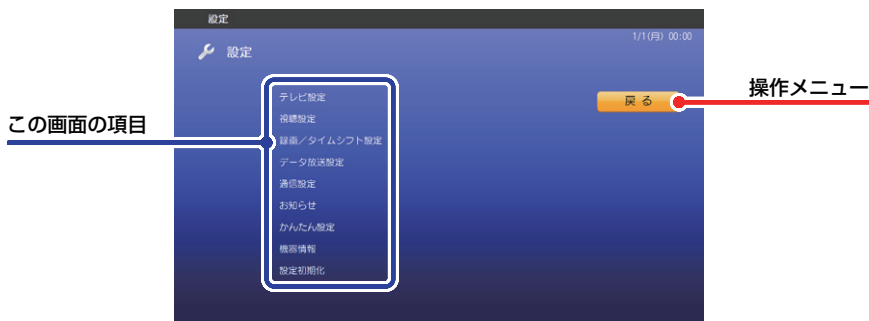
「StationTV」をより使いやすくするために、[設定]画面からさまざまな設定ができます。ここでは、各設定の画面と設定方法について説明します。

[設定] 画面

[設定] 画面を表示する

[] ボタンを押し、[設定] を選択する

画面について



項目	
テレビ設定	「地上デジタル放送」の基本的な設定ができます。≫ P.126 ◆ 選択項目内容：[地上デジタル] / [その他] / [デジタル映像設定] / [デジタル音声設定]
視聴設定	テレビの視聴に役立つ機能の設定ができます。≫ P.134 ◆ 選択項目内容：[字幕 / 文字スーパー設定]
録画 / タイムシフト設定	「地上デジタル放送」の録画とタイムシフトに関する設定を行うことができます。≫ P.135 ◆ 選択項目内容：[地上デジタル設定] / [共通設定]
再生設定	録画番組を再生するときの設定ができます。≫ P.139 ◆ 選択項目内容：[再生スキップ設定]
データ放送設定	「データ放送」を利用するための設定ができます。双方向サービスを利用する場合も、この設定が必要です。≫ P.140 ◆ 選択項目内容 [郵便番号] / [データ放送地域設定] / [自動取得] / [収集中メッセージ] / [優先利用回線種別] / [セキュリティサイト自動接続] / [通信許可] ※ [優先利用回線種別]、[通信許可] はモデムが搭載されていないパソコンでは表示されません。

項目	
通信設定	双方向サービスなどを利用するための、通信に関する設定ができます。≫ P.142 ◆ 選択項目内容 [電話回線設定] / [インターネット接続設定 (ダイヤルアップ)] / [インターネット接続設定 (LAN)] ※ [電話回線設定]、[インターネット接続設定 (ダイヤルアップ)] はモデムが搭載されていないパソコンでは表示されません。
お知らせ	地上デジタル放送の放送信号とともに送信される放送局からのお知らせの確認と、利用するための設定ができます。≫ P.148 ◆ 選択項目内容 [放送メール] / [通信記録] / [メッセージ] ※ [通信記録] はモデムが搭載されていないパソコンでは表示されません。
かんたん設定	初回起動時に実行した、「初回設定」をもう一度やり直すことができます。≫ P.154
機器情報	ご使用中のパソコンに挿入されている「B-CAS カード」の情報と、「StationTV」などのバージョン情報を確認することができます。≫ P.155 ◆ 選択項目内容：[B-CAS カード情報] / [バージョン情報]
設定初期化	「StationTV」の設定をすべて初期化して、出荷時の状態に戻します。≫ P.158

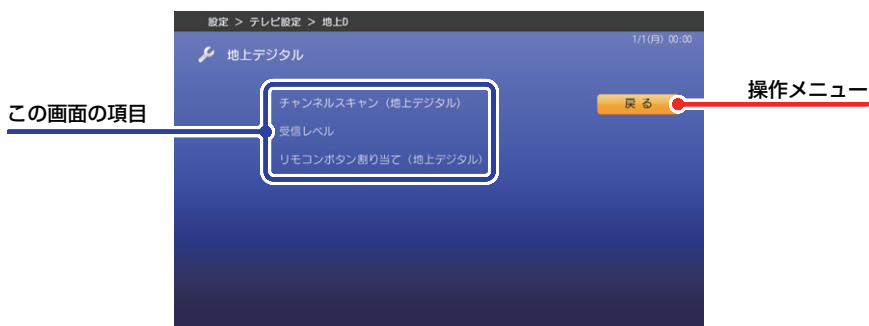
操作メニュー	
戻る	[トップメニュー] 画面に戻ります。

[地上デジタル] 画面

[地上デジタル] 画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
 [設定] ▶ [テレビ設定] ▶ [地上デジタル]

画面について



項目	
チャンネルスキャン (地上デジタル)	地上デジタル放送のチャンネルを再設定することができます。≫ P.127
受信レベル	地上デジタル放送の受信レベルをチェックします。≫ P.128
リモコンボタン 割り当て (地上デジタル)	地上デジタル放送の各チャンネルを1から12までの番号に自由に割り当てることができます。≫ P.129

操作メニュー	
戻る	[テレビ設定] 画面に戻ります。

チャンネルスキャン（地上デジタル）

地上デジタル放送のチャンネルを自動スキャンします。

1. [チャンネルスキャン（地上デジタル）] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [テレビ設定] ▶ [地上デジタル] ▶ [チャンネルスキャン(地上デジタル)]

2. [都道府県域] を選択する

[都道府県域] にご利用の都道府県域を設定する

→ [都道府県域] が確定します。

3. チャンネルスキャンを開始する

[初期スキャン] または [再スキャン] を選択し、[] ボタンを押す

初期スキャン 既存のチャンネルリストをクリアして、はじめからスキャンします。

再スキャン 既存のチャンネルリストの更新や追加をします。

→ [初期スキャン]、または [再スキャン] が開始されます。

終了後、ケーブルテレビ周波数帯域に関するメッセージが表示されます。

※ スキャンには約 1 ～ 2 分かかります。スキャン中にパソコンや「StationTV」を終了しないでください。

4. ケーブルテレビ周波数帯域をスキャンする（必要時のみ）

ケーブルテレビ回線をご利用の場合、またはご使用の回線の種類がわからない場合は [はい] を、ケーブルテレビ回線をご利用でない場合、[いいえ] を選択し、[] ボタンを押す

→ [はい] の場合、ケーブルテレビ周波数帯域のスキャンが開始されます。

終了後、確認メッセージが表示されます。

→ [いいえ] の場合、チャンネルスキャンが終了し、確認メッセージが表示されます。

5. メッセージを確認する

[はい] を選択し、[] ボタンを押す

→ チャンネルスキャンが終了し、[リモコンボタン割り当て（地上デジタル）] 画面（≫ P.129）が表示されます。

受信レベル（地上デジタル）

1. [受信レベル] 画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
[設定] ▶ [テレビ設定] ▶ [地上デジタル] ▶ [受信レベル]

2. 受信レベルをテストするチャンネルを選択する

- [放送局] に受信レベルをテストする放送局を設定する
→ [放送局] が確定されます。

3. 受信レベルのテストを開始する

- [テスト] を選択し、[] ボタンを押し
→ 受信レベルのテストが開始され、結果が表示されます。

受信レベルの基準

テスト実行後、チャンネルの受信レベルが低いとき（目安として 60 以下）は、以下の原因が考えられます。

- パソコンとアンテナケーブルの接続が正常でない
- アンテナの向きまたはアンテナの性能に問題がある
- テスト実行時の天候が悪い

※ アッテネーター機能 (P133) が [オン] の場合、[オフ] に切り換えることで改善される場合があります。

※ アンテナの調整については、ご使用のアンテナの取扱説明書をお読みいただくか、お近くの電器店などにご相談ください。

リモコンボタン割り当て（地上デジタル）

チャンネルを1～12までの番号（リモコンボタン）に自由に割り当てることで、リモコンボタンやキーボードのテンキーで簡単に選局ができます。

1. リモコンボタン割り当てを実行する放送波の設定画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

▶ [設定] ▶ [テレビ設定] ▶ [地上デジタル] ▶ [リモコンボタン割り当て]

※ 割り当てを実行する放送波を選択してください。

2. 番号（リモコンボタン）にチャンネルを割り当てる

1. 割り当てを変更する番号（リモコンボタン）を選択し、[] ボタンを押す

→ [チャンネル] の選択プルダウンメニューが表示されます。

2. 割り当てるチャンネルを選択し、[] ボタンを押す

→ 割り当てるチャンネルが確定します。

3. 上記の手順 1、2 を繰り返して、割り当てを変更する番号（リモコンボタン）をすべて設定する

→ 番号（リモコンボタン）への割り当てが確定します。

3. 番号（リモコンボタン）の割り当てを更新する

1. [戻る] を選択し、[] ボタンを押す

→ 確認のメッセージが表示されます。

2. [はい] を選択し、[] ボタンを押す

→ 変更した割り当てに更新されます。

[デジタル映像設定] 画面

[デジタル映像設定] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [テレビ設定] ▶ [デジタル映像設定]

画面について



デジタル放送の映像を、ご利用のディスプレイなどの環境にあわせて設定することができます。

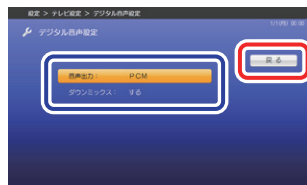
※ アナログ RGB 出力時（≫ P.175）にはこの設定は反映されません。

項目	
映像補正設定	映像からインターレース（≫ P.175）を除去するかどうかを設定します。 ※ ご使用のディスプレイによって効果は異なります。 ◆ 選択項目：[オン] / [オフ]  映像補正設定のヒント [オン] に設定するとインターレースを除去し、[オフ] に設定すると放送されている表示方式（インターレース方式）のまま表示します。 一般的にテレビ放送のような動画を表示するには、インターレース方式の方が滑らかに表示されますが、パソコンのディスプレイは静止画を表示することに特化していることが多いため、パソコンでテレビ放送を表示する場合は、インターレースを除去した方が鮮明に表示されます。

操作メニュー

戻る	[テレビ設定] 画面に戻ります。
----	--------------------

[デジタル音声設定] 画面



デジタル放送の音声を、ご利用のスピーカーなどの環境にあわせて設定することができます。

※ パソコンによってご使用できない場合があります。

項目	
音声出力	出力する音声方式を選択します。 ◆ 選択項目 [PCM] / [AAC] 👉 PCM、AAC について詳しくは『用語集』(P.174) を参照してください。
ダウンミックス	音声出力設定で [PCM] を選択したとき、5.1 チャンネル音声などのマルチ音声を、2 チャンネル音声に混同 (ダウンミックス) するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [する] / [しない]

操作メニュー	
戻る	[テレビ設定] 画面に戻ります。

! デジタル音声設定について

[音声出力] を [AAC] に設定する際は、光オーディオ出力端子に対応 AV アンプを接続してください。HDMI ケーブルで接続する場合は、設定値にかかわらず、[PCM] で出力されます。

[AAC] 設定時には下記の制限があります。

- パソコン本体のスピーカーや、ヘッドホン端子、アナログオーディオ出力端子からはデジタル放送の音声は出力されません。光デジタルオーディオ端子からのみ出力されます。
- データ放送受信時のクリック音や Windows Media Player など、他のアプリケーションから出力する音声は出力されない場合があります。
- [AAC] 設定時は「StationTV」の操作パネルでの音量調節はご利用できません。接続しているテレビや AV アンプで音量調節をしてください。
- 「StationTV」を終了すると、音声出力は [PCM] 方式になります。
- 「早見再生」および「ゆったり再生」機能はご利用できません。
- デュアルモノラル音声 (音声多重放送など) の切換機能はご利用できません。

💡 音声出力・ダウンミックス設定について

[音声出力]、[ダウンミックス] の設定は変更直後には反映されません。反映させるには下記のいずれかの操作を行ってください。

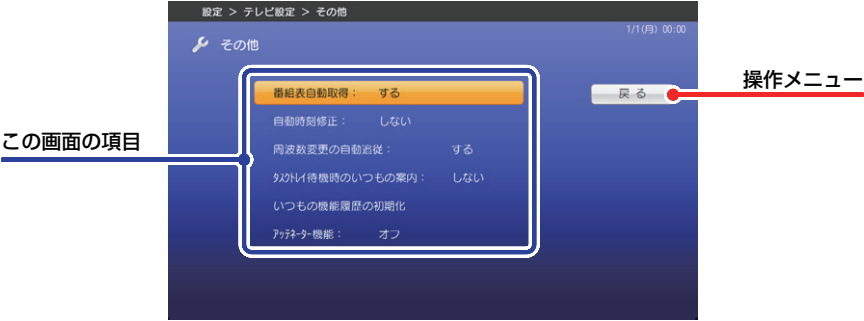
- アプリケーションをタスクトレイからフルスクリーンへ移行する。
- 録画ファイル再生を開始する。
- 「ライブ」状態と「タイムシフト」状態を切り換える。

[その他] 画面

[その他] 画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
[設定] ▶ [テレビ設定] ▶ [その他]

画面について



項目	
番組表自動取得	地上デジタル放送の番組情報を取得するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目：[する] / [しない]  地上デジタル放送の番組表 [番組表自動取得] を [する] に設定すると、待機モードへ移行直後と、毎日午前 6 時（待機モード中）に全放送局の番組情報を自動取得します。[しない] に設定すると自動取得しません。またこの設定とは関係なく、視聴している放送波の全放送局の番組情報は自動取得されます。 ※ 午前 6 時にパソコンが起動していない場合、または「StationTV」が終了している場合、自動取得が実行されません。
自動時刻修正	「StationTV」の時刻調整を自動で行うかどうかを設定します。 ◆ 選択項目：[する] / [しない]
周波数変更の自動追従	チャンネルや放送局が開局されたとき、自動的に「StationTV」に反映するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目：[する] / [しない]
タスクトレイ待機時のいつもの案内	「StationTV」が待機モード状態のとき、いつも視聴している番組の開始等の案内を表示するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目：[する] / [しない]

項目	
いつもの機能履歴の初期化	いつもの番組機能のために、記録していた視聴履歴データを初期化します。 [いつもの機能履歴の初期化]をクリックするとメッセージが表示され、履歴を初期化することができます。  いつもの機能 » P.57
アッテネーター機能	受信電波が強すぎるときに、受信感度を落としてノイズを軽減するための機能です。正常に受信できている場合は、切り換えないでください。 ※ この機能は、パソコンによってご使用できない場合があります。 ◆ 選択項目：[オン]／[オフ]

操作メニュー	
戻る	[テレビ設定]画面に戻ります。

[字幕／文字スーパー設定] 画面

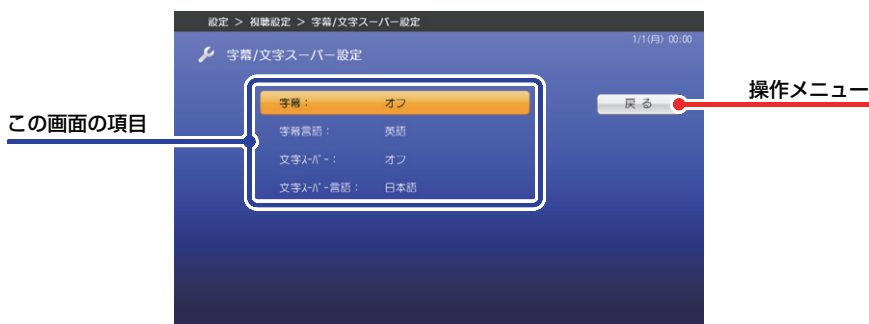
[字幕／文字スーパー設定] 画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
 [設定] ▶ [視聴設定] ▶ [字幕／文字スーパー設定]

! 字幕／文字スーパーについてのご注意

- 設定をオフにしても、番組によっては自動的に表示される場合があります。
- 視聴や録画を行う番組が [字幕言語] ／ [文字スーパー言語] で選択した言語に対応していない場合、もう一方の言語で表示されます。たとえば、[英語] を選択した場合でも、番組が日本語の字幕にのみ対応している場合は、日本語の字幕が表示されます。

画面について



項目	
字幕	字幕の表示を有効にして起動するか、無効にして起動するかを設定します。 ◆ 選択項目：[オン] ／ [オフ]
字幕言語	字幕の言語を設定します。 ◆ 選択項目：[日本語] ／ [英語]
文字スーパー	文字スーパーの表示を有効にして起動するか、無効にして起動するかを設定します。 ◆ 選択項目：[オン] ／ [オフ]
文字スーパー言語	文字スーパーの言語を設定します。 ◆ 選択項目：[日本語] ／ [英語]
操作メニュー	
戻る	[視聴設定] 画面に戻ります。

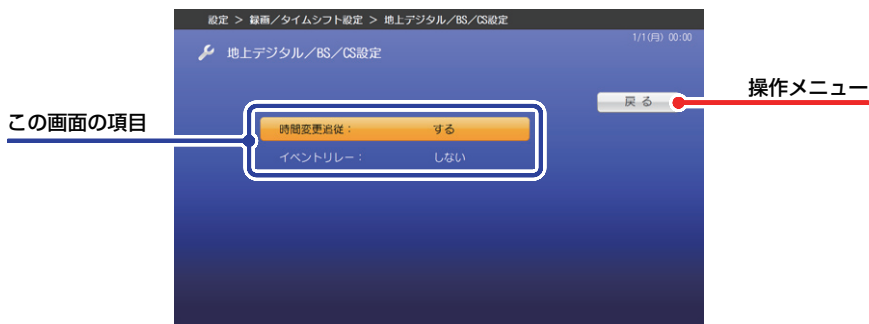
[地上デジタル]画面

[地上デジタル]画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [録画／タイムシフト設定] ▶ [地上デジタル]

画面について



項目	
時間変更追従	放送時間が変更された場合、録画開始時間を自動的に変更するかどうかを選択します。 ◆ 選択項目: [する] / [しない] ⚠ 時間変更追従を設定している場合 録画予約した番組の放送時刻が変更されると、「StationTV」は対象の番組の開始時刻を待ってから録画を開始します。この場合、「StationTV」は当初の放送番組開始時刻から録画状態になりますが、実際の録画は変更後の放送時間に実行されます。番組の開始時刻を待つ時間は最大3時間です。また、以下の場合、録画は実行されません。 ■ 3時間を経過しても番組が開始されなかった場合 ■ 3時間以内に同じレコーダーで次の予約録画が開始された場合 ■ 番組の終了時刻が変更された場合（番組によって録画できる場合があります）
イベントリレー	番組がイベントリレーされたときに、録画を継続するかどうかを選択します。 ◆ 選択項目: [する] / [しない]
操作メニュー	
戻る	[録画／タイムシフト設定] 画面に戻ります。

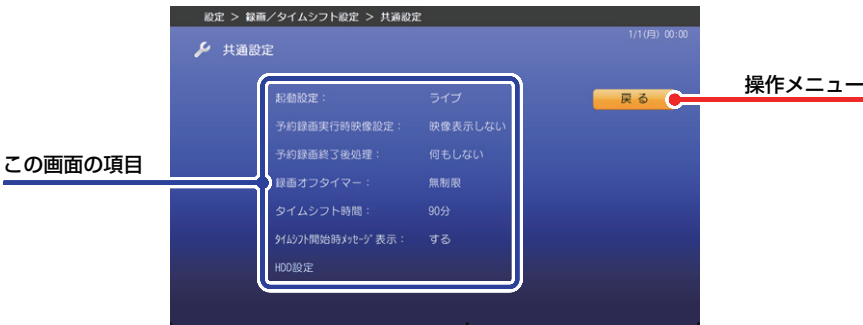
[共通設定] 画面

[共通設定] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [録画／タイムシフト設定] ▶ [共通設定]

画面について



項目	
起動設定	「StationTV」起動時の視聴状態（≫ P.72）を設定します。 ◆ 選択項目：[ライブ] / [タイムシフト]
予約録画実行時映像設定	予約録画のとき、映像（ビューア）を表示するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目：[映像表示する] / [映像表示しない]
予約録画終了後処理	予約録画が終了した後の「StationTV」の処理を設定します。 ◆ 選択項目：[何もしない] / [待機モード]
録画オフタイマー	一度に録画（通常の録画・タイムシフト録画）できる時間の上限を設定します。 ◆ 選択項目： [無制限] / [15 分] / [30 分] / [45 分] / [1 時間] / [1 時間 30 分] / [2 時間] / [3 時間] / [6 時間] ※ [録画オフタイマー] を [無制限] に設定した場合、保存先 HDD の残り容量が 5GB になるか、録画開始から 24 時間まで録画できます。
タイムシフト時間	タイムシフトが有効のとき（[起動設定] が [タイムシフト]）に、さかのぼれる最大時間を設定します。 ◆ 選択項目：[5 分] / [10 分] / [30 分] / [60 分] / [90 分] ※ タイムシフト時間を長く設定するほど、大きな空き容量が必要になります。

項目	
タイムシフト開始時メッセージ表示	タイムシフトを開始する際のダイアログメッセージを表示するかどうかを選択します。 ◆ 選択項目：[する] / [しない]
HDD 設定	録画番組の保存先として使う、パソコンのハードディスクの割り振りや優先順位を設定します。≫ P.138 ※ 録画予約が登録されている状態ではこの画面は表示できません。

操作メニュー	
戻る	[録画／タイムシフト設定] 画面に戻ります。

HDD 設定

[HDD 設定] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

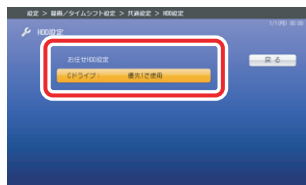
[設定] ▶ [録画／タイムシフト設定] ▶ [共通設定] ▶ [HDD 設定]

※ 録画予約がある場合、HDD 設定はできません。

! HDD 設定についてのご注意

- USB HDD ストレージ機能の付いた HDD ミュージックプレーヤーなどは、パソコンによって録画番組の保存場所として利用できない場合があります。
- 保存先に指定したハードディスクの転送速度によっては、録画番組にコマ落ちなどが生じる場合があります。
- パーティションで分けられたハードディスクは、各パーティションを別ハードディスクとして認識します。

画面について



録画番組を保存するハードディスクを設定できます。パソコン内蔵と外付けのハードディスクの両方を選択できます。

また、複数の内蔵ハードディスクがある場合は、使用する優先順位を設定することができます。録画中に設定したハードディスク空き容量がなくなれば、設定した優先順位で保存先ハードディスクが切り換わります。

項目	
お任せ HDD 設定	内蔵または接続されている外付けハードディスクの中で、設定時に一番空き容量が大きいものから順番に使用します。
各ドライブ (C ドライブなど)	認識された各ハードディスクに、使用する優先順位を付けることができます。 ※ 内蔵されているハードディスクが、空き容量順に画面に表示されます。 ◆ 選択項目：[優先*で使用する] / [使用しない] ※ *は認識されたハードディスクの数に合わせて表示されます。

操作メニュー

戻る	[共通設定] 画面に戻ります。
----	-------------------

[再生設定] 画面

[再生設定] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [再生設定]

画面について



項目	
再生スキップ設定	録画番組の再生や、タイムシフト中にスキップボタンを押したときのスキップ秒数を設定します。 ◆ 選択項目 [5 秒] / [10 秒] / [15 秒] / [30 秒] / [45 秒] / [60 秒] / [90 秒] / [120 秒]
操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

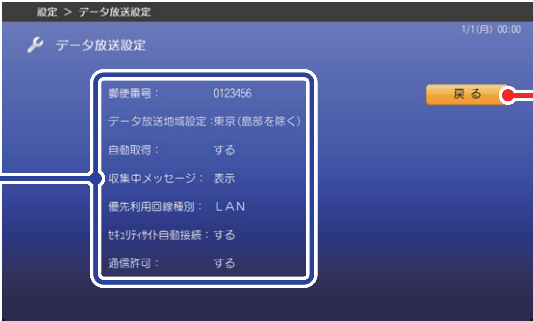
[データ放送設定] 画面

[データ放送設定] 画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
- [設定] ▶ [データ放送設定]

画面について

この画面の項目



項目	
郵便番号	設定した郵便番号が天気予報などの独立型データ放送（≫ P.66）に反映されます。 ※ 事業所の個別郵便番号は使用できません。
データ放送地域設定	地域した設定が天気予報などの独立型データ放送（≫ P.66）に反映されます。
自動取得	テレビ放送視聴時にデータ放送情報を自動で取得するかどうかを設定します。 自動取得を [しない] に設定した場合でも、キーボードの [D] を押すとデータ放送のダウンロードが始まり、もう一度押すとデータ放送が表示されます。 ※ この操作は番組によって異なる場合があります。 ◆ 選択項目：[する] / [しない]
収集中メッセージ	データ放送をダウンロードする際にビューア上に表示するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目：[表示] / [非表示]
優先利用回線種別	ご利用のパソコンのインターネットへの接続種別を設定します。 ※ モデムが搭載されていないパソコンではこの項目は表示されません。 ◆ 選択項目：[LAN] / [電話回線]
セキュリティサイト自動接続	セキュリティサイトに自動で接続するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目：[する] / [しない]

項目	
通信許可	双方向通信に通信を許可するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目 : [する] / [しない]

操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

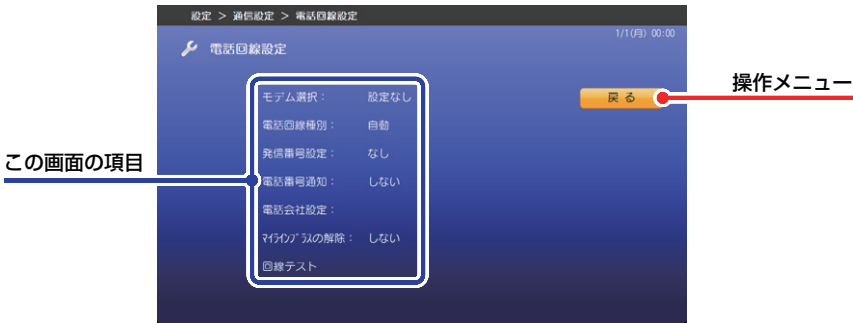
[電話回線設定] 画面

[電話回線設定] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
[設定] ▶ [通信設定] ▶ [電話回線設定]

画面について

※ モデムが搭載されていないパソコンではこの項目は表示されません。



項目	
モデム選択	使用するモデムを選択します。
電話回線種別	電話回線の種類を選択します。 ◆ 選択項目：[自動] ／ [トーン] ／ [10pps] ／ [20pps]  回線種別 ■ [自動]： 「StationTV」が自動的に回線種別を識別して設定を行います。 ※ お使いの電話回線状況によってはうまく動作しない場合があります。その場合は下記の設定を試してください。 ■ [トーン]： お使いの電話回線がプッシュホン回線の場合はこの設定を選択してください。 ■ [10pps] ／ [20pps]： お使いの電話回線がダイヤル回線の場合はこの設定を選択してください。

項目	
発信番号設定	接続に使用する電話で外線電話をかけるときの設定を選択します。 ◆ 選択項目：[なし] / [0 発信] / [9 発信]  発信番号設定 ■ [なし] : 外線電話をかけるときに、特に設定がない場合この設定を選択してください。 ■ [0 発信] / [9 発信] : 外線電話をかけるときに、「0」または「9」から発信する設定がある場合、この設定を選択してください。
電話番号通知	接続先に電話番号を通知するかどうかを選択します。 ◆ 選択項目：[する] / [しない]  電話番号通知 ■ [する] : 番号を通知して発信します (186 発信) ■ [しない] : 番号を非通知にして発信します (184 発信)
電話会社設定	接続に使用する通信事業者を選択する場合に識別番号を入力します。 特定の通信事業者を選択しない場合は設定不要です。
マイラインプラスの解除	接続するときにマイラインプラスを解除するかどうかを設定します。 マイラインプラスを契約していない場合は設定不要です。 ◆ 選択項目：[する] / [しない]
回線テスト	モデムが正常に動作しているかチェックします。 » P.144

操作メニュー	
戻る	[通信設定] 画面に戻ります。

回線テスト

モデムが正常に動作しているかチェックします。

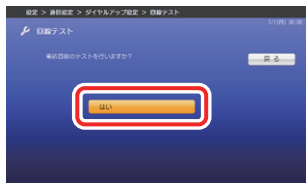
※ モデムが搭載されていないパソコンではこの項目は表示されません。

1. [回線テスト] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [通信設定] ▶ [電話回線設定] ▶ [回線テスト]

2. 電話回線のテストを実行する



1. [はい] を選択し、[] ボタンを押す
→ 回線テストが開始され、結果が表示されます。
2. [はい] を選択し、[] ボタンを押す
→ 回線テストが終了し、元の画面に戻ります。

! 回線テストの範囲

このテストは、モデムが正常に動作しているかチェックするもので、電話回線の通信状態をチェックするものではありません。テスト結果が「電話回線のテストが成功しました」であっても、データ通信が行えない場合があります。この場合、[電話回線設定] のすべての項目が正しく設定されているかご確認ください。

※ なお、ISDN 接続の場合、「電話回線テスト」は失敗します。

[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] 画面

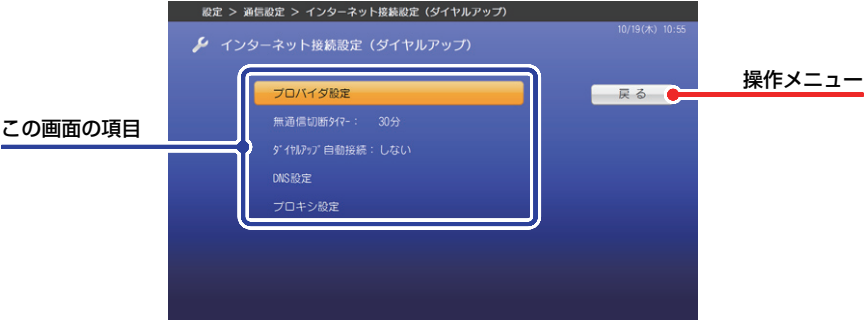
ご利用のパソコンがインターネットへダイヤルアップで接続している場合は設定が必要です。
[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] の画面は次のとおり表示されます。

※ モデムが搭載されていないパソコンではこの画面は表示されません。

[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] 画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
- [設定] ▶ [通信設定] ▶ [インターネット接続設定（ダイヤルアップ）]

画面について



項目	
プロバイダ設定	ご利用のプロバイダのインターネット接続設定を入力します。 ※ 設定に必要な情報がわからない場合は、プロバイダへお問い合わせください。  プロバイダ設定 [プロバイダ設定] 画面で以下の項目を設定してください。 ■ アクセスポイント ■ ユーザ ID ■ パスワード
無通信切断 タイマー	接続中にアクセスがない状態がつづいた場合、自動で接続を切断する時間を設定します。 ◆ 選択項目：[なし] ／ [1 分] ／ [5 分] ／ [10 分] ／ [30 分]
ダイヤルアップ 自動接続	インターネット接続が必要になったとき、確認メッセージを表示しないで自動的に接続するかどうかを設定します。 [しない] に設定した場合は、インターネット接続が必要になったときに確認メッセージが表示されます。 ◆ 選択項目：[する] ／ [しない]

項目	
DNS 設定	ご利用のプロバイダの接続設定情報を入力します。 ※ 設定に必要な情報がわからない場合は、プロバイダへお問い合わせください。  DNS 設定 [DNS 設定] 画面で以下の項目を設定してください。 ■ DNS IP アドレス (プライマリ) ■ DNS IP アドレス (セカンダリ)
プロキシ設定	プロキシサーバ経由でインターネットに接続する場合は、プロキシサーバのホスト名とポート番号をキーボードのテンキーで入力します。 プロキシサーバを経由しない場合は、空欄でかまいません。 ※ 設定に必要な情報がわからない場合は、プロバイダへお問い合わせください。  プロキシ設定 [プロキシ設定] 画面で以下の項目を設定してください。 ■ プロキシサーバホスト名 ■ プロキシサーバポート番号
操作メニュー	
戻る	[通信設定] 画面に戻ります。

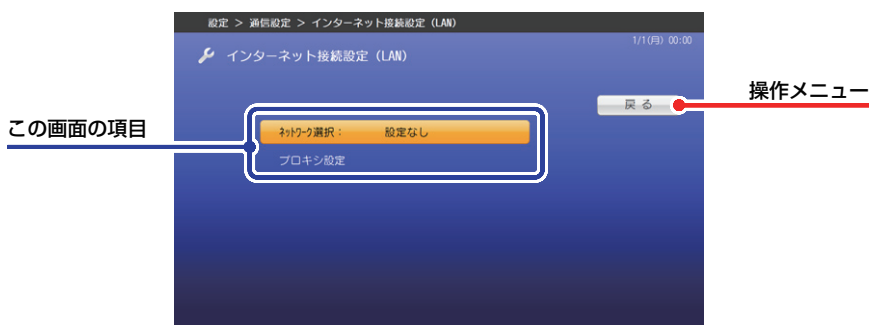
[インターネット接続設定 (LAN)] 画面

ご利用のパソコンがインターネットへ LAN で接続している場合は設定が必要です。
「インターネット接続設定 (LAN)」の画面は次のとおり表示されます。

[インターネット接続設定 (LAN)] 画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
[設定] ▶ [通信設定] ▶ [インターネット接続設定 (LAN)]

画面について



項目	
ネットワーク選択	ご使用中のパソコンで、利用できるネットワークが表示されます。表示されたネットワーク名の中から「StationTV」で使用するネットワークを選択します。 ◆ 選択項目:[設定なし] / [※その他利用できるネットワークが表示されます。]
プロキシ設定	プロキシサーバ経由でインターネットに接続する場合は、プロキシサーバのホスト名とポート番号をキーボードのテンキーで入力します。プロキシサーバを経由しない場合は空欄にしておきます。 ※ 設定に必要な情報がわからない場合は、プロバイダへお問い合わせください。  プロキシ設定 [プロキシ設定] 画面で以下の項目を設定してください。 ■ プロキシサーバホスト名 ■ プロキシサーバポート番号

操作メニュー

戻る	[通信設定] 画面に戻ります。
----	-------------------

[お知らせ] 画面

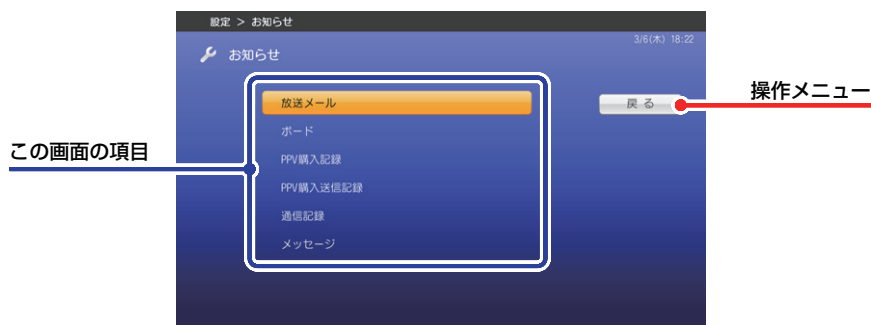
放送信号とともに送信される放送局からのお知らせの確認と、利用するための設定を行うことができます。
[お知らせ] 画面は次のとおり表示されます。

[お知らせ] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [お知らせ]

画面について



項目	
放送メール	地上デジタル放送局から送信されるメール形式のお知らせです。 メールがいっぱいになると、古いものから削除されます。≫ P.149 ※ 保存できるメールの最大件数は7件です。
通信記録	双方向サービスなどで、電話回線を使用したときの、通信の記録が確認できます。 通信記録が50件を超えると、古いものから削除されます。≫ P.151 ※ モデムが搭載されていないパソコンではこの項目は表示されません。
メッセージ	新しいチャンネルの開局などの情報を、受信機がお知らせするメッセージです。 通信記録が50件を超えると、古いものから削除されます。≫ P.152

操作メニュー	
戻る	[通信設定] 画面に戻ります。

[放送メール一覧] 画面

[放送メール一覧] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [お知らせ] ▶ [放送メール]

画面について



操作メニュー

この画面の項目

項目	
受信日時	放送メールを受信した日時です。
タイトル	放送メールのタイトルです。 お知らせを選択し、[] ボタンを押すと [放送メール詳細] 画面が表示され、内容を読むことができます。≫ P.150

操作メニュー	
戻る	[お知らせ] 画面に戻ります。

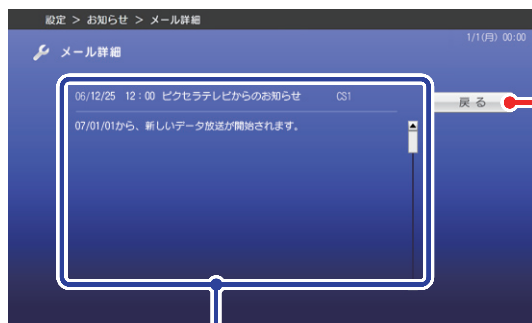
〔放送メール詳細〕画面

〔放送メール詳細〕画面を表示する

〔〕ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

〔設定〕▶〔お知らせ〕▶〔放送メール〕▶〔内容を確認したいメール〕

画面について



この画面の項目

項目	
受信日時	放送メールを受信した日時です。
タイトル	放送メールのタイトルです。
放送波	どこの放送波に関する放送メールかを表示します。
本文	メール本文です。スクロールバーでスクロールできます。

操作メニュー	
戻る	〔放送メール一覧〕画面に戻ります。
スクロールバー	マウスでドラッグすることでリストをスクロールできます。

[通信記録一覧] 画面

[通信記録一覧] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [お知らせ] ▶ [通信記録]

画面について

※ モデムが搭載されていないパソコンでは、この場面はありません。



この画面の項目

項目	
通信時刻	通信を開始した時刻です。
電話番号	通信相手の電話番号です。
エラーコード	通信にエラーが発生した場合、エラーコードが表示されます。

操作メニュー	
戻る	[お知らせ] 画面に戻ります。
スクロールバー	マウスでドラッグすることでリストをスクロールできます。

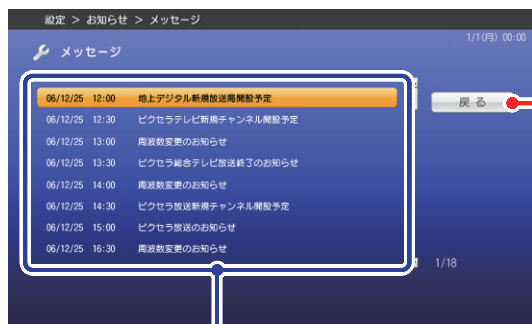
[メッセージ一覧] 画面

[メッセージ一覧] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [お知らせ] ▶ [メッセージ]

画面について



この画面の項目

項目	
受信日時	メッセージを受信した日時です。
タイトル	メッセージのタイトルです。 お知らせを選択し、[] ボタンを押すと [メッセージ詳細] 画面が表示され、内容を読むことができます。≫ P.153

操作メニュー	
戻る	[お知らせ] 画面に戻ります。
スクロールバー	マウスでドラッグすることでリストをスクロールできます。

[メッセージ詳細] 画面

[メッセージ詳細] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [お知らせ] ▶ [メッセージ] ▶ [内容を確認したい項目]

画面について



項目	
受信日時	メッセージを受信した日時です。
タイトル	メッセージのタイトルです。
放送波	どこの放送波に関するメッセージが表示します。
本文	メッセージの本文です。

操作メニュー	
戻る	[メッセージ一覧] 画面に戻ります。
スクロールバー	マウスでドラッグすることでリストをスクロールできます。

[かんたん設定]画面

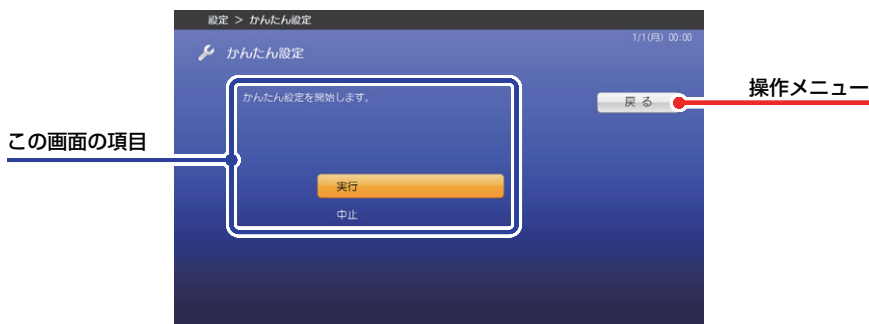
[かんたん設定]画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
[設定] ▶ [かんたん設定]

かんたん設定の内容

- 設定 1：かんたん設定を開始します
 - 設定 2：郵便番号を設定します
 - 設定 3：都道府県域を設定します
 - 設定 4：地上デジタル放送局の設定をします
 - 設定 5：チャンネルをスキャンします（地上デジタル放送用）
 - 設定 6：モデムを設定します
 - 設定 7：電話回線種別を設定します
 - 設定 8：発信番号（外線設定）を設定します
 - 設定 9：かんたん設定を終了します
- ※ 設定 6・7・8はモデムが搭載されていないパソコンではこの項目は表示されません。

画面について



項目	
各種設定	「StationTV」をお使いいただくため各種設定を順番に行います。
操作メニュー	
戻る	[トップメニュー] 画面に戻ります。 ※ 設定中は一つ前の画面に戻ります。

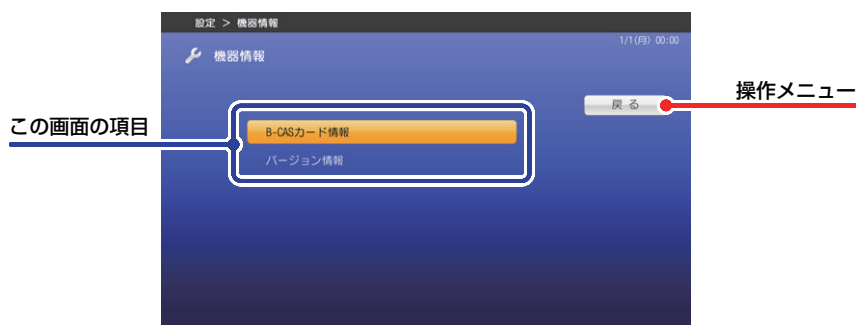
[機器情報] 画面

使用中のパソコンに挿入されている B-CAS カードの情報と、「StationTV」などのバージョン情報を確認することができます。

[機器情報] 画面を表示する

- [] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する
[設定] ▶ [機器情報]

画面について



項目	
B-CAS カード情報	ご使用中のパソコンに挿入されている B-CAS カードの情報を確認できます。 » P.156
バージョン情報	ご利用中の「StationTV」のバージョンを表示します。 » P.157

操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

B-CAS カード情報

[B-CAS カード情報] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [機器情報] ▶ [B-CAS カード情報]

画面について



パソコンに挿入されている B-CAS カードの情報と、B-CAS カードのテストができます。[B-CAS カード情報] 画面は左のとおり表示されます。

項目	
カード識別	挿入されている B-CAS カードの種類です。
カード ID	挿入されている B-CAS カードの ID です。
グループ ID	特定のグループに属している B-CAS カードの場合に表示される ID です。

操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

B-CAS カードについて



地上デジタル放送は不正コピーを防ぐために、放送信号が暗号化されています。B-CAS カードはその暗号を解除するために必要な IC カードで、地上デジタル放送受信機に 1 枚添付されています。B-CAS カードが正しく挿入されていない場合は、地上デジタル放送、BS、CS デジタル放送を視聴することはできません。紛失や破損などされないよう大切に保管してください。

詳しくは、B-CAS カードの使用許諾契約書または下記のホームページをご覧ください。

ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ <http://www.b-cas.co.jp/>

バージョン情報

[バージョン情報] 画面を表示する

[] ボタンを押し、次の順番でメニューを選択する

[設定] ▶ [機器情報] ▶ [バージョン情報]



バージョンとは？

アプリケーションの版番号です。数字が大きいくほど新しいものです。

画面について



[バージョン情報] 画面は左のとおり表示されます。

項目	
F / W Ver.	パソコンに内蔵されているテレビキャプチャボードのファームウェアバージョンです。
システム Ver.	「StationTV」のバージョンです。アップデートなどをご利用の際に確認してください。

操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

[設定初期化] 画面

設定を初期化する

「StationTV」の設定をすべて初期化して、出荷時の状態に戻します。
初期化すると「StationTV」は自動的に終了し、次回起動時に「初回設定」が開始されます。

- 1. [設定の初期化] を選択し、[OK] ボタンを押す
→ 確認ダイアログが表示されます。
- 2. [はい] を選択し、[OK] ボタンを押す
→ 設定が初期化され、自動的に「StationTV」が終了します。
※ 次回起動時は「初回設定」から起動します。再び設定を行ってください。≫ P.21

画面について



[設定初期化] 画面は左のとおり表示されます。

項目	
設定の初期化	「StationTV」の設定をすべて初期化して、出荷時の状態に戻します。初期化すると「StationTV」は自動的に終了し、次回起動時に「初回設定」が開始されます。 ※ 設定を初期化しても録画番組は削除されません。

操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

起動と終了

ここでは「StationTV」の起動方法および終了方法について説明します。

「StationTV」の状態について

「StationTV」にはテレビ視聴中などの通常の起動状態や終了状態とは別に「待機モード」という状態があります。

待機モード



「待機モード」はビューアを表示しないで、録画予約の実行や番組表の取得などができる状態です。待機モード中はデスクトップ画面のタスクトレイにアイコンが表示されます。



「StationTV」を「待機モード」にする手順 》 P.163

終了状態

「StationTV」が完全に終了した状態です。

録画予約の実行や番組表情報の取得、いつもの番組機能の案内など、すべての機能が停止します。



「StationTV」を終了する手順 》 P.162



タスクトレイに表示される「StationTV」の状態アイコン

※「StationTV」が終了している状態では表示されません。



起動中の通常状態、または「待機モード」中の通常状態です。



起動中、または「待機モード」中で録画を実行している状態です。



起動中、または「待機モード」中で番組表情報などを受信している状態です。



起動中、または「待機モード」中でディスク作成（ 》 P.114 ）を実行している状態です。



起動中、または SD 画質変換を実行している状態です。

「StationTV」を起動する

「StationTV」が完全に終了している場合と、「待機モード」でタスクトレイに常駐している場合の起動方法を説明します。

❗ Windows Aero が無効になる場合があります

ご利用のパソコンの OS により、Windows Aero の画面表示に設定している場合、「StationTV」起動時には、「画面の配色は Windows7 ベーシックに変更されました」というメッセージが表示され、Windows Aero が無効になる場合があります。「StationTV」を終了または待機モードにした時、自動で画面表示の設定は元に戻ります。

※ Windows Aero は Windows Vista およびの Windows 7 の機能です。

「StationTV」が終了しているとき

「Windows Media Center」から起動する

※ 「StationTV」が起動するまでに、が数十秒間表示（パソコンの環境によって変わります）かかります。



1. リモコンの [] ボタンを押す
➡ 「Windows Media Center」が起動します。
2. リモコンの方向キー [] で「Windows Media Center」のメニューを以下の順番で選択する
[StationTV] ▶ [TV 視聴]

3. リモコンの [] ボタンを押す

※ この方法は待機モード時でも実行できます。

Windows の [スタート] メニューから起動する



次の順番でメニューを選択

[スタート] ▶ [すべてのプログラム] ▶ [PIXELA] ▶
[StationTV] ▶ [StationTV]

※ この方法は待機モード時でも実行できます。

※ マウスでの操作になります。

「StationTV」が待機モードのとき

タスクトレイ内の「StationTV」アイコン () から起動する



1. タスクトレイのアイコンを右クリック

➡ メニューが表示されます。

2. [起動する] をクリック

※ マウスでの操作になります。

「StationTV」を終了する

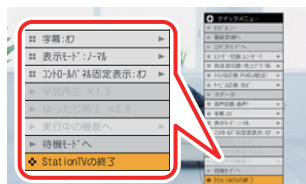
「StationTV」が起動している場合と、「待機モード」でタスクトレイに常駐している場合の終了方法を説明します。

❗ 「StationTV」の終了について

「StationTV」を終了すると、番組の録画予約や番組表の取得などを実行できません。

「StationTV」が起動中のとき

クイックメニューから終了する



クイックメニューの[StationTVの終了]を選択し、
[OK] ボタンを押す

➡ メッセージが表示され、「StationTV」が終了します。



クイックメニューの表示方法 > P.33

「StationTV」が待機モード中のとき

タスクトレイの「StationTV」アイコン () から終了する



1. タスクトレイのアイコンを右クリック

➡ メニューが表示されます。

2. [終了する] をクリック

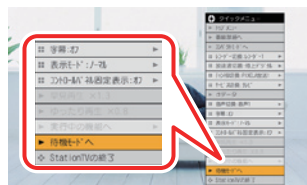
➡ 「StationTV」が終了します。

※ マウスでの操作になります。

「StationTV」を待機モードにする

「StationTV」を待機モードにすると、ビューア表示が消えてタスクトレイに「StationTV」アイコンが表示されます。番組録画の実行などは、待機モードのままを行うことができます。「StationTV」を終了すると、番組の録画予約や番組表の取得ができなくなるので注意してください。

クイックメニューから待機モードにする



クイックメニューの[待機モードへ]を選択し、[OK] ボタンを押す

⇒「StationTV」が待機モードになります。



クイックメニューの表示方法 » P.33

ウィンドウメニューから待機モードにする



1. ビューア上の上部にマウスポインタを移動

⇒「ウィンドウメニュー」が表示されます。

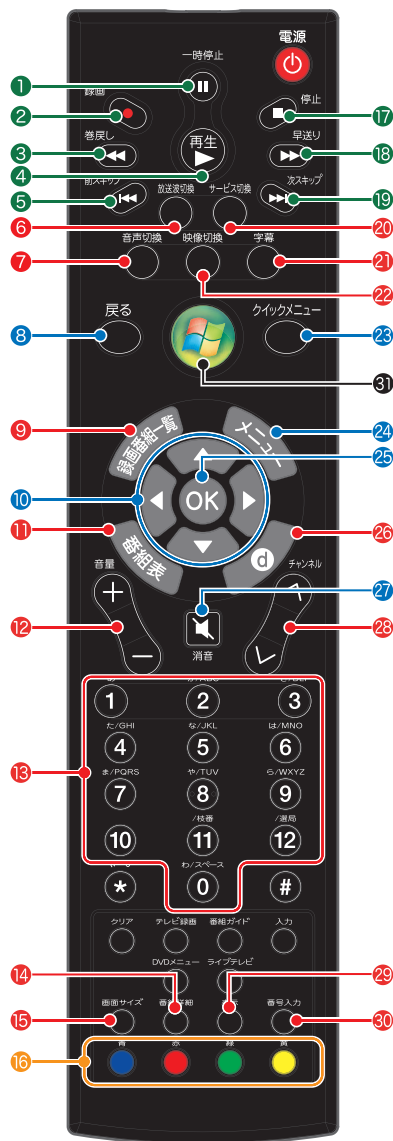
2. [待機モード] アイコンをクリック

⇒「StationTV」が待機モードになります。

操作一覧

ここでは、「StationTV」の操作を行うリモコンのボタン、「コントロールパネル」の操作一覧、キーボードのショートカットについて説明します。

リモコン操作一覧



パソコン操作ボタン

31		「Media Center」を起動します。
----	--	-----------------------

基本操作ボタン

8	戻る	1 つ前の項目または 1 つ前のページに戻ります。
10		フォーカスの上下左右の移動や値の変更をします。
23	クイックメニュー	「クイックメニュー」を表示します。
24		「メニュー」画面を表示します。
25	OK	フォーカス中の項目や値を決定します。
27	消音	消音します。もう一度押すと解除します。

テレビ視聴を操作するボタン

6	放送波切換	本製品では使用しません。
7	音声切換	複数の音声がある番組で、音声チャンネルを切り換えます。
9		「録画番組」画面を表示します。
11		「番組表」画面を表示します。
12		音量を調節します。 [+] を押すと音声が大きくなります。 [-] を押すと音声が小さくなります。

リモコン操作一覧

テレビ視聴を操作するボタン

13		チャンネルを切り換えます。 >>P.43
		数値を入力します。
14		[番組詳細] 画面を表示します。
15		ビューア表示モードを切り換えます。押すたびに、[ノーマル]／[ワイド]／[ズーム]の順に切り換わります。
20		通常のテレビ放送と独立型データ放送を切り換えます。 ※ 番組で提供されるデータ放送を表示したい場合は、26 を押します。
21		字幕を表示します。 複数字幕がある場合、押すたびに切り換わります。
22		複数の映像がある番組で、映像チャンネルを切り換えます。
26		データ放送を表示します。
28		チャンネルを順番に切り換えます。 [∧]を押すとチャンネル番号を1ずつ繰り上げます [∨]を押すとチャンネル番号を1ずつ繰り下げます。
29		レコーダー情報を表示します。 押すたびに、表示／非表示が切り換わります。
30		チャンネル番号で選局するときに、選局ボタンを押す前に押します。

再生／録画を操作するボタン

1		ライブ視聴中に押すと、タイムシフトに切り換わり、番組を一時停止します。再生中に押すと、再生を一時停止します。
2		視聴中の番組の録画を開始します。また、タイムシフト時には、タイムシフト開始時からの内容で録画を続行します。 >>P.82
3		再生中／タイムシフト再生中の映像を巻戻しします。巻戻しの速度は押すたびに切り換わります。 ※ 【巻戻し速度】 2 倍⇒4 倍⇒20 倍⇒100 倍⇒2 倍…
4		巻戻し中／早送り中／一時停止中に押すと、再生を再開します。
5		再生中／タイムシフト再生中の映像を一定時間、前へスキップします。初期設定は 30 秒です。>>P.139
17		再生中は再生を停止します。録画中は録画を停止します。タイムシフト再生中はタイムシフト再生を停止します。
18		再生中／タイムシフト再生中の映像を早送りします。早送りの速度は、押すたびに切り換わります。 ※ 【早送り速度】 2 倍⇒4 倍⇒20 倍⇒100 倍⇒2 倍…
19		再生中／タイムシフト再生中の映像を一定の時間、次へスキップします。初期設定は 30 秒です。>>P.139

テレビ視聴やデータ放送を操作するボタン

16		メニューの[青][赤][緑][黄]を選択します。
----	---	--------------------------

※ [クリア] ボタンは、8 の [戻る] ボタンと同じ動作をします。

※ [入力] ボタンは、25 の [決定] ボタンと同じ動作をします。

※ 以下のボタンは、StationTV では使用しません。

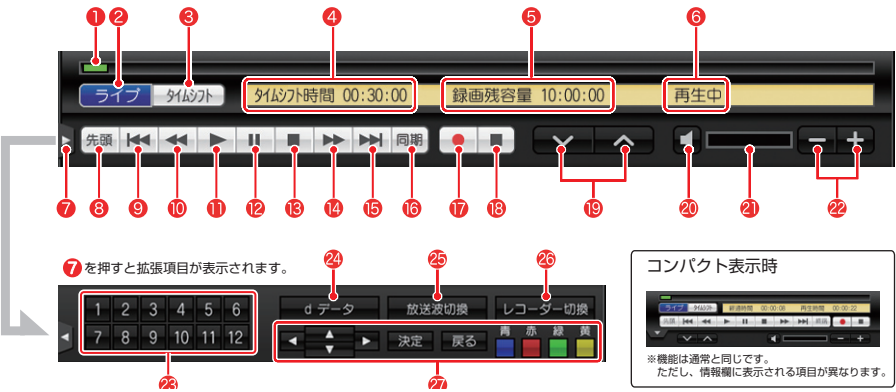
[テレビ画面]、[番組ガイド]、[DVD メニュー]、[ライブテレビ]

コントロールパネルの機能一覧

コントロールパネルは「StationTV」をマウスで操作するパネルです。録画時間や経過時間などの情報も表示します。

※ 下の画面は合成です。ボタンがすべて操作可能状態で表示されています。状況に応じて操作できるボタンは限られます。非操作状態のボタンは表示が暗くなります。

フルスクリーン表示時



コントロールパネルの説明		
①	シークバー	録画番組再生中、タイムシフト視聴中／録画中に現在の位置を表します。 マウスでドラッグすると、再生位置を移動できます。
②	ライブ	「ライブ」状態に切り換えます。
③	タイムシフト	「タイムシフト」状態に切り換えます。≫ P.72
④	録画時間 経過時間 タイムシフト時間	- 視聴中：何も表示されません。 - 録画中：[録画時間] 録画開始からの経過時間を表示します。 - タイムシフト中：[タイムシフト時間] 現在ビューアで視聴している場面と、実際の放送中の場面との時間差を表示します。 - 再生中：[経過時間] 再生経過時間を表示します。
⑤	録画残容量 再生時間	- 視聴中／録画中／タイムシフト中：[録画残容量] 「録画」／「タイムシフト」が可能な残り時間を表示します。 - 再生中：[再生時間] 録画番組の時間を表示します。
⑥	現在の状態	「再生中」「一時停止」「早送り」「巻戻し」「処理中」など、現在の状態を表示します。
⑦	拡張項目表示	「チャンネル切換」「入力切換」「放送波切換」「レコーダー切換」を表示します。

コントロールパネルの機能一覧

コントロールパネルの説明		
8	[先頭] または [前へ]	- 一つの録画番組の再生するとき： [先頭]と表示され、クリックすると、その録画番組の先頭に戻って再生します。 - 複数の録画番組を選択して再生するとき： [前へ]と表示され、クリックすると一つ前の録画番組の先頭に戻って再生します。 一つ前に録画番組がない場合はその録画番組の先頭に戻って再生します。 - タイムシフト状態： タイムシフト開始時点の映像にスキップして先頭から再生します。
9	逆スキップ	再生中／タイムシフト再生中の映像を一定時間、前へスキップします。 初期設定は 30 秒です。≫ P.139
10	巻戻し	再生中／タイムシフト再生中の映像を巻戻しします。巻戻しの速度は押すたびに切り換わります。 ◆【巻戻し速度】：2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒ 2 倍…
11 12	再生／一時停止	巻戻し中／早送り中／一時停止中にクリックすると、再生を再開します。 - 番組のライブ視聴中： タイムシフトに切り換えて一時停止します。 - 録画番組の再生中： 再生を一時停止します。
13	停止	再生を停止して、現在放送中の映像に切り換わります。
14	早送り	再生中／タイムシフト再生中の映像を早送りします。早送りの速度は押すたびに切り換わります。 ◆【早送り速度】：0.8 倍⇒ 1.3 倍⇒ 2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒ 0.8 倍…
15	順スキップ	再生中／タイムシフト再生中の映像を一定時間、次へスキップします。初期設定は 30 秒です。≫ P.139
16	[終端]、[次へ] または [同期]	- 一つの録画番組の再生するとき： [終端]と表示され、クリックすると、その録画番組の終端に進んで停止します。 - 複数の録画番組を選択して再生するとき： [次へ]と表示され、クリックすると一つ後の録画番組の先頭に進んで再生します。 一つ後に録画番組がない場合はその録画番組の終端に進んで停止します。 - タイムシフト状態： [同期]と表示され、クリックすると現在放送中の時点と同期して再生します。
17 18	録画／録画停止	- 視聴中：番組の録画を開始します。 - 録画中：録画を停止します。
19	チャンネルダウン ／アップ	アップダウン選局設定にしたがって、視聴中のチャンネルリストを 1 つずつ順番に切り換えます。 [△]：1 つずつチャンネル番号を繰り上げます。 [▽]：1 つずつチャンネル番号を繰り下げます。
20	消音	消音します（音量バーが濃いグレーに変わります）。消音中にクリックすると、消音を解除します。

コントロールパネルの機能一覧

コントロールパネルの説明		
21	音量バー	現在の音量を表示します。音量の調節は、音量調節 [－] / [＋] で行います。
22	音量調節 [－] / [＋]	音量を調節します。 [－]：音声小さくなります。 [＋]：音声が大きくなります。
23	チャンネル切換	ワンタッチ選局でチャンネルを切り換えます。
24	d データ	データ放送に切り換えます。
25	放送波切換	※ 本製品では使用しません
26	レコーダー切換	レコーダーを切り換えます。 クリックするたびに、[レコーダー 1] / [レコーダー 2] の順に切り換わります。
27	操作ボタン	データ放送画面を操作できます。

ショートカット

「StationTV」アプリケーション内で使用できるショートカットキーは、以下のとおりです。

チャンネル	
次のチャンネルへ	[+]
前のチャンネルへ	[-]
ダイレクト選局	[1] ~ [9] + [Enter]
チャンネル番号選局	[¥] + [0] ~ [9] + [Enter]

音量	
音量を上げる	[>]
音量を下げる	[<]
消音／消音解除	[M]

再生・録画	
再生	[P]
一時停止	[J]
停止	[S]
録画	[R]
巻戻し	[Z]
早送り	[X]
逆スキップ	[?]
順スキップ	[\]
先頭、前へ ※ 再生中、タイムシフト状態時は「先頭」、複数ファイル再生中は「前へ」となります。	[H]
終端、次へ、同期 ※ 再生中は「終端」、複数ファイル再生中は「次へ」、タイムシフト状態時は「同期」となります。	[Y]

テレビ視聴の各種切換	
視聴状態切換 (ライブ状態／タイムシフト状態)	[F9]

テレビ視聴の各種切換

レコーダー切換 (レコーダー 1 / レコーダー 2)	[C]
放送波切換 (地上デジタル放送 / BS デジタル放送 / CS デジタル放送)	※ 本製品では使用しません
入力切換	[I]
サービス切換	[T]
音声切換	[A]
映像切換	[V]
字幕切換	[K]

表示モード切換

ノーマル / ワイド / ズーム	[G]
フルスクリーンモード / コンパクトモード	[F10]

画面表示

[トップメニュー] 画面表示 (ON / OFF)	[F12]
クイックメニュー表示 (ON / OFF)	[F11]
[録画番組] 画面表示 (ON / OFF)	[F4]
[予約] 画面表示 (ON / OFF)	[F3]
[番組表] 画面表示 (ON / OFF)	[F2]
[番組詳細] 画面表示 (ON / OFF)	[F1]
[ステータス情報] 表示	[B]

メニュー内操作

上へ	[↑]
----	-------

ショートカット

メニュー内操作

下へ	[↓]
右へ	[→]
左へ	[←]
決定	[Enter]
戻る	[BackSpace]

データ放送

データ放送画面の表示 (ON / OFF)	[D]
青	[F5]
赤	[F6]
緑	[F7]
黄	[F8]

アプリケーション操作

待機モードへ	[Q]
--------	-------

地上デジタル放送に含まれる情報

地上デジタル放送には、字幕やデータ放送、複数の映像や音声を含む番組があります。これらの情報は、ディスク作成などによって失われる場合がありますのでご注意ください。

操作	字幕／ 文字スーパー ≫ P.54	データ放送 ≫ P.65	マルチ映像 ≫ P.53	マルチ音声 ≫ P.53
ライブ視聴	○	○	○	○
HDD への録画	○	○	○	○
録画番組再生	○	○	○	○
DVD 作成	×	×	×	×
BD 作成	○	○	○	○
SD 画質変換	×	×	×	○

用語集

ここでは、本書で使われている用語について説明しています。

あ行

アクセスポイント	ダイヤルアップ接続などでインターネット接続する場合の電話をかける（ダイヤルアップする）先のことです。契約しているインターネットサービスプロバイダ（ISP）が各地域に用意しています。
アスペクト比	画面や画像の縦と横の長さの比率のことです。地上波放送の通常アスペクト比は4:3ですが、ハイビジョン放送などは16:9の横に長い画面で放送されています。
イベントリレー	予約した番組の放送時間が延長されるとき、放送局が臨時サービスチャンネルや別のチャンネルに切り換えて、番組の放送を継続すること、および「StationTV」が、これに対応して録画や視聴を継続する機能を指します。
インターレース（方式）	ディスプレイの走査線への情報伝送方法の一つです。映像データの伝送情報量を節約するため、一コマ分の映像の走査線を偶数列と奇数列に分割し、2回に分けて伝送する方式です。現在のテレビ放送やビデオ映像は、ほとんどがインターレース方式を採用しています。 動画を表示するには一般的にこの方式の方が滑らかに表示されますが、ご使用のディスプレイによって効果は異なります。

か行

休止状態 (Windows)	現在使用しているアプリケーションの状態や復帰のために必要なデータをハードディスクに保存してからパソコンの電源をオフにします。 次に起動するときは、ハードディスクに保存した前回の状態を復元するため、シャットダウン状態よりすばやく復帰できます。
クイックメニュー	ビューア上でマウスを右クリックすると表示されるメニューです。 映像・音声・字幕の切り換えや、各種情報の表示／非表示などが選択できます。
ケーブルテレビ	契約世帯に有線で配信する放送サービスのことです。ケーブルテレビ会社と契約して、宅内の配線工事後に専用チューナーを使用して視聴することができます。
コンテンツ	「内容」「中身」という意味で、ひとまとまりの情報を指します。本書では、録画した番組の一つひとつや、配信される番組、情報の一つひとつを指します。
コントロールパネル	マウスクリックで「StationTV」を操作するためのパネルです。
コンパクトモード	「StationTV」のビューアの表示方法のひとつです。任意の大きさにビューアサイズを調節することができます。

さ行

時間追従	スポーツ中継の延長などで、予約した番組の放送時間帯が変更されたときに、自動的に番組の録画時間を調整する機能です。変更された放送時間帯にあわせて予約録画を実行します。
------	--

さ行	
周波数変換パススルー	ケーブルテレビで使用する電波送信方式の一つです。「StationTV」は周波数変換パススルー方式に対応しています。 ※ 一部のパソコンでは周波数変換パススルー方式に対応していない場合があります。ケーブルテレビのデジタル放送送信サービスについては、ご利用のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
スリープ状態 (Windows Vista) (Windows 7)	Windows XP など、従来の Windows の「スタンバイ状態」と「休止状態」の各特性を合わせた、Windows Vista および 7 の新しいモードです。 現在使用しているアプリケーションの状態や、復帰のために必要なデータをメモリに保持したまま、CPU やハードディスクの電源をオフにします。(状態維持のため若干電力を消費します) 電源オフの前の状態がメモリにそのまま記録されているので、Windows が利用できる状態に素早く復帰できます。 スリープ状態時にバッテリー不足などで電源が切れると、メモリに記録したデータをハードディスクに保存してからパソコンの電源をオフにします。(休止状態)
双方向サービス	デジタルテレビの放送波で伝送される放送局からのデータ放送に対して、視聴者から放送局にデータを送信できるサービスのことです。たとえばクイズへの参加、プレゼントへの応募などができます。 視聴者からデータを送信するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

た行	
待機モード	「StationTV」の状態を指します。「StationTV」がパソコンのタスクトレイに格納され、バックグラウンドで番組予約の実行や番組表の取得などを行います。
タイムシフト	番組を一時的に録画しておくことで、見ている番組をさかのぼって再生する機能です。 タイムシフトできる長さは、[設定] ▶ [録画 / タイムシフト設定] ▶ [共通設定] の [タイムシフト時間] 項目から設定できます。
ダイヤルアップ接続	電話回線を利用して、インターネットサービスプロバイダ (ISP) のアクセスポイントに電話をかけることにより、インターネットに接続することを指します。 最近では、ダイヤルアップ接続に代わり、ADSL や CATV、光通信などの高速回線の利用が増えています。
ダイヤル種別	(た行)「電話回線種別」を参照してください。
ダウンコンバート	ハイビジョン映像 (HD) を標準画質 (SD) に変換することです。
ダウンミックス	5.1 チャンネル音声などのマルチチャンネル音声を 2 チャンネル音声に変換することです。
タスクトレイ	Windows のデスクトップ画面右下に表示される、時刻、音量調節、常駐ソフトウェアのアイコンなどが表示される部分です。アイコンは使用頻度に応じて、一部非表示になる場合があります。
地上アナログ放送	従来の地上波テレビ放送サービスです。2003 年 12 月から地上デジタル放送が導入されたことで、地上アナログ放送は 2011 年に終了予定です。

た行	
地上デジタル放送	2003年12月から開始された新しいテレビ放送サービスです。BS/110度CSの衛星デジタル放送やBSデジタル放送と並ぶデジタル放送の一つで、地上波のUHF帯を使用して放送されています。 地上デジタル放送は、高画質な映像と5.1チャンネルの高音質を提供するほか、番組表、データ放送を利用した双方向サービスも可能にします。
データ放送	デジタル放送で、番組の映像や音声と同時に配信されるさまざまな情報のことです。データ放送には、2種類の放送サービスがあります。 ・独立型データ放送：テレビ映像とは直接関係なく、独立したチャンネルで情報を提供するデータ放送 ・連動型データ放送：テレビ放送と同じチャンネルで番組の進行に連動した情報、ニュースや天気予報などを提供するデータ放送
デジタルハイビジョン	2000年に開始されたデジタル放送で行われているハイビジョン放送のことです。
デジタル放送	デジタル放送には、BS/110度CSの衛星デジタル放送と地上デジタル放送があります。 デジタル放送は、デジタル高画質でテレビ番組を視聴できるテレビ放送です。テレビ番組を見るだけでなく、双方向サービスや放送局からのお知らせをメールで受け取るなど、様々なサービスが提供されています。
電話回線種別	電話回線を使用して双方向サービスを購入する場合に必要な設定項目です。 [設定] ▶ [通信設定] ▶ [電話回線設定] から設定を行います。 この設定を[自動]に設定して通信できない場合は、以下の設定をお試しください。 ・プッシュ回線をご利用の場合：[トーン] ・ダイヤル回線をご利用の場合：[10pps] または [20pps]
トーン	電話回線でプッシュ回線を利用している場合のダイヤル種別です。

は行	
ハードディスクドライブ (ハードディスク)	HDD (Hard Disk Drive) とは、パソコンにおける大容量記憶装置のことです。さまざまなファイルやデータを保存、管理する場所です。Windows のシステム自体もこの HDD に記録されています。ハードディスクをパソコン内部、外部に自由に増設することもできます。
パススルー	(さ行)「周波数変換パススルー」を参照してください。
発信番号 (外線設定)	お使いの電話回線で外線をかけるときに、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な場合に設定します。 [設定] ▶ [通信設定] ▶ [電話回線設定] から、[発信番号設定] の選択項目から、必要な発信番号を設定します。
ビューア	「StationTV」の視聴および再生映像を表示する画面です。
ファームウェア	機器の制御を行うために、機器本体に組み込まれたソフトウェアのことです。
フルスクリーン	「StationTV」のビューアの表示方法のひとつです。映像を全画面で表示します。

は行	
プロキシ	インターネットに間接的に接続するために必要なシステムのことです。通常、企業内などで用いる方式で、プロキシサーバーが代表でインターネットに接続する設定を行い、個々のパソコンはそのプロキシサーバーを経由することでインターネットに接続できます。
プログレッシブ方式	ディスプレイの走査線への情報伝送方法の一つです。インターレース方式と異なり、一コマの映像データを分割しないで一度にディスプレイに伝送します。これにより、画像のチラつきを軽減して高画質な映像を再現できます。静止画を表示する場合は、一般的にプログレッシブ方式の方がはっきり表示されますが、ご使用のディスプレイによって効果は異なります。
プロバイダ	インターネットサービスプロバイダ（ISP）を指し、インターネット接続サービスを提供する業者のことです。

ま行	
マルチ映像	一つの番組で複数の映像が用意されていることをいいます。映像のアングルを切り換えて見るなど、視聴者が映像を自由に選択することができます。
マルチ音声	一つの番組で複数の音声を用意されていることをいいます。主音声・副音声、数ヶ国語での放送、ステレオサラウンド放送など、番組によりさまざまな音声を同時放送し、視聴者が映像を自由に選択することができます。

ら行	
ライブ	「StationTV」では、現在放送中の番組を視聴することを「ライブ」視聴と呼んでいます。
リリーフ録画	録画中に、録画番組の保存場所に設定したハードディスクの空き容量がなくなると、自動的に次に空き容量の多いハードディスクで録画を続行します。使用する優先順位を設定することもできます。
ログイン	あらかじめコンピューターに登録されているユーザー情報をもとに、そのユーザーの持つ権限でコンピュータを起動することをいいます。

A ～ Z	
AAC	デジタル放送で送出されている音声圧縮方式です。 光デジタルオーディオ出力端子に AAC 形式で出力され、AAC 対応 AV アンプで 5.1 チャンネルサラウンド放送をサラウンド視聴することができます。
B-CAS カード	地上デジタル放送は不正コピーを防ぐために、放送信号が暗号化されています。 B-CAS カードはその暗号を解除するために必要な IC カードで、地上デジタル放送受信機に 1 枚添付されています。
CATV	ケーブルテレビの略称です。 (か行)「ケーブルテレビ」を参照してください。
CPU	パソコンの主要部品の 1 つで、データの計算や加工を行う処理装置です。CPU の機能が高いほど高度な作業ができます。
DNS 設定	インターネット接続に関する設定の一つです。契約のインターネットサービスプロバイダ (ISP) から接続設定情報の DNS アドレスを設定することです。
DXVA	映像の処理 (デコード) を、CPU を使わずに、グラフィックデバイスで処理できる仕様のことです。 DXVA 対応のグラフィックデバイスを使用すると、パソコンに負荷がかからないため映像処理がスムーズになります。
EPG	"Electronic Program Guide" の略称で、地上デジタル放送を通じて配信される電子番組表のことです。「StationTV」では、「番組表」と呼び、番組表からの録画予約にも対応しています。また、番組名や出演者名で番組を検索できます。
HDD	(は行)「ハードディスクドライブ (ハードディスク)」を参照してください。
IP アドレス	インターネットに接続したパソコンなどの、ネットワーク機器を識別するための番号です。インターネット上の住所のようなものです。
LAN 接続	"Local Area Network" の略称で、同一敷地 (同一建物) の規模で用いられるネットワーク環境のことをいいます。本書では ADSL やケーブル、光通信など、パソコンの LAN ポートを使ってインターネット接続する場合を指します。
PCM	音楽 CD などが使用している一般的なデジタル音声方式です。

索引

本書の内容を用語から検索することができます。

あ

空き容量	74, 84
アクセスポイント	145, 175
アスペクト比	103, 175
アッテネーター機能	133

い

いつもの機能	57, 132, 133
イベントリレー	135, 175
インターネット接続設定 (LAN)	147
インターレース	130, 175

え

映像補正設定	130
--------	-----

お

お任せ HDD 設定	138
------------	-----

か

回線テスト	143, 144
かんたん設定	125, 154

き

起動設定	136
起動方法	161
休止状態	175
共通設定	136

く

クイックメニュー	33, 175
----------	---------

こ

コピー	115
コピー制限	116
コンテンツ	175
コントロールパネル	36, 106, 175
コンパクトモード	27, 56, 175

し

時間変更追従	93, 135, 175
--------	--------------

自動時刻修正	132
自動取得	140
字幕	34, 38, 54, 134
ジャンル検索	60, 107
周波数変更の自動追従	132
重複予約	98
受信レベル	126, 128
収集中メッセージ	140

す

スリープ状態	176
--------	-----

せ

セキュリティサイト自動接続	140
設定初期化	158, 167

そ

操作一覧 (再生中)	106
双方向サービス	67, 176

た

待機モード	34, 160, 161, 162, 163, 176
タイマー予約	88, 89, 94
タイムシフト	70, 176
タイムシフト録画	82
タイムシフト時間	75, 136, 167
ダイヤルアップ	67, 145, 176
ダイヤル種別	176

ち

チャンネルスキャン (地上デジタル)	127
--------------------	-----

つ

通信許可	140
通信記録一覧	151

て

ディスク作成	102, 114, 115, 160
データ放送	65, 140, 177
デジタル映像設定	130, 131
デジタルハイビジョン	177

電話会社設定	143
電話回線	23, 67, 142, 144, 177
電話番号通知	143

と

トーン	177
トップメニュー	37

ね

ネットワーク選択	147
----------	-----

は

バージョン	155, 157
ハードディスクドライブ	177
発信番号	24, 143, 177
番組詳細	38
番組表	58, 90
番組表検索	60, 61
番組表自動取得	132
番組表の詳細	63
番組表予約	90

ひ

ビューア	27, 177
表示モード	55

ふ

ファームウェア	157, 177
フリーワード検索	61, 108
フルスクリーン	27, 177
プロキシ	146, 147, 178
プログレッシブ方式	178
プロバイダ	145, 178

ほ

放送メール	149, 150
-------	----------

ま

マイラインプラス	143
マルチ映像	178
マルチ音声	178

む

ムーブ	115, 116
無通信切断タイマー	145

め

メッセージ	35, 152, 153
-------	--------------

も

文字スーパー	54, 134
--------	---------

ゆ

優先利用回線種別	140
郵便番号	21, 140

よ

予約画面	94
予約録画実行時映像設定	136
予約録画終了後処理	136

り

リモコンボタン割り当て(地上デジタル)	129
リリーフ録画	81, 178

れ

レコーダー	29, 48
-------	--------

ろ

ログイン	178
録画オフタイマー	136
録画番組検索	107, 108
録画番組詳細	102

A

AAC 179

B

B-CAS カード 156, 179

C

CATV 22, 175, 179

CPU 179

D

DNS 設定 146, 179

E

EPG 179

H

HDD 138, 179

I

IP アドレス 179

L

LAN 18, 67, 147

LAN ケーブル 19

LAN 接続 179

P

PCM 179

OpenSSL ライセンス

「StationTV」は OpenSSL を使用しています。ここでは、OpenSSL のライセンスについて記載しています。

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

*Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project.
All rights reserved.*

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]